日本古典全集刊行會板

日本古典全集

古風土記集上卷

出雲風土記

與謝野寛
正宗敦夫
編纂

與謝野晶子
校訂

古風土記集

上卷

古風土記集

上卷

古風土記集上卷解題

一、茲に我我の「日本古典全集」は、「出雲風土記」、「常陸風土記」、「播磨風土記」、「豐後風土記」、「肥前風土記」の五風土記を上下二卷に收めて、之に「古風土記集」の題名を附した。

一、是等の「風土記」は、すべて我國古代の官撰鄕土誌にして、史學、文學、地理學、神話學、考古學等其他の範圍に亘りて重要なる古典の一である。此書の事に關しては、今井似閑（一六五七「明曆三年」――一七二三「享保八年」）の「萬葉緯」、尾崎雅嘉（一七五五「寶曆五年」――一八二七「文政四年」）の「群書一覽」、本居宣長（一七三〇「享保十五年」――一八〇一「享和元年」）の「玉かつま」十四卷、伴信友（一七七三「安永二年」――一八四六「弘化三年」）の「比古婆衣」卷十三の卷頭、平田篤胤（一七七六「安永五年」――一八四三「天保十四年」）の「古史徵」の開題記（平田篤胤全集一三二頁――一四八頁）等を見れば解說の要を盡してゐるが、就中伴信友の考證は殊に精細である。但し「播磨風土記」のみは其書が近年の發見であるが故に以上諸家の解說には洩れてゐる。

一、併し以上の諸書を博涉する暇無き讀者達の爲めに、次に平田篤胤の說を抄錄して置く。此篤胤の說には信友の考證をも採用してゐるのである。篤胤云く、

「風土記」は古の眞のは多く失せて、出雲、常陸、肥前、豐後の「風土記」のみ殘れり。（此中に「出雲

風土記」のみ全く傳はりたれど、肥前、豐後も全き書ならず。常陸のは十一郡の內八郡殘れり。此は信友が京にて松下見林の祕藏たりし本の寫しを得て、彼此に傳へたるより世に弘まれるを、また近き頃中山信名てふ人、常陸ノ國にて一本を得たるに、是れも八郡の記ならでは無し、予計らひて、信友が本を貸したるを校合せて、塙撿挍の「群書類從」に收れて板に彫りたり。近き頃世に現れたる古書の中に、是ればかり珍らしきは無し。）其餘は悉く失せたるにや、未だ世に顯れず。……仙覺律師が「萬葉集抄」と「釋日本紀」とに引き用ひたるを始め、其餘の古き書どもにも彼此に引きたるを摭ひ聚めて見るより外無し。（其古書どもに引きたる「風土記」の文を、既に今井似閑が抄集めて「萬葉緯」といふ書の中に收れたりけるを、信友が其を本書に比校て洩したるを補ひ、また異本どもにも校べ合せ、また似閑が未だ物せざりし書等に引きたる遺文をも抄出でて書き加へ、彼の四國の「風土記」どもを異本に校べたるに添へて一部としたるを、已また彼此の古書に引きたるを見るがまゝに書き加へて、「古風土記逸文」と稱けたるを時得たらんには板に彫りて傳へんとするなり。）抑も國國の事を記せる事の見えたる始は、……履中天皇紀に「四年秋八月、始之於諸國置國史、記言事、達四方志」と有り。……此は「風土記」と言はざれども諸國の言と事とを記すと有るもて、其記せる誌の「風土記」の體なりけんこと知るべし。（また……推古天皇紀二十八年の下に、「錄天皇記及國記」と有る國記も、決く「風土記」の類なるべく所思たり。）斯くて此後の事は信友が委しく考へ記せる稿あり。其說に、今の世に遺れる諸國の

「風土記」に、いと古く珍重きと、また後なるとが有るを、今己が見たる限を以て、其大概を論ひ定め試みんとす。然るは大抵の人は「風土記」と云へば、延長の年頃に成れる物とのみ思ふ由なれど然有らず。其れより古く次次に出來たる物なり。其は先づ古の「風土記」を召されたりし趣を案ふるに、元明天皇紀に、「和銅六年五月甲子、制ス、畿内七道諸國郡郷名著ニ好字一、其郡内所レ生銀銅彩色草木禽獸魚虫等物具錄ニ色目一、及土地沃塉、山川原野名號所レ由、又古老相傳舊聞異事、載ニ于史籍一言上」と有るを奉りて進れる史籍、すなはち「風土記」なるべく所思たり。其は仙覺が「萬葉集抄」に大和國宇智郡の事を說きて、「和銅六年令レ註ニ進風土記一之時、任ニ太政官下之旨一定ニ二字一用ニ好字一也」と云へるを思ひ合せて辨ふべし。(古き「年代記」の和銅五年の條に「作ニ風土記一」と有るは、此時の事を一年違へて傳へたる說を取れる物ならんか。また「古事記」も和銅五年に上れるを、四年に闕けたるを思へば、共に二年めに上れるものにて、「年代記」には詔命ありし年を擧げたるにも有るべし。)此和銅の度に註進れる「風土記」の今の世に遺れるは「常陸風土記」ぞ其が中の一篇なるべき。(文を略ける處ありて全くはあらず。さて今傳はれる本に題名無きは脫けたるか、また原より無かりしにや。其は和銅の制にも「載ニ于史籍一言上」と有りて、「風土記」てふ名目の無ければなり。然らば後に「風土記」と號けられたるか。其はとまれ、「萬葉集抄」、「釋紀」等に此記の文を引きて「常陸風土記」と有れば、既く然號ひたる事疑なければ、今も然云ふ。)其は此「風土記」の發端に「常陸國司解申、古老相傳舊聞事

問二國郡舊事一古老答曰、云云」（記中に、古老曰云云と記せる處あまた有り）と書き出でたるは、全く和銅の詔命の文を奉りたる文なること著く、また郡に隸けて里と書きたるも備き證とぞ思はるる。（「出雲風土記」に「郷ノ字ハ者、依二靈龜元年式一改レ里爲レ郷」と見え、後の「備中風土記」にも「靈龜年中云云」と有るに依りて云ふ。）また「出雲風土記」は、「天平五年二月卅日勘ヘ造ル」と有れば、かの和銅六年より二十年ばかりの後に進れる物なり。此は和銅の詔命によりて進れりし後、故ありて再勘へて進れる記なるべし。（また「釋記」に引きたる「土佐國ノ風土記」に「高野ノ天皇寶字八年云云」と記せる文あり。此は「出雲風土記」を勘進せる天平五年より三十年後のことなり。また「萬葉集抄」に引きたる「筑前風土記」に「當二奈羅朝天平四年歳次壬申一」と有るも、彼の天平五年の前年にて間近きが上に、「當二奈羅朝一」と有れば、今の京と成りての文なり。此等同時に出來たる記ならんか。是れも「萬葉集抄」に引きたる「備中ノ國風土記」に「奈良朝廷以二天平六年甲戌一」と有れば、また其後に出來たる記なること決し。）また肥前豐後のは、大概出雲のと同じ躰裁なれば、同じ頃に進れる物なるべし。文のさま出雲のよりも後れて見ゆれば、延長三年に召上げ給へる記ならんかと思はるれど、（延長三年の官符の事は下に云ふべし）延喜十四年四月三善淸行朝臣の異見封事に（「本朝文粹」に載せたり）「臣去ル寛平五年、任二備中介一、彼國下道郡有二邇磨郷一、爰見二彼國風土記一云云」とて引きたる「備中風土記」の体を按ふるに、（此文「二十二社註式古本」にも引きたり。なほ此國の「風土記」とて「萬葉集

抄」、「二十二社註式」の異本、「諸社根元記」等に引きたる文の有るも、同じ躰裁に見えたり）肥前豐後のよりも稍後ざまに見ゆるすら、寛平の頃既に有りし書なれば、肥前豐後なるは元よりにて、共に延長のあなたより在り來し「風土記」なるべし。……さてその外古き書等に引きたる諸國の「風土記」の文の躰裁を考ふるに、常陸出雲のなどと同じ趣に見ゆるが有り。また肥前豐後のなどと等じほどと見ゆるも有り。また彼の備中のなるが如き書きざまなるも有りと思はれて、區區なるが如く見ゆ。……また「釋紀」に「筑紫風土記曰」とて、肥後の閼宗の事、筑前の芋湄野の事の文を引きたる、（今一つ御津柏の事の文をも引きたり。此は何れの國か、いまだ考へず）また「筑前宗像社記」に「西海道ノ風土記曰」とて、身形郡の名の所由を記せる文ありて、古文と見ゆ。此等も上に論へる「風土記」なるを、五畿七道に帙を分ちたる方の名を取れるなるべし。總て「風土記」は各國にて記せる書にして、撰者も各別なれば、必ずしも文法は等かるまじき理なり。然れば何れを何時のと慥に知るべからねど、上に論へる「風土記」どもは、決く延長より已前に成りたる物なる事は違ふまじくぞ所思ゆる。さて延長に「風土記」召されし事は「朝野群載」に載せたる延長三年十二月十四日の太政官符に「五畿七道諸國司應早速勘進風土記事。右如聞諸國可有風土記文。今被左大臣宣偁。宜仰國宰令勘進之。若無底探求郡內尋問古老早速言上者。諸國承知依宣不得遲迴符到奉行」と有り。此符の旨は、諸國に前に進れりし「風土記」の案有るべきを、今度そを尋勘て進るべし。もし其れ無くば郡內を探ね求め、古老に尋問ひて更に撰

記して上るべしとなり。（上に引きたる和銅六年の詔命に、「古老相聞舊聞異事載二于史籍一言上」と有ると、此官符に「尋二問古老一云云」と有ると同旨にて、國國の古傳を專と記さしめ給へる事知るべし）此官符に應じ、前に進れりし「風土記」の案を更に勘へ進れる國國の多かるべく、また新に古老の舊聞を探り求めて上れるも有るべけれど、古書どもに引きてわづかに遺れるは、其差別知るべからず。（「本朝書籍目録」に「風土記記二諸土地本緣一」と載せたり。此等の類の風土記なるべし。）故古き「風土記」の趣を取り、總て考ふるに、各國にして、舊より聞傳へたる古老の說を專と記さしめ給へる物にして、古事を證す便となること少からず、いとも珍重たく貴き籍なるが、中には如何にぞや思はるる事のをりをり無きにしも非ず。然れど其は旣くより誤り傳へたる事も有りげに見え、また當時のさかしら說も稀稀には有りげに見ゆれば、熟く見て撰び取るべきなり。抑も「風土記」は、古老の舊聞を專と記さしめ給へる物なる由は、上に引ける和銅六年五月の詔命に「古老相傳舊聞異事載二于史籍一言上」と見え、其を奉りて記し進れる「常陸風土記」の發端に「常陸國司解申、古老相傳舊聞事、問二國郡舊事一古老答曰、云云」（上に引きたる和銅六年の詔命の文を承けたる文なり。心を著けて見るべし）と書き出でたるを始め、記中に「古老曰云云」と書ける處あまた有り。但し此記は、國司の撰びたる趣に作りたり。）また「出雲風土記」の發端に、「老細思二枝葉一裁二定詞源一亦山野濱浦之處、鳥獸之棲、魚貝海菜之類、良繁多悉不レ陳、然不レ獲レ止、粗擧二梗槩一以成二記趣一」と有るは、此記を上るべき詔命を、當國の國司

の奉りて、其下字に掌らせ、古老等に命せて記させたる書なるが故に、其老人等が書きて、老と自ら稱へるなり。上に擧げたる延長三年に「風土記」を召されたる官符に、「採二郡內一尋二問古老一早速言上」と有るも、和銅の舊章に准據たまへりと見ゆるをも思ひ合すべし。……偖この「老細思二枝葉一云云」の文を篤胤も同じ趣に考へて、終文に、「天平五年二月卅日勘造、秋鹿郡人神宅臣金太理」と有るを思ふに、此記は當昔この金太理と云ふ人、所の老として作れるならん。其は先づ其記せる事實ども、當時新に記せる舊聞も有るべけれど、大概は、舊より當國に記し傳へたる書ありて、此時其をいささか修ひ勘へて造れるにて、「細思二枝葉一裁二定詞源一云云」とは、源よりの傳詞の枝葉と有る繁多き文をば裁定めて、産物なども悉くは陳ねず、擧げずは獲有るべからぬ物をのみ梗槩に擧げて、公より命せ給へる趣に記し成せる由なるべし。其は意宇郡なる國引の古事を記せる文の類は決めて天平の頃の文に非ず。かの履中天皇の御世に國史を置きて記させ給へる時などよりも、なほ舊く書き傳へけんとさへ所思ゆる傳へなれば、古文章を採りて載せたるなるべく、此れに反りて、安來鄕の下なる語臣猪麻呂が古事は、始に「浦御原天皇御世甲戌七月」と云ひ、終に「自二爾時一至二于今日一經二六十歲一」と有れば舊く聞傳へたる事を、天平五年に肇めて記せる物なるを思ひ合せて曉るべし。（文の狀も、國引の古事の文とは、いたく異にして新しく見えたり。）さて普通の本に、右の文の上に字を下げて、「得而難可誤」と云ふ五字一行あり。（一本には小字に書き、また此五字无き本も有り。）此は後の人の此の文の意を得がて

に「得而難レ可レ讀」と傍書したるが、また後の人の讀を誤にあやまり、固有の文と思ひ混へて、一行に記せる物なりと云へるは誠に然る說等なり。（上件論へる說どもを、委曲に讀辨へて「古風土記」なる事どもを考へ通し、「古事記」、「日本紀」に洩れたる傳へを摭ひ採りて其闕けたるを補ふべき物なりかし。）云云。

一、右の篤胤の文は少しく送り假名を加へ、また傍訓をも施して讀者の便宜に資した。さて篤胤は之に次いで「惣國風土記」の事を述べてゐる。但し「惣國風土記」は僞書として今は議論が定まつて居るやうで有るから茲には引照しない。其れは駿河國淺間神社の神主某が僞作したもので、某は此外にも數種の僞書を作つたと傳へられてゐる。

一、今此「古風土記集」は上卷に「出雲風土記」を收め、下卷に「常陸」、「播磨」、「豐後」、「肥前」の四國の「風土記」を收むる事とした。また各「風土記」の逸文は、狩谷棭齋（一七七六「安永四年」——一八三五「天保六年」）の著したる「諸國採輯風土記」を本とし、伴信友の「風土記逸文」、及び栗田寛、木村正辭二家の著述を參考して別に我我の手に於て編纂中である。其れは第二期刊行の「日本古典全集」に收錄するであらう。

一、さて此上卷に收めた「出雲風土記」は、本居宣長（一七三〇「享保十五年」——一八〇一「享和元年」）の門弟である出雲國の千家淸主俊信（一七六四「明和二年」——一八三一「天保二年」）が奧書に有る如

く、寛政九年（一七九七）七月十五日校合を畢つて文化二年（一八〇五）に板に彫らしめ、翌文化三年に本居大平（一七五六「寶暦六年」——一八三三「天保四年」）の序を加へて出版した本を其儘寫眞石版を用ひて複製したのである。既刻の「出雲風土記」としては此本が最も善いと信ずる。但し此書は猶古本を蒐めて大に校勘する必要の有ることを認める。その理由は、折折に見受ける古寫本の「出雲風土記」は何れも極めて誤脱が多い。其誤脱の多い本を見て考へると、或は此校本には多少俊信の私案が加はつて居りはせぬかと想はれる。併し我我に於て俊信の用ひた原本を見ないのであるから斷言は出來ないが、俊信は唯だ數本に據つて校合し取捨したとだけ云つて、其原本を明かにして居ない、其點が遺憾である。

一、猶此「出雲風土記」には、「參考」と「校異」とを少しばかり添へる事とした。「參考」は出雲藩士岸崎時照の著した「出雲風土記鈔」と栗田寛博士の「標註古風土記」の標註とを、本文の丁數を標記して其下に書き拔いた。編者の一人正宗敦夫所藏の「出雲風土記鈔」は誤脱の多い本では有るが、併し地理の參考には大に成ると信ずる。栗田博士も是れに據られた處が多いやうである。博士の「標註」の有益なる事は固より贅するまでも無い。その「標註古風土記」も今は容易に手に入り難く、學徒の甚だ不便とする所である。卽ち我我が標註を悉く拔書したのは之が爲めである。但し博士が「出雲風土記鈔」に據られた所は「鈔」の方を出して「標註」の方を略した所が有る。神祇に關する事は栗田博士も「大日本史」の「神祇志」と博士自身の著された「神祇志料」に據つて研究するやうにと云つて略して居られる。實は其等をも

「參考」に入れたいと考へたが、紙數の制限の爲めに略した。

一、「校異」は井上通泰博士所藏の「享和十三戊申年仲秋日書之、直江、金築氏三和、藤原姓正恒」と奥書の有る本と「出雲風土記鈔」の本文とを參考して作つた。囲は井上博士本の印、鈔は「出雲風土記鈔」の印である。但し著しい誤は略した所も有る。また誤では有らうが、何等かの參考に成りはせぬかと思はれる所や、誤つて行つた經路の知れるやうな所をも採錄した。中には正しいと思はれる所も少しは有ると信ずる。猶世に刊行せられてゐる「出雲風土記」には「萬葉緯」の中に收められたのも有るが、其れは世に出て居る本の事であるから「校異」には入れなかつた。「續群書類從」の「出雲風土記」も近く出版される事であらう。

一、「出雲風土記鈔」を作つた岸崎氏の傳記に就ては何等知る所が無い。彼書には天和三年（一六八三）の自序が附き、「出雲國神門郡監」として有る。杵築松林寺法印宏雄と云ふ人の序も附いてゐる。

一、「常陸風土記」其他の各「風土記」の事に關しては下卷の初めに述べたい。

出雲風土記

訂正出雲風土記

出雲宿禰俊信讙校

國之大體。首震尾坤。東南山西北屬海

東西一百卅七里一十九歩。

南北一百八十三里一百九十三歩。

一百歩。

七十三里卅二歩

得而難可誤。

老細思枝葉。裁定詞源。亦山野濱浦之
處。鳥獸之棲。魚貝海菜之類。良繁多悉
不陳。然不獲止。粗舉梗槩。以成記趣。
所以號出雲者。八束水臣津野命。詔八雲
立語之。故云八雲立出雲。

合神社參佰玖拾玖所。

壹佰捌拾肆所 在神祇官。

貳佰壹拾伍所 不在神祇官。

玖郡。郷陸拾壹。里一百七十九。

餘戸（アマリベ）肆。驛家陸。神戸漆。里一十二。

意宇（オウ）郡。郷壹拾壹。里三十。餘戸（アマリベ）壹。驛家參。

神戸（カムヘ）參。里六。

嶋根（シマネ）郡。郷捌。里廿五。餘戸壹。驛家壹。

秋鹿（アイカ）郡。郷肆。里一十二。神戸壹。里一。

楯縫（タテヌヒ）郡。郷肆。里一十二。餘戸壹。神戸壹。里二。

出雲（イツモ）郡。郷捌。里廿三。神戸壹。里二。

神門郡。郷捌。里廿二。餘戸壹。驛家貳。神戸壹。里一。

飯石郡。郷漆。里一十九。

仁多郡。郷肆。里一十二。

大原郡。郷捌。里廿四。

右件郷字者。依霊亀元年式改里爲郷。其郷名字者。被神亀三年民部省口宣改之。

意宇郡

合鄉壹拾壹。里卅餘戶壹驛家參。神戶參

母理（モリノ）鄉　本字文理

屋代（ヤシロノ）鄉　今依前用

楯縫（タテヌヒノ）鄉　今依前用

安來（ヤスキノ）鄉　今依前用

山國（ヤマクニノ）鄉　今依前用

飯梨（イナシノ）鄉　本字云成

舍人（トネノ）鄉　今依前用

大草郷（オホクサノ）　今依前用

山代郷（ヤマシロノ）　今依前用

拜志郷（ハヤシノ）　本字林

宍道郷（シヽヂノ）　今依前用

以上壹拾壹郷別里叄

餘戸里（アマリベノ）

野城驛家（ノキノウマヤ）

黑田驛家（クロダノウマヤ）

餘々之餘衍

宍道驛家
出雲神戸
賀茂神戸
忌部神戸
所以號意宇者。國引坐八束水臣津野命詔八雲立出雲國者。狹布之稚國在哉。初國小所作。故將作縫詔而。𣑥衾志羅紀乃三埼矣。國之餘[之]有耶見者。國之餘有詔

師説聞郷作闇耶今從之下倣之

師説來寄ノ誤也 米當作亦

而童女胷鉏所取而。大魚之支太衝別而。波多須二支穗振別而。三自之綱打挂而。霜黒葛聞二耶二爾河船之毛二曾二呂二爾國二來二引來縫國者。自去豆乃打絶而。八穗米支豆支乃御埼也。此而堅立加志者。石見國與出雲國之堺有名佐比賣山是也。亦持引綱者。薗之長濱是也。亦北門佐伎之國矣國之餘有耶見者。國之

餘有詔而。童女貿鉏所取而。大魚之支太
衝別而波多須二支穗振別而。三自之綱
打挂而霜黑葛聞二耶二爾。河船之毛二
曾二呂二爾國二來二引來縫國者自多
久乃打絶而狹田之國是也。亦北門良波
乃國矣國之餘有耶見者國之餘有詔而。
童女貿鉏所取而大魚之支太衝別而波
多須二支穗振別而。三自之綱打挂而霜

波衍也
縫結之
誤也

黑葛聞ニ耶ニ爾河船之毛ニ曾ニ呂ニ爾。國ニ來ニ引來縫國者。自手[波]縫之打絶而。闇見之國是也。亦高志之都ニ乃三埼矣國之餘有耶見者。國之餘有詔而。童女胷鉏所取而。大魚之支太衝別而波多須ニ支穂振別而。三自之綱打挂而。霜黑葛聞ニ耶ニ爾河船之毛ニ曾ニ呂ニ爾。國ニ來ニ引來縫國者。三穂之埼也。持引

綱者。夜見島是也。固堅立加志者。有伯耆國大神岳是也。今者國引訖詔而。意宇杜爾御杖衝立而。意惠登詔。故云意宇。所謂意宇社者。郡家東北邊田中在塾是也。圍八步許。其上有木茂。

母理鄉。郡家東南卅九里一百九十步。所造天下大神大穴持命。越八口平賜而還坐時。來坐長江山而詔。我造坐而命國者。皇御孫命平世所知依奉。但八雲立出雲

大一本作火誤也神名帳所謂大神山神社是也

命今之誤

社坐之誤也

國者。我静坐國青垣山廻賜而玉珍置賜
而守詔。故云文理。神亀三年改字母理。
屋代郷。郡家正東卅九里一百二十歩。天
乃夫比命御伴天降来社伊支等之遠祖
天津日子命詔。吾静將坐志社詔。故云社。
神亀三年改字屋代。
楯縫郷。郡家東南卅二里一百八十歩。布
都怒志命之天石楯縫直給之故云楯縫

天武天皇

遙上脫遊字
切當作頤

安來鄕。郡家東南二十七里一百八十步。神須佐乃烏命天壁立廻坐之。爾時來坐此度而詔。吾御心者安平成詔。云安來也。即北海有毘賣埼。飛鳥淨御原宮御宇天皇御代甲戌七月十三日。語臣猪麻呂之女子遙件埼邂逅遇和爾所賊不切爾時父猪麻呂所賊女子斂毘賣埼上。大發聲憤號天踊地。行吟居嘆晝夜辛苦無避

歛所。作是之間經歷數日。然後興慷慨志。麻呂。箭鋭鋒撰便處居郎擅許云天神千五百萬。地祇千五百萬。並當國靜坐三百九十九社及海若等。大神之和魂者靜而荒魂者。皆悉依給猪麻呂之所乞。良有神靈坐者。吾所傷助給。以此知神靈之所神者。爾時有須臾而。和爾百餘靜圍繞一和爾徐率依來從於居下。不進不退。猶圍繞

正倉目。續紀起銅五年天平感寶六年三代實錄仁和三年令義解正倉者正

耳。爾時擧鉾而刄中央一和爾殺捕已訖。然後百餘和爾解散。殺割者女子之一脛屠出。仍和爾者殺割而挂串立路之垂也。號安來鄕。人語臣等之父也。自爾時以來至于今日、經六十歲。

山國鄕。郡家東南卅二里二百卅步。布都努志命之國廻坐時來坐此處而詔是土者不止欲見詔。故云山國也。即有正倉。

飯梨鄕。郡家東南卅二里。大國魂命天降

[illegible] 和名鈔に倉賓と又久良と訓て

欽明天皇

坐時當此處而御膳食給。故云飯成。神龜二十年改字飯嶋。

舍人郷。郡家正東廿六里。志貴嶋宮御宇天皇御世倉舍人君等之祖。日置臣志毘。大舍人供奉之。即是志毘之所居。故云舍人。即有正倉。

太草郷。郡家南西二里一百廿歩。須佐乃乎命御子。青幡佐久佐日古命坐。故云大

草。

山代郷。郡家西北三里一百廾歩。所造天下大神。大穴持命御子。山代日子命坐。故云山代也。即有正倉。

拜志郷。郡家正西廾一里二百一十歩。所造天下大神命。將平越八口爲而幸。此處樹林茂盛。爾時詔。吾御心之波夜志詔。故云林。神龜三年。改字拜志。即有正倉。

驛馬見孝德紀又元明紀云和銅四年始置都

宍道郷。郡家正西卅七里。所造天下大神命之追給猪像。南山有二。一長二丈七尺。高一丈。周五丈七尺。一長二丈五尺。高八尺。周四丈一尺。追猪犬像。長一丈。高四尺。周一丈九尺。其形爲石。无異猪犬。至今猶在。故云宍道。

餘戸里。郡家正東六里二百六十歩。依神龜四年編戸天平里故云餘戸。他郡且如之。

野城驛。郡家正東二十里八十歩。依野城

亭驛トアリ又處牧今云諸道須置驛者毎三十里一驛云云

大神坐。故云野城。

黒田驛。郡家同所。今郡家西北二里有黒田村。土體色黒。故云黒田。舊此處有此驛。即号曰黒田驛。今屬郡家東。今猶追舊黒田号耳。

宍道驛。郡家正西卅〇里。説名如郷。

出雲神戸。郡家南西二里卅歩。伊弉奈枳乃麻奈子坐熊野加武呂乃命與五百津鉏ニ猶所取ニ而。所造天下大穴持命ニ

所大神等依奉。故云神戸。他郡等神戸且如之。
賀茂神戸。郡家東南卅四里。所造天下大
神命之御子。阿遲須枳高日子命坐葛城
賀茂社。此神之神戸。故云鴨。神亀三年改字賀茂。即
有正倉。
忌部神戸。郡家正西廾一里二百六十歩。
國造神吉詞奏參向朝廷時。御沐之忌里。
故云忌部。即川邊出湯。出湯所在兼海陸。

曰上脱号字三澤湯可疑

腹當作蝮氏也

仍男女老少。或道路駱驛。或海中沚洲。日集成市。繽紛燕樂。一濯則形容端正。再浴則萬病悉除。自古至今。無不得驗。故俗人曰神湯也。

教昊寺。在舍人鄉中。郡家正東廿五里一百二十步。建立五層之塔也。有僧。教昊僧之所造也。散位大初位下上腹首押猪之祖父也。

新造院一所。在山代鄉中。郡家西北四里

教當作嚴

二百歩。建立嚴堂也。無僧。置君自熊之所造也。出雲神戸。置君猪麻呂之祖也。
新造院一所。在山代郷中。郡家西北二里建立教堂。住僧一軀。飯石郡少領出雲臣弟山之所造也。
新造院一所。在山國郷中。郡家東南卅一里一百卅歩。建立三層之塔也。山國郷人。置部根緒之所造也。

熊野大社（クマヌノオホヤシロ）

賣豆貴社（メツキノ）

由貴社（ユキノ）

都俾志呂社（ツベシロノ）

野城社（ヌキノ）

支麻知社（キマチノ）

野城社（ヌキノ）

佐久多社（サクタノ）

夜麻佐社（ヤマサノ）

加豆比乃社（カツヒノ）

加豆比乃高社（カツヒノタカモリ）

玉作湯社（タマツクリユノ）

伊布夜社（イフヤノ）

夜麻佐社（ヤマサノ）

久多美社（クタミノ）

多乃毛社（タノモノ）

須多社（スタノ）
布辨社（フベノ）
意陀支社（オタキノ）
久米社（クミノ）
宍道社（シシチノ）
賣布社（メフノ）
狹井高守社（サヰノタ）
伊布夜社（イフヤノ）

眞名井社（マナヰノ）
斯保彌社（シホミノ）
市原社（イチハラノ）
布吾彌社（フゴミノ）
野代社（ヌシロノ）
狹井社（サヰノ）
宇流布社（ウルフノ）
由宇社（ユウノ）

布自奈社（フジナノ）
野代社（スシロノ）
意陀支社（オタキノ）
田中社（タナカノ）
楯井社（タテヰノ）
石坂社（イハサカノ）
多加比社（タカヒノ）
調屋社（ツキヤノ）

同布自奈社（フジナノ）
佐久多社（サクタノ）
前社（クマノ）
詔門社（ノリトノ）
速玉社（ハヤタマノ）
佐久佐社（サクサノ）
山代社（ヤマシロノ）
同社

真龍云市未之誤也

以上卌八所。
並在神祇官。

宇由比社（ウユヒノ）

毛社乃社（モコソノ）

支布佐社（キフサノ）

田村社（タムラノ）

同市穂社（イチホノ）

阿太加夜社（アタカヤノ）

河原社（カハラノ）

支布佐社（キフサノ）

那富乃夜社（ナホノヤノ）

國原社（クニハラノ）

市穂社（イチホノ）

伊布夜社（イフヤノ）

須多閇社（スタヘノ）

布宇社（フウノ）

山

青一本作書誤也見毎理須下八十歩當作八里沒見嶺文烽火下但恐

末那爲社
加和羅社
笠柄社
志多備社
食師社

以上一十九所。

並不在神祇官。

長江山。郡家東南五十里。有水精。

青垣山。郡家正東八十歩。有烽。

高野山。郡家正東一十九里。

熊野山。郡家正南一十八里。有檜檀也。所謂熊野大神之社坐。

毎里郷則當作三十八里十歩

久多美山。郡家西南卅三里。有社。玉作山。郡家西南卅二里。有社。神名樋山。郡家西北一百卅九歩。高八十丈。周六里卅二歩。東有松。三方並有茅。凡諸山野所在草木。麥門冬。獨活。石斛。前胡。高良薑。連翹。黄精。百部根。貫衆。白朮。薯蕷。苦參。細辛。商陸。藁本。玄參。五味子。黄芩。葛根。牡丹。藍漆。薇。藤。李。檜字或作梧杉字或作椙赤桐。白梧。楠。椎。

海石榴。東雅云、舊以山茶為海石榴、西皮日休詩可考、天武十三年貢白海石榴。

海石榴（字或作椿）楊梅松柏（字或作榧）薜荔禽獸則有鷴晨風（字或作隼）山鷄鳩鶉鶬（字或作黃離）鴟鴞（作横到惡鳥也）熊狼猪鹿兎狐飛鼯（字或作猫作蝠）獼猴之族。至繁多不可題之。

伯太川。源出仁多與意宇二郡堺葛野山。流經母理楯縫安來三郷入于海。（有年魚伊久比。）

山國川。源出郡家東南卅八里枯見山。北流入伯太川。

福見三皆云今曰波入川出自星上京羅木山是也。四考萩山即京羅木山也。

飯梨川。源有三。一水源。出仁多大原意宇堺田原。一水源出枯見。一水源出仁多郡玉嶺山。三水合。北流入于海。有年魚伊具比。

筑陽川。源出郡家正東一十里一百歩荻山。北流入于海。有年魚。

意宇川。源出郡家正南一十八里熊野山。北流東折入于海。有年魚伊具比。

野代川。源出郡家西南一十八里須我山。北流入于海。

玉作川。源出郡家正西一十九里拜志山。北流入于海。有年魚。

來待川。源出郡家正西廿八里和奈佐山。西流至山田村。更折北流入于海。有年魚。

宍道川。源出郡家正西卅八里幡屋山。北流入于海。無魚。

津間抜池。周二里卅歩。有鳧鴨芹菜。

眞名猪池。周一里。北流入于海。

門江濱。伯耆與出雲二國堺。自東行西。
粟嶋。有椎松多年木。小竹真埼木葛。
砥神嶋。周三里一百八十歩。高六十丈。有椎
松葦蘆頭蒿都波師太等草木也。
加茂嶋。既礒。
子嶋。既礒。
羽嶋。有椿比佐木多年木蕨蘆頭蒿。
鹽楯嶋。有蓼螺子。

事其舊本作百日以降撿改之

野代海中蚊嶋。周六十歩。中央濕土四方並礒。中央有十掬計木一株耳。其礒有螺子海松。自茲以西濱。或峻堀或平土。並是通道之所經也。

通國東堺手間剗四十一里一百八十歩

通大原郡堺林垣峰三十三里二百歩

通出雲郡堺佐雜埼卅二里卅歩

通嶋根郡堺朝酌渡四里二百六十歩

前件一郡入

海之南。此則國務也。

郡主司主帳 無位海臣

少領從七位上勳業出雲臣 無位出雲臣

主政外小初位上勳業林臣

擬主政無位出雲臣

嶋根郡

合郷捌。里廿五。餘戸壹。驛家壹。

山口（ヤマグチノ）郷　今依前用

朝酌（アサクミノ）郷　今依前用

手染（タシミノ）郷　今依前用

美保（ミホノ）郷　今依前用

方結（カタエノ）郷　今依前用

加賀（カカノ）郷　本字加加

生馬郷　今依前用

法吉郷　今依前用

以上捌郷別里參

餘戸里

千酌驛家

所以號嶋根者。國引坐八束水臣津野命之詔而負給名。故云嶋根。

朝酌郷。郡家正南一十里八十四歩。熊野

大神命詔。朝御餼勘養。夕御餼勘養。五贄
組之處定給故云朝酌。
山口郷。郡家正南四里二百九十八歩。須
佐能烏命御子都留支日子命詔。吾敷坐
山口處在詔而故山口負給。
手染郷。郡家正東一十里二百六十四歩。
所造天下大神命詔。此國者丁寧所造國
在詔而故丁寧負給而今人猶誤謂手染

郷之、耳。即在正倉。
美保郷。郡家正東廿七里一百六十四歩。
所造天下大神命。娶高志國坐神意支都
久辰爲命子。奴奈宜置波比賣命而令産
神。御穗須々美命。是神坐矣。故云美保。
方結郷。郡家正東二十里八十歩。須佐能
烏命御子。國忍別命詔。吾敷坐地者國形
宜者。故云方結。

加賀郷。郡家北西二十四里一百六十歩。佐太大神所生也。御祖神魂命御子。支佐加比比賣命闇岩屋哉詔。金弓以射時光加加明也。故云加加。

生馬郷。郡家西北一十六里二百九歩。神魂命御子八尋鉾長依日子命詔。吾御子平明不憤詔。故云生馬。

法吉郷。郡家正西一十四里二百卅歩。神

社

坐一本作生。

魂命御子宇武賀比比賣命。法吉鳥化而飛度。靜坐此處。故云法吉

餘戸里。說名如意宇郡。

千酌驛。郡家東北一十九里一百八十歩。

伊佐奈枳命御子。都久豆美命此處坐。然則可謂都久豆美。而今人猶千酌號耳。

布自伎彌社　多氣社

久良彌社　同社波夜都武志別社

川上社今川邊村社也故訓邊

一本爾佐下有能字式同

川上(カハベノ)社

門江(カドエノ)社

加賀(カガノ)社

爾佐加志能爲(ニサカシノヰノ)社

生馬(イコマノ)社

以上十四所。

並在二神祇官一

大埼(オホサキノ)社

朝酌上(アサクミカミノ)社

長見(ナカミノ)社

横田(ヨコタノ)社

爾佐(ニサノ)社

法吉(ホホキノ)社

美保(ミホノ)社

大埼川邊(オホサキノカハベノ)社

同下(シモノ)社

奴奈彌社

大井社

三保社

蜛蝫社

質留比社

玉結社

虫野社

加佐奈子社

椋見社

阿羅波比社

多久社

同蜛蝫社

方結社

川原社

持田社

比加夜社

奈一本作夜誤也布奈保社也今称毛社是也

須義社

伊奈阿氣社

比津社

同玖夜社

生馬社

加茂志社

小井社

須衛都久社

伊奈頭美社

御津社

玖夜社

田原社

布奈保社

一夜社

加都麻社

毛當作年

以上卅五所。並不在神祇官。

布自枳美高山。郡家正南七里二百一十歩。高二百七十丈。周一十里。有烽。

女岳山。郡家正南二百卅歩。

蝮野。郡家西南三里一百歩。無樹木。

毛志山。郡家東北一里。

大倉山。郡家東北九里一百八十歩。

糸江山。郡家東北卅六里卅歩。

海衍字也

小倉山。郡家正西卅四里一百六十歩。凡諸山野所在草木。白朮麥門冬藍漆五味子苦參獨活葛根薯蕷卑解狼毒杜仲芍藥柴胡苦辛百部根石斛藁本藤李赤桐白桐海柘榴楠楊松栢禽獸則有鷲。字或作鵰隼山雞鳩雉猪鹿猿飛鼯。

水草川。源二。一水源出郡家東北三里一百八十歩毛志山。一水源出郡家西北六里一百六十歩同毛志山。二水合南海流入于海。

有鮒。
長見川。源出郡家東北九里一百八十歩
大倉山東流。
大鳥川。源出郡家東北一十二里一百一十
十歩墓野山南流二水合東流入于海。
野浪川。源出郡家東北廿六里卅歩。糸江
山西流入于大海。
加賀川。源出郡家西北廿四里一百六十

歩。小倉山。北流入于大海。

多久川。源出郡家西北廿四里小倉山西流入秋鹿郡佐太水海。並無魚。以上六川。

法吉坡。周五里深七尺許。有鴛鴦鴨鮒須我毛。當夏節尤有美菜。

前原坡。周二百八十歩。有鴛鴦鳧鴨等之類。

張田池。周一里卅歩。

製乾之誤也

匏池。周一百一十歩。生蒪。

美能夜池。周一里。

口池。周一里一百八十歩。有蒪鴛鴦。

敷田池。周一里。有鴛鴦。

南入海。自西行東。

朝酌促戸渡。東有通道。西在平原中央渡。則筌互東西。春秋出入大小雜魚臨時來湊筌邊駈駭風壓水衝或破壞筌。或製白

魚於鳥被捕。大小雜魚。濱藻家闐。市人四集。自然成鄽矣。自茲以東。至于大井濱之間。南北二丁濱。並捕白魚水松也。

朝酌渡。廣八十步許。自國廳通海邊道矣。

大井濱則有海鼠海松。又造陶器也。

邑美冷水。東西北山。並嵯峨。南海澶漫。中央鹵灘磷二。男女老少時ゝ叢集。常燕會地矣。

前原埼。東北並龍從。下則有陂周。二百八十歩。深一丈五尺許。三邊草木自生涯。鴛鴦鳧鴨隨時常住。陂之南海也即陂與海之間濱。東西長一百歩。南北廣六歩。肆松蓊鬱濱鹵淵澄。男女隨時叢會或愉樂歸或耽遊忘歸常燕喜之地矣

蜛蝫嶋周一十八里一百歩。高三丈。古老傳云。出雲郡杵築御埼有蜛蝫天羽一鷲

掠持飛燕來。止于此島。故曰蝺蝫嶋。今人猶誤栲嶋號耳。土地豊沃。西邊松二株。以外茅莎薺頭蒿蕗等之類生靡。卽（牧。）有去陸二里。

蜈蚣嶋。周五里一百卅歩。高二丈。古老傳云。有蝺蝫嶋蝺蝫食來蜈蚣止居此嶋。故云蜈蚣嶋。東邊神社以外。皆悉百姓之家。土體豊沃。草木枝疎。桑麻豊富。此洲所謂

嶋里是矣。去陸二里一百歩。卽自此嶋。達伯耆國郡内夜見嶋。磐石二里許。廣六十歩許。來馬猶往來。鹽滿時。深二尺五寸許。鹽乾時者。已如陸地。

和多々嶋。周三里二百卅歩。有椎海石榴白桐松芋菜薺頭蒿蕗都猪鹿。去陸渡一十歩。不知深淺。

美佐嶋。周二百六十歩高四丈。有椎橿茅葦都波薺蒿。

戸江剗。郡家正東廿里一百八十歩。非島陸地濱耳。伯耆郡内夜見島将相向之間也。

栗江埼。相向夜見島促戸渡。二百一十六歩。埼之西入海堺也。

凡南入海所在雜物。入鹿和爾須受枳鯔近志呂鎮仁白魚海鼠鰝鰕海松等之類。至多不可盡名。

北大海。埼之東大海堺也。猶自西行東。

鯉石嶋。生海藻。

大嶋。礒。

宇由比濱廣八十歩。捕志毘魚。

鹽道濱廣八十歩。捕志毘魚。

澹由比濱廣五十歩。捕志毘魚。

加努夜濱廣六十歩。捕志毘魚。

美保濱廣一百六十歩。西有神社。北百姓家。捕志毘魚。

美保埼。用壁峙崩定岳

等二嶋。當隅二。

志嶋。磯。

久毛等浦。廣一百歩。自東行西十船可泊。

黒嶋。生海藻。

這田濱長二百歩。

比佐嶋。生紫菜海藻。

長嶋。生紫菜海藻。

比賣嶋。磯。

結嶋門周二里卅歩。高一十丈。有松蘼頭萵都波

御前小嶋磯。

質留比浦。廣二百卅歩。南神社。北百姓之家。卅船可泊。

久宇嶋。周一里卅歩。高七尺。有椿椎白朮小竹薺頭萵

都波

芋。

加多比嶋磯。

船嶋磯。

屋嶋周二百歩。高廾丈。有椿松蘼頭萵

赤嶋。生海藻。

宇氣嶋。生海藻。

黑嶋。生海藻。

粟嶋。周二百八十歩高一十丈。有松芋都波。

玉結濱。廣一百八十歩。有碁石。東邊有唐

砥。又有百姓之家。

小嶋。周二百卅歩高一十丈。有松苐蘮

頭蒿都波。

方結濱。廣一里八十歩。東西有

家。

勝間埼。有二窟。一高一丈五尺。裏周一十

八歩。一高一丈五尺。裏周

二十歩。
鳩嶋。周一百廿歩。高一十丈。有都波苡。
鳥嶋。周八十二歩。高一十五尺。有鳥栖。
黒嶋。生紫菜海藻。
須義濱。廣二百八十歩。
衣嶋。周一百卅歩。高五丈。中鑿南北船猶往來也。
稲上濱。廣一百六十歩。有百姓之家。

稻積嶋。周卅八步。高六丈。有松林。鳥之栖。中鑿南北。船猶往來也。

大嶋。礒

千酌濱。廣一里六十步。東有松林。南方驛家。北方百姓之家。郡家東北一十九里。一百八十步。此則所謂度隱岐國津是也。

加志嶋。周五十六步。高三丈。有松。

赤嶋。周一百步。高一丈六尺。有松。

葦浦濱。廣一百卅步。有百姓之家。

笠石。

黒嶋。生紫菜海藻。

亀嶋。生紫菜海藻。

附嶋。周二里一十八歩。高一丈。有椿松薺頭蒿葦茅

都波。真薺頭蒿者。正月元日生。長六寸。

蘇嶋。生紫菜海藻。中鑿南北。船猶往来也。

真屋嶋。周六里。高五丈。有松。

松嶋。周八十歩。高一丈。有松林。

立石嶋。磯。

瀬埼。磯。所謂瀬埼戍是也。

野浪濱。廣二百八歩。東邊有神社。又有百姓之家。

鶴嶋。周二百一十歩。高九丈。有松。

間嶋。生海藻。

毛都嶋。生紫菜海藻。

川來門大濱。廣一里一百歩。有百姓之家。

黒嶋。生海藻。

小黒嶋。生海藻。

加賀神埼。即有窟。高一十丈許。周五百二歩許。東西北通。所謂佐太大神之所産生處也。所産生臨時。弓箭亡坐。爾時御祖神魂命之御子枳佐加比比賣命。願吾御子麻須羅神御子坐者。所亡弓箭出來願坐。爾時角弓箭隨水流出。爾時所生御子詔此者非弓箭詔而。擲廢給。又金弓箭流出來。即待取之坐而。闇鬱窟哉詔而射通坐。即御祖支佐加比比賣命社坐此處。今人此窟邊行時必聲磆磕而行。若密行者神現而飄風起。行船者必覆也。

御嶋。周二百八十歩。高一十丈。中通東西。有椿松栢。

葛嶋。周一里一百十歩。高五丈。有椿松小竹茅葦。

櫛嶋。周二百卌歩。高一十丈。有松林。

許意嶋。周八十歩。高一十丈。有松林茅澤淳。

眞嶋。周一百八十歩。高一十丈。有松。

比羅嶋。生紫菜海藻。

黒嶋。生紫菜海藻。

名嶋。周一百八十歩。高九丈。有松。

赤嶋。生紫菜海藻。

大埼濱。廣一里一百八十歩。西北有窟。百姓之家。

須比埼。有白朮。

御津濱。廣二百八歩。有百姓之家。

三嶋。生海藻。

虫津濱。廣一百廾歩。

手結埼。濱邊有窟。高一丈。裏周三十歩。有一檜。

手結浦。廣四十二歩。船二計可泊。

父宇嶋。周一百卅歩。高七丈。有松

凡北海所捕。雜物志毘鮹鮐鯊烏賊蜛蝫

鮑栄螺蛤貝字或作蚌菜。棘甲蠃字或作甲蠃石經子

蓼螺子字或作螺子螺蠣子石華字或犬脚也或嚝作蟖於

脚者勢也白貝海藻海松紫菜凝海藻等之類

至繁不可盡稱也

通意宇郡堺朝酌渡一十一里二百卅歩。

之中海八十步。通秋鹿郡堺佐太橋。一十五里八十步。通隱岐渡千酌驛家濱。一十九里一百八十步。

郡司　主帳無位出雲臣

大領外正六位下社部臣

小領外從六位上社部石臣（一本右臣　一本石若）

主政從六位下勲業蝮朝臣

秋鹿郡

合郷肆 里一十二 神戸壹

恵曇郷（ヱトモノサト） 本字恵伴

多太郷（タダノ） 今依前用

大野郷（オホヌノ） 今依前用

伊農郷（イヌノ） 本字伊努

以上肆郷別里參

神戸里（カムベノサト）

所以號秋鹿者。郡家正北秋鹿日女命坐。故云秋鹿矣。

惠曇郷。郡家東北九里卅歩。須佐能乎命御子。磐坂日子命。國巡行坐時。至坐此處而詔。此處者國稚美好。有國形如畫鞆哉。吾之宮者是處造事者詔。故云惠伴。神龜三年改字惠曇。

多太郷。郡家西北五里一百卅歩。須佐能

乎命御子。衝杵等乎而留比古命國巡行坐時至坐此處而詔。吾御心照明正眞成吾者此處靜將坐詔而靜坐。故云多太。大野鄉。郡家正西一十里廿歩。和加布都努志能命御狩爲坐時。卽鄉西山狩人立賜而追猪犀北方山之至河内谷而其猪之跡亡失。爾時詔自然哉猪之跡亡失詔。故云内野。然今人猶誤大野號耳。

伊農郷。郡家正西一十四里二百歩。出雲郡伊農郷坐。赤衾伊農意保須美比古佐和氣能命之后天甕津日女命。國巡行坐時至坐此處而詔。伊農波夜詔。故云伊努。

神亀三年改字伊農。

神戸里。出雲也。説名如意宇郡。

佐太御子社　比多社

御井社　垂水社

恵杼毛社
大野津社
大井社
以上一十所並在神祇官
恵曇海邊社
奴多之社
多太社
出嶋社

許曾志社
宇多貴社
宇知社
同海邊社
那牟社
同多社
阿之牟社

田仲社
細見社
伊努社
草野社
彌多仁社
同下社
毛之社
秋鹿社

以上一十六所。

並不在神祇官。

神名火山。郡家東北九里卌歩。高二百卅丈。周一十四里。所謂佐太大神社。即在彼山下也。

神壽詞云今日生日足日云云

林木之誤也上頭遊仙窟云ノイタヾキ訓又眞熟云上頭嶺字誤也今從之

足日山。郡家東北七里。高一百七十丈。周一十里二百歩。

女嵩野山。郡家正西一十里廿歩。高一百八十丈。周六里。土體豊饒。百姓之膏腴之園矣。無樹林。但上頭有樹林。此則神社也。

都勢野山。郡家正西一十里廿歩。高一百一十丈。周五里。無樹林。嶺中有潭。周五十歩。蘿藤萩等茅等物叢生。或叢峙。或伏水

鶯鶩任也

今山郡家正西一十里廿歩周七里凡諸山野所在草木白朮獨活女青苦參貝母牡丹連翹伏苓藍漆女委細辛蜀椒薯蕷白歛芍藥百部根薇蕨薺頭蒿藤李赤桐椎椿楠松栢槻禽獸則有鵰晨風山鶏鳩雉猪鹿兎飛鼯狐獼猴。

佐太川源二東水源嶋根郡所謂多久川是也西水源出秋鹿郡渡村

二水合南流入佐太水海。郎水海周七里。有鮒。水海通入海潮長一百五十歩。廣一十歩。

山田川。源出郡家西北七里湯太。南流入于海。

多太川。源出郡家正西一十里女嵩野。南流入于海。

大野川。源出郡家正西一十三里磐門山。

南流入于海。
草野川。源出郡家正西一十四里。大繼山。
南流入于海。
伊農川。源出郡家正西一十六里。伊農山。
南流入于海。
長江川。源出郡家東北九里卅歩。神名火
山。南流入于海。以上七川。並無魚。
恵曇池。本字恵伴。恵曇字奏。陂周六里。有鴛鴦鳧

天平二年旧本誤作大平今改之

[illegible]

鴨鷄。四邊生葦蒋菅。自養老元年以往。荷蕖自然叢生。天平二年以降自然至失。都無莖。俗人云。其底陶器甕𤭖等類多有也。自古時二人溺死。不知深淺矣。

深田池。周二百卅歩。有鴛鴦鳧鴨。

杜原池。周一里二百歩。

蜂峙池。周一里。

佐久羅池。周一里一百歩。有鴛鴦

居疑用之誤字歟

南入海。春則有鯔魚・須受枳・鎮仁・鰝鰕等大小雜魚。秋則有白鵠・鴻雁・鳧鴨等鳥。

北大海。

恵曇濱。廣二里一百八十歩。東南並有家。西野。北大海。即自浦至于在家之間。四方並無石木。猶白沙之積。大風吹時。其沙或隨風雪零。或居流蟻散。掩覆桑麻。即有彫鑿盤壁二所。一所厚三丈。廣一丈。高八尺。一所厚二丈二尺。廣一丈。高

一丈。其中通川、北流入大海。（川東嶋根郡也。西秋鹿郡内也。）

自川口。至南方田邊之間。長一百八十歩

廣一丈五尺。源者田水也。上文所謂佐太

川西源是同處矣。

凡渡村田水南北別耳。古老傳云。嶋根郡

大領社部臣訓麻呂之祖波蘇等。依稻田

之澇所彫掘也。起浦之西礒盡楯縫郡堺

自毛埼之間濱。壁等崔嵬。雖風之靜往來

船無由停泊頭矣。

白嶋。生紫苔菜。

御嶋。高六丈。周八十歩。有松三株。

都於嶋。礒。

著穂嶋。生海藻。

凡北海所在雜物。鮎鯊佐波烏賊鰒魚螺貽貝蚌甲蠃石華駭子海藻海松紫菜凝海菜

通嶋根郡堺佐太橋八里二百歩。通楯縫郡堺伊農橋一十五里〇〇歩。

郡司主帳外從八位下勲業日下部臣

大領外正八位下勲業刑部臣

權任少領從八位下蝮部臣

楯縫郡

合郷肆。里一十二。餘戸壹。神戸壹。

佐香郷（サカノサト）　今依前用

楯縫郷（タテヌヒノサト）　今依前用

玖潭郷（クタミノサト）　本字忽美

沼田郷（ヌタノサト）　本字努多

以上肆郷。別里参。

餘戸里（アマリベノサト）

神戸里

所以號楯縫者。神魂命詔。五十足天日栖宮之縱橫御量千尋栲繩持而百結二八十結二下而。此天御量持而所造天下大神之宮造奉詔而御子天御鳥命楯部爲而。天降下給之爾時退下來坐而。大神宮御儀東楯造始給所是也。仍至今楯桙造而。奉於皇神等。故云楯縫。

百神 誤字

佐香郷。郡家正東四里一百六十歩。佐香河内百八十神等集坐御厨立給而令釀酒給之。即百八十日喜讌解散坐故云佐香。

楯縫郷。即屬郡家。說名如郡。即北海濱業梨磯有窟裏方一丈半高廣各七尺。裏南壁有穴。口周六尺。徑二尺。人不得入。不知遠近

玖潭郷。郡家正西五里二百歩。所造天下

大神命。天御飯田之御倉將造給並覓巡行給爾時波夜佐雨久多美乃山詔給之故云忽美。神龜三年改字玖潭。

沼田鄉。郡家正西八里六十歩。宇乃治比古命以爾多水而御乾飯爾多爾食坐詔而爾多負給之然則可謂爾多鄉與今人猶云努多耳。神龜三年改字沼田。

餘戶里 說名如意宇郡。

神戸里。出雲也。説名如意宇郡。
新造院一所。在沼田郷中。建立嚴堂也。郡家正西六里一百六十歩。大領出雲臣大田之所造也。

久多美社　多久社
佐加社　乃利斯社
御津社　水社
宇美社　許豆社

同社

以上九所。並在神祇官。

許豆乃社

又許豆社

同久多美社

又高守社

鞆前社

埼田社

又許豆社

久多美社

高守社

紫菜嶋社

宿努社

山口社

葦原社　又葦原社
田田社　峴之社
阿牟知社　葦原社
田田社

以上一十九所

並不在神祇官。

神名樋山。郡家東北六里一百六十歩。高一百廿五尺。周廿一里一百八十歩。嵬西有石神。高一丈周一丈許。側有小石神

畢己旱之渇也　四十一本作卌

百餘許。古老傳云。阿遲須枳高日子命之后天御梶日女命。來坐多乆村。産給多伎都比古命。爾時教詔。汝命之御社之向位欲生此處宜也。所謂石神者。卽是多伎都比古命之御魂。當畢己雨時必令零也。

阿豆麻夜山。郡家正北五里四十歩。

見椋山。郡家西北七里。

凡諸山所在草木蜀椒漆麥門冬伏苓細

水一本作川誤也

川

辛白欽杜仲人參升麻薯蕷白朮藤杏榧楡椎赤桐白梧海榴楠松槻禽獸則有鵰晨風鳩山鷄猪鹿兎狐獼猴飛鼯

佐香川。源出郡家東北所謂神名樋山。東南流入于海。

多久川。源出郡家東北神名樋山。西南流入于海。

都宇川。源二。東水源出阿豆麻夜山。西水源出見椋山。二水合

南流入于海。
宇賀川。源出同見掠山。南流入于海。
麻奈加比池。周一里一十歩。
大東池。周一里。
赤市池。周一里二百歩。
沼田池。周一里五十歩。
長田池。周一里一百歩。
南入海。雑物等者。如秋鹿郡説。

北大海

自毛埼。秋鹿與楯縫二郡界。崔嵬松栢鬱時。即有晨風之栖。

佐香濱。廣五十歩。

己自都濱。廣九十歩。

御津嶋。生紫菜。

御津濱。廣三十八歩。

能呂志嶋。生紫菜。

能呂志濱。廣八歩。

鎌間濱。廣一百歩。

彌豆嶋。長○里二百歩廣一里。（周。嵳峩。上有松菜芋。）

許豆嶋。（生紫菜。）

許豆濱。廣一百歩。（出雲與楯縫二郡之堺。）

凡北海所在雜物。如秋鹿郡説。但紫菜者。楯縫郡尤優也。

通秋鹿郡堺伊農川。八里二百六十四歩。

通出雲郡堺宇賀川。七里一百六十歩。

郡司主帳无位物部臣
大領外從七位下勲業出雲臣
小領外正六位下勲業高善史

出雲郡

合郷捌 里廾 神戸壹 里

健部郷（タケベノサト） 今依前用

漆沼郷（シツヌノサト） 本字志司沼

河内郷（カフチノサト） 今依前用

出雲郷（イヅモノサト） 今依前用

杵築郷（キヅキノサト） 本字寸付

伊努郷（イヌノサト） 本字伊農

姓氏錄云無取部連中略謂出雲宇夜江云云

坐當作里

美談郷 本字三太三

以上漆郷別里參

宇賀郷 今依前用 里二

神戸郷 里二

所以號出雲者說名如國也。

健部郷 郡家正東一十二里二百廿四歩。

先所以號宇夜里者。宇夜都弁命其山峰天降坐之。即彼神之社。至今猶坐此處。故

云宇夜里。而後改所以號健部之纏向檜代宮御宇天皇。勅不忘朕御子倭健命之御名。健部定給。爾時神門臣古禰健部定給。即健部臣等自古至今。猶居此處。故云健部。

漆沼郷。郡家正東五里二百七十歩。神魂命御子天津枳値可美高日子命御名又云薦枕志都沼値之。此神郷中坐。故云志

司沼。神龜三年。改字漆沼。即有正倉。
河內郷。郡家正南一十三里一百歩。斐伊大河。野郷中北流。故云河內。即有優長一百七十丈五尺。七十一丈之廣七丈。九十五丈之廣四丈五尺
出雲郷。即屬郡家。說名如國。
杵築郷。郡家西北廿八里六十歩。八束水臣津野命之國引給之後所造天下大神之宮將奉與諸皇神等參集宮處杵築故

云伊努之努當作怒目録可證

云寸付。神亀三年改字杵築。

伊努鄕。郡家正北八里七十二歩。國引坐意美豆努命御子。赤衾伊努意保須美比古佐倭氣命之社。即坐鄕中。故云伊努。神亀三年改字伊努。

美談鄕。郡家正北九里二百四十歩。所造天下大神御子。和加布都努志命。天地初判之後天御領田之長供奉坐之。即彼神

坐郷中。故云三太三。神龜三年改字美談。即有正倉。

宇賀郷。郡家正北一十七里廿五歩。所造天下大神命。讓坐神魂命御子綾門日女命。爾時女神不肯。逃隱之時大神伺求給所是則此郷。故云宇賀。即北海濱有磯名腦磯。高一丈許。上生松木芸。至磯邑人之朝夕如往來。又木枝人之如攀引。自磯西方有窟戸。高廣各六尺許。窟内有穴。人不

得入不知深淺也。夢至此礒窟之邊者必死。故俗人自古至今號云黄泉之坂黄泉之穴也。

神戸里。郡家西北二十里一百卅歩。出雲也。説名如意宇郡。

新造院一所有河内郷中。建立嚴堂也。郡家正南一十三里一百歩。舊大領置部臣布禰之所造。今大領佐宜鹿之祖父。

杵築大社（キヅキオホヤシロ）

御向社（ミムカヒノ）

御魂社（ミタマノ）

意保美社（オホミノ）

久年社（クムノ）

阿受伎社（アズキノ）

伊奈佐乃社（イナサノ）

阿我多社（アガタノ）

御魂社（ミタマノ）

出雲社（イヅモノ）

伊努社（イヌノ）

曾伎乃夜社（ソキノヤノ）

審伎乃夜社（ソキノヤノ）

美佐伎社（ミサキノ）

彌太彌社（ミタミノ）

伊波社（イハノ）

阿具社
久佐加社
阿受枳社
同阿受枳社
神代社
來坂社
同社
鳥屋社

都牟自社
彌努婆社
宇加社
布世社
加立利社
伊農社
同社
御井社

介豆伎社
同社
同社
阿受枳社
同社
同社
同社
同社
來坂社
同社
縣社

同社
同社
同社
同社
同社
同社
伊努社
同社
彌陀彌社
斐提社

韓鍾（カラカマノ）社

伊自美（イシミノ）社

立虫（タチムシノ）社

以上五十八所

並在神祇官。

御前（ミサキノ）社

支豆支（キツキノ）社

同阿受支社

同阿受支社

加佐伽（カサカノ）社

波禰（ハネノ）社

同御埼（ミサキノ）社

阿受支（アズキノ）社

同社

同阿受支社

努上脫伊字亭

同社
同社
同社
同社
同社
同社
同努社
同社

同社
同社
同社
同社
同社
同社

同社
同社
同社
同社
同社
同社
同伊努社
縣社

同社
同社
同社
同社
同社

彌陀彌社

同社

同社

同社

同社

同社

同社

都牟自社

彌努波社

同社

同社

布西社

同彌陀彌社

同社

同社

同社

同社

伊爾波社

同社

山邊社

間野社

波加社

山　槐字須鏡木

佐支多社　支比佐社

神代社　同社

百枝槐社

以上六十四所。

並不在神祇官。

神名火山。郡家東南三里一百五十歩。高一百七十五丈。周一十五里六十歩。曾支能夜社坐。伎比佐加美高日子命社。即在此山嶺。故云神名火山。

古事記所謂宇迦山是也

出雲御埼山。郡家正北廿七里三百六十步。高三百六十丈。周九十六里一百六十五步。西下所謂所造天下大神之社坐也。

凡諸山野所在草木。卑解百部根女委夜干商陸獨活葛根薇藤李蜀椒楡赤桐白桐推椿松栢禽獸則有晨風鳩山鷄鵠鶇猪鹿狼兎狐獼猴飛鼠也。

出雲大川源自伯耆與出雲二國堺鳥上

土五 誤

真龍 云歎 穎也

土休 豐渡 四字重出

山流出仁多郡橫田村即經橫田三處三澤布勢等四郷出大原郡堺引沼村即經來次斐伊屋代神原等四郷出出雲郡堺多義村經河內出雲二郷北流更折西流即經伊努杵築二郷入神門水海此則所謂斐伊河下也河之西邊或土地豐饒土穀衆麻稔歎枝百姓之膏腴薗或土休豐渡草木叢生也則有年魚鮭麻須伊具比

魴鱧等之類。潭湍双泳。自河口至河上横田村之間。五郡百姓便河而居。出雲神門飯石仁多大原郡。起孟春至季春。校材木船。沿泝河中也。

意保美小川。源出出雲御崎山。北流入大海。有年魚少少。

頂池。周二百卅歩

須比池。周二百五十歩

西門江。周三里一百五十八歩。東流入于海。有鮒。

大方江。周二百卅四歩。東流入于海。有鮒。二江源者。並田水所集矣。東入海三方並平原遼遠。多有山雞鳩鳧鴨鴛鴦等之族也。

東入海所在雜物如秋鹿郡說也。

北大海。宮松崎。有楯縫與出雲郡堺。

意保美濱。廣二里一百卅歩。

氣多嶋。生紫菜海松。有鰒螺子棘甲蠃。

井呑濱。廣四十二歩。

宇太保濱。廣三十五歩。

大前嶋。高一丈。周二百五十歩。生海藻。

脳嶋。生紫菜海藻。有松柏。

鷺濱。廣二百歩。

黑嶋。生紫藻。

米結濱。廣二十歩。

爾比埼。長一里四十歩。廣卅歩。崎之南山。

東西通戸。船猶往來。上則松叢生也。

宇禮保浦。廣七十八歩。船卅許可泊。

山埼。高卅九丈。周一里二百五十歩。有椎楠椿松。

子負嶋。礒。

大埼濱。廣一百五十歩。

御前濱。廣一百二十歩。有百姓家。

御巌嶋。生海藻。
御厨家嶋。高四丈。周二十歩。有松。
等二嶋。有鬚石花。
怪聞埼。長三十歩。高三十二歩。有松。
意能保濱。廣一十八歩。
粟嶋。生海藻。
黒嶋。生海藻。
這田濱。廣一百歩。

薗下脱濱字

二俣濱。廣九十八歩。

門石嶋。高五丈。周四十二歩。有鷲之栖。

薗。長三里一百歩。廣一里二百歩。松繁多矣。即自神門水海。通大海江。長三里。廣一百二十歩。此則出雲與神門二郡堺也。

凡北海所在雜物。如楯縫郡説。但鮑出雲郡尤優。所捕者所謂御埼海子是也。

通意宇郡堺佐雜村。一十三里六十四歩。

通神門郡塓出雲大河邊二里六十步。通大原郡塓多義村一十五里卅八步。通楯縫郡塓宇加川一十四里二百二十歩。

郡司主帳無位若倭部臣
大領外正八位下置部臣
小領外從八位下太臣
主政外大初位下部臣

神門郡

合郷捌。里廿餘戸壹。驛家貳。神戸壹。

朝山郷（アサヤマノサト）　今依前用　里貳

置郷（オキノサト）　今依前用　里參

鹽冶郷（ヤムヤノサト）　本字止屋　里參

八野郷（ヤヌノサト）　今依前用　里參

高岸郷（タカキシノサト）　今依前用　里參

古志郷（コシノサト）　今依前用　里參

滑狭郷　今依前用　里貳

多伎郷　本字多吉　里參

餘戸里

狭結郷　本字最邑

多伎驛　本字多吉

神戸里

所以號神門者。神門臣伊賀曾然之時。神門貢之。故云神門。即神門臣等自古至今。

常居此處故云神門。
朝山郷。郡家東南五里五十六歩。神魂命御子。眞玉著玉之邑日女命坐之。爾時所造天下大神大穴持命娶給而。每朝通坐。故云朝山。
置郷。郡家正東四里。志紀嶋宮御宇天皇之御世。置伴部等所遣來宿停而爲政之所。故云置郷

鹽治郷。郡家東北六里。阿遲須枳高日子命御子。鹽冶毗古能命坐之。故云止屋。神亀三年改字鹽冶。

八野郷。郡家正北三里二百一十歩。須佐能袁命御子。八野若日女命坐之。爾時所造天下大神大穴持命。將娶給爲而令造屋給。故云八野。

髙岸郷。郡家東北二里。所造天下大神御

子。阿遲須枳高日子命甚晝夜哭坐仍其處高屋造而坐之卽建高椅而登降養奉。故云高岸。神龜三年。改字高岸。

古志郷。卽屬郡家。伊弉那彌命之時以日淵河築造池之。爾時古志國人等到來而爲堤。卽宿居之處故云古志。

滑狹郷。郡家南西八里。須佐能袁命御子。和加須世理比賣命坐之。爾時所造天下

大神命。竪而通坐時。彼社之前有磐石。其上甚滑也。卽詔滑磐石哉詔。故云南佐。神亀三年改字滑狹。

多伎鄕。郡家南西卅里。所造天下大神之御子阿陀加夜努志多伎吉比賣命坐之。故云多吉。神亀三年改字多岐。

餘戶里。郡家南西三十六里。說名如意宇郡。

狹結驛。郡家同所。古志國佐與布云人來

本當作建

居之。故云最邑。神亀三年改字揖結也。其所以来居者。説如古志郷也。

多岐驛。郡家西南一十九里。説名改字如多伎郷也。

神戸里。郡家東南一十里。説名如意宇郡。

新造院一所。在朝山郷中。郡家正東二里六十歩。建立嚴堂也。神門臣等之所造也。

新造院一所。在古志郷中。郡家東南一里。不立嚴堂也。刑部臣等之所造也

美久我社
比布知社
多吉社
矢野社
奈賣佐社
淺山社
佐志牟社
阿利社

阿須理社
又比布知社
夜牟夜社
波加佐社
知乃社
久奈爲社
多支枳社
阿如社

國村社（クムラノ）

阿利社（アリノ）

保乃加社（ホノカノ）

夜牟夜社（ヤムヤノ）

比奈社（ヒナノ）

以上廿五所

並在神祇官

鹽夜社（ヤムヤノ）

同鹽夜社（マムヤノ）

奈賣佐社（ナメサノ）

大山社（オヤマノ）

多吉社（タキノ）

同夜牟夜社（ヤムヤノ）

火守社（ホモリノ）

久奈子社（クナコノ）

同久奈子社　　加夜社
小田社　　波加佐社
同波加佐社　　多支社
多支二社　　波須波社

以上十二所。並不在神祇官。

田俣山。郡家正南一十九里。有檜枌。
長柄山。郡家東南一十九里。有檜枌。
吉栗山。郡家西南廿八里。有檜枌也。所謂所造天下大神

宮排造山也。

宇比多伎山。郡家東南五里五十六歩。大神之御屋也。

稻積山。郡家東南五里七十六歩。大神之稻積也。

陰山。郡家東南五里八十六歩。大神之御陰也。

稻山。郡家正東五里一百一十六歩。東有樹林。三方並磯也。大神之御稻。

桙山。郡家東南五里二百五十六歩。南西並有

樹林。東北並礒也。大神之御桙。

冠山。郡家東南五里二百五十六歩。大神之御冠。

凡諸山野所在草木。白歛桔梗藍漆龍膽商陸續斷獨活白芷秦椒百部根百合卷柏石斛升麻當歸石葦麥門冬杜仲細辛伏苓葛根薇蕨藤李蜀椒檜杉榧赤桐白桐椿槻柘楡檗楮禽獸則有鵰鷹晨風鳩

山鷄鶉鷸狼猪鹿兎狐獼猴飛鼯也

神戸川。源出飯石郡琴引山北流。卽經來嶋波多須佐三鄕。出神門郡餘戸里大門立村。卽經神戸朝山古志等三鄕。西流入水海也。則有年魚鮭麻須伊具比也。

多岐小川。源出郡家西南卅三里多岐山。北流入于大海。有年魚。

宇加池。周三里六十歩。

剗當作止

來食池。周一里一百四十歩。有菜。

笠柄池。周一里六十六歩。有菜。

剗屋池。周一里。

神門水海。郡家正西四里五十歩。周卅五里七十四歩。裡則有鯔魚鎭仁須受枳鮒玄蠣也。即水海與大海之間有山。長廾二里二百卅四歩。廣三里。此者意美豆努命之國引坐時之綱矣。今俗人號云薗松山。

年當作半　乎須當作平砂　通道

地之形體壞石並無也。白沙耳積上。即松林茂繁。四風吹時沙飛流。掩埋松林。今年埋半遺。恐遂被埋。已與起松山南端美久我林盡石見。與出雲二國堺中嶋埼之間。或乎須或陵磯。

凡北海所在雜物。如椿縫郡說。但無紫菜。

通出雲郡堺出雲河邊。七里廿五歩。通飯石郡堺堀坂山。一十九里。通同郡堺與曾

記村。卅五里一百七十四歩。通石見國安農郡堺多ニ山卅三里。路常有剗。通同安農郡川相郷卅六里。徑常剗不有。但當有政時權置耳。前件五郡並大海之南也。

郡司主帳無位刑部臣

大領外從七位上勲業神門臣

擬小領外大初位下勲業刑部臣

主政外從八位下勲業吉備部臣

仁多郡

合郷肆。里十二。

三處郷(ミトコロノサト)　今依前用

布勢郷(フセノサト)　今依前用

三津郷(ミツノサト)　今依前用

横田郷(ヨコタノサト)　今依前用

以上肆郷別里参。

所以號仁多者(ニタトナツクルユヱハ)。所造天下大神(アメノシタツクラシシオホカミ)。大穴持命(オホナモチノミコトノ)

詔。此國者。非大非小。川上者。木穗判加布。川下者阿志波布這度之。是者爾多志枳小國在詔。故云爾多。

三處鄉。卽屬郡家。大穴持命詔。此地田好。故吾御地古經。故云三處。

布勢鄉。郡家正西一十里。古老傳云。大神命之宿坐處。故云布世。神亀三年改字布勢。

三津鄉。郡家西南廿五里。大神大穴持命

大當作江

沼於當作沼出下文沼亦然

御子。阿遲須枳高日子命。御須髮八握于生。晝夜哭坐之辭不通。爾時祖命。御子乘船而。率巡八十嶋宇良加志給鞆猶不止哭之。大神夢願給。告御子之哭由夢爾願坐。則夜夢見坐之御子之辭通。則竊問給。爾時御津申。爾時何處然云問給。卽御祖前立去於坐而石川度坂上至畱。申是處也。爾時其津水沼於而。御身沐浴坐。故國

已當作不

遣神吉事奉參向朝廷時。其水沼出而用初也。依此令產婦彼村稻不食。若有食者。所生子已云也。故云三津。神亀三年改字三澤。卽有正倉。

横田鄕。郡家東南廿一里。古老傳云。鄕中有田四段許。形聊長。遂依田而故云横田。卽有正倉。以上諸鄕所出鐵堅尤堪造雜具。

弎澤社

伊我多氣社

仰支二字誤也。疑斯期也。

以上二十一所並在神祇官。

玉作社　　須我非乃社

湯野社　　比太社

漆仁社　　大原社

仰支斯里社　　石壺社

以上八所並不在神祇官

鳥上山。郡家東南卅五里。伯耆與出雲之堺。有鹽味葛。

室原山。郡家東南卅六里。備後與出雲二國之堺。有鹽味

古語拾遺神武天皇条云、櫛明玉命之孫造玉、祈玉、其裔今在出雲國、毎年與調物貢進其玉。

託、記誤、此下倣此。

葛

灰火山。郡家東南卅里。

遊託山。郡家正南卅七里。有塩味葛。

御坂山。郡家西南五十三里。即此山有神御門。故云御坂。備後與出雲之堺。有塩味葛。

志努坂野。郡家西南卅一里。有紫草少少。

玉峰山。郡家東南一十里。古老傳云。山嶺在玉上神社。故云玉峯。

城紲野。郡家正南一十里。有紫草少少。
大内野。郡家正南卅二里。有紫草少少。
菅火野。郡家正西四里。高一百卅五丈。
周一十里。峯有神社。
戀山。郡家正南卅三里。古老傳云。和爾戀
阿伊村坐神玉日女命而上到。爾時玉日
女命以石塞川。不得會所戀。故云戀山。
凡諸山野所在草木。白頭公。藍漆。高本。玄

參百合王不留行。薺苨百部根瞿麥升麻拔葜黃精地楡附子狼牙離留石斛貫衆續斷女委藤李楡檜椙樫松栢栗柘槻蘗楮。禽獸則有鷹晨風鳩山鷄熊狼猪鹿狐兎獼猴飛猫。

横田川。源出郡家東南卅五里鳥上山北流。所謂斐伊大河上。有年魚少々。

室原川。源出郡家東南卅六里。室原山北

御坂山下諸本曾脱北流六字

流。此則所謂斐伊大河上。有年魚麻須、魴鱧等類。

灰火小川。源出灰火山。入斐伊河上。有年魚。

阿伊川。源出郡家正南卅七里遊託山。北流。入斐伊河上。有年魚麻須。

阿位川。源出郡家西南五十里御坂山。入斐伊河上。有年魚麻須。

比太川。源出郡家東南一十里玉峰山。北流。意宇郡野城河上是也。有年魚。

湯野小川。源出玉峰山西流。入斐伊河上。
通飯石郡堺。漆仁川邊。卅八里。即川邊有
藥湯。浴之則身體穆平。再濯則萬病消除
男女老少。晝夜不息。駱驛往來。無不得驗。
故俗人號云藥湯也。即有正倉
通大原郡堺辛谷村。一十六里二百卅六
步。通伯耆國日野郡堺阿志毘緣山。卅五
里一百五十步。常剗。有
通備後國惠宗郡堺

遊託山卅七里。常有劉。通同惠宗郡堺比布山。五十三里。常無劉。但當有政時權置耳。

郡司主帳外大初位下品治部

大領外從八位下蝮部臣

少領外從八位下出雲臣

飯石郡

合郷漆。里十九。

熊谷郷(クマタニノサト)　今依前用

三屋郷(ミトヤノサト)　本字三刀矢

飯石郷(イヒシノサト)　本字伊鼻志

多禰郷(タネノサト)　本字種

須佐郷(スサノサト)　今依前用

以上伍郷別里參

波多鄕　今依前用

來嶋鄕　本字支自眞

以上貳鄕別里貳

所以號飯石者。飯石鄕中。伊毘志都幣命坐。故云飯石。

熊谷鄕。郡家東北。卅六里。古老傳云。久志伊奈太美等與麻奴良比賣命。任身及將産時。求處生之。爾時。到來此處。詔。甚久二

麻二志积谷在。故云熊谷也。

三屋郷。郡家東北廿四里。所造天下大神之御門即在此處。故云三刀矢。神亀三年。改字三屋。即有正倉。

飯石郷。郡家正東一十二里。伊毗志都幣命天降坐處。故云伊鼻志。神亀三年。改字飯石。

多禰郷。属郡家。所造天下大神大穴持命與須久奈比古命。巡行天下時。稲種墮此

家當作處

處。故云種。神亀三年。改字多禰。
須佐郷。郡家正西一十九里。神須佐能袁
命詔。此國者雖小國。二處在故我御名者。
非著木石詔而。即己命之御魂鎮置給之
處。然即大須佐田小須佐田定給。故云須
佐。即有正倉。
波多郷。郡家西南一十九里。波多都美命
天降坐家在。故云波多。

來嶋郷。郡家正南卅六里。伎自麻都美命坐。故云支自眞。神亀三年改字來嶋。即有正倉。

須佐社　河邊社

御門屋社　多倍社

飯石社

以上五所並在神祇官。

狭長社　飯石社

田中社　多加毛利社

兎比社

井草社

託和社

葦鹿社

穴見社

志志乃村社

日倉社

深野社

上社

粟谷社

神代社

以上十五所並不在神祇官。

焼村山。郡家正東一里。

宂厚山。郡家正南一十里。

笑村山。郡家正西一十里。

廣瀬山。郡家正北一十里。

琴引山。郡家正南卅五里。二百歩。高三百丈。周一十一里。古老傳曰。此山峯有窟裏所造天下大神之御琴。長七尺。廣三尺。厚一尺五寸。又有石神。高二丈。周四尺。故云琴引山。有鹽味葛。

石穴山。郡家正南五十八里。高五十丈。
幡咋山。郡家正南五十二里。有紫草。
野見。木見。石次。三野。並郡家南西四十里。有紫草。
佐比賣山。郡家正西五十一里一百四十丈。石見與出雲二國堺。
堀坂山。郡家正西廿一里。有杉松。
城垣野。郡家正南一十二里。有紫草。

伊我山。郡家正北一十九里二百歩。
奈倍山。郡家東北廾里二百歩。
凡諸山野所在草木。卑解・升麻・當歸・獨活・大薊・黄精・前胡・薯蕷・白朮・女委・細辛・白頭翁・白芨・赤箭・桔梗・葛根・秦皮・杜仲・石斛・藤李・榾・櫧・赤桐・椎・楠・楊梅・槻・柘・楡・松・榧・蘗・猪
禽獸則有鷹・隼・山鶏・鳩・雉・熊・狼・猪・鹿・兎・獼猴・飛鼯

三屋川。源出郡家正東一十五里多加山。北流入于斐伊川。有年魚。

須佐川。源出郡家正南六十八里琴引山。北流經來嶋波多須佐等三郷入神門郡大門立村。此所謂神門河上也。有年魚。

磐鉏川。源出郡家西南七十里箭山。北流入須佐川。有年魚。

波多小川。源出郡家西南廿四里志許斐

山。北流入須佐川。有銕。
飯石小川。源出郡家正東一十二里佐久
禮山。北流入三屋川。有銕。
通大原郡堺斐伊河邊。卅九里一百八十
歩。通仁多郡堺温泉川邊。廿二里通神門
郡堺與曾紀村。廿八里六十歩。通同郡堀
坂山。廿一里。通備後國恵宗郡堺荒鹿坂
卅九里二百歩。徑常有剗。通道並通備後國之

三次郡三坂。八十一里。徑常有剗。波多徑須佐徑。剗但志志都美徑以上三徑常無剗。但當有政時權置耳。並通備後國也

郡司主帳無位置臣

大領外正八位下勲業大弘造

少領外從八位出雲臣

大原郡

合郷肆。里廿四。

神原郷（カムハラ）　今依前用

屋代郷（ヤシロ）　本字矢代

屋裏郷（ヤウチ）　本字矢内

佐世郷（サセ）　今依前用

阿用郷（アヨ）　本字阿欲

海潮郷（ウシホ）　本字得鹽

來次鄉　今依前用

斐伊鄉　本字樋

以上捌鄉別里參

所以號大原者。郡家正西一十里一百一十六步田一十町許平原。號曰大原。往古之時。此處有郡家。今猶追舊號大原。今有郡家處號云斐伊村。

神原鄉。郡家正北九里。古老傳云。所造天

下大神之御射積置給處則可謂神財郷而今人猶誤[故]云神原郷耳。

屋代郷。郡家正北一十里一百一十六歩。所造天下大神之垜立射處。故云矢代。神亀三年改字屋代。即有正倉。

屋裏郷。郡家東北一十里一百六十一歩。古老傳云。所造天下大神令殖笶給處。故云矢内。神亀三年改字屋裏。

佐世郷。郡家正東九里二百歩。古老傳云
須佐能袁命。佐世乃木葉頭刺而踊躍爲
時。所判佐世木葉墮地。故云佐世
阿用郷。郡家東南一十三里八十歩。古老
傳云。昔或人此處山田佃而守之。爾時目
一鬼來而。食佃人之男。爾時男之父母竹
原中隱而居。之時竹葉動之。爾時所食男
云動二。故云阿欲。神龜三年。改字阿用。

止當作上

海潮郷。郡家正東一十六里卅三歩。古老傳云。宇能治比古命恨御祖須我禰命而。北方出雲海潮押止。漂御祖之神。此海潮至。故云得鹽。神龜三年。改字海潮。即東北須我小川之湯淵村川中温泉号。不用。同川上毛間村川中温泉出號。不用。

來次郷。郡家正南八里。所造天下大神命詔。八十神者不置青垣山裏。詔而追廢時

寺

此義追以生故云來次。
斐伊郷。屬郡家。樋速日子命坐此處故云
樋。神亀三年改字斐伊。
新造院一所。在斐伊郷中郡家正南一十里。
建立嚴堂也。在僧五軀。大領勝部君虫麻呂之
所造也。
新造院一所。在屋裏郷中郡家正北一十
里一百卅歩。建立三層塔也。有僧一軀。前小

領額田部臣押嶋之所造。（今少領伊去美之從父兄也。）

新造院一所。在斐伊鄉中。郡家東北一里。建立嚴堂。有尼二軀。斐伊鄉人樋伊支知麻呂之所造也。

矢口社　宇乃遲社

支須支社　布須社

御代社　汙乃遲社

神原社　樋社

春殖社、今針江村ノ客大明神ナリ。ニ春秦ト訓ミ、後ニハリト誤ルベシ

樋社（ヒノ）

世裡陀社（セリタノ）

加多社（カタノ）

以上十三所

並在二神祇官一。

赤秦社（アカハタノ）

矢代社（ヤシロノ）

日原社（ヒハラノ）

春殖社（ハルエノ）

佐世社（サセ）

得鹽社（ウシホノ）

等等呂吉社（トドロキノ）

比和社（ヒワ）

幡屋社（ハタヤ）

船林社（フナハヤシノ）

宮津日社　阿用社
置谷社　伊佐山社
須我社　川原社
除川社　屋代社
以上一十七所。
並不レ在ニ神祇官。
莵原野。郡家正東。即屬郡家。
城名樋山。郡家正北一十里一百歩。所造天下大神大穴持命。爲伐八十神造城。故云

城名樋山也。

高麻山。郡家正北一十里二百歩。高一百丈。周五里。北方有樫椿等類。東南西三方並野。古老傳云。神須佐能袁命御子青幡佐草日古命是山上麻蒔初。故云高麻山。即此山峯坐其御魂也。

須我山。郡家東北一十九里一百八十歩。有檜杉。

船岡山。郡家東北一里一百歩。阿波枳閉委奈佐比古命曳來居船則化山是也。故云船岡。

御室山。郡家東北一十九里一百八十歩。神須佐乃乎命御室令造給所宿。故云御室。

凡諸山野。所在草木苦參桔梗䔰茹白芷前胡獨活卑解葛根細辛茵芋白芶況月

白歛女萎著蕷麥門冬藤李檜杉栢樫櫟椿楮楊梅梅欟檗禽獸則有鷹晨風鳩山鷄雉熊猪鹿兎獼猴飛𤢖。

斐伊川。郡家正西五十七歩。西流入出雲郡多義村。有年魚麻須。

海潮川。源出意宇與大原二郡堺笑村山。

流自潮郷西流有年魚

北○○海○○○○麻須。

須我小川。源出須我山西流。有年魚少少。

佐世小川。源出阿用山。北流入海潮川。無魚。
幡屋小川。源出郡家東北幡箭山。南流。無魚。
水三水合。西流。入出雲大河。
屋代小川。源出郡家正東[正]除田野。西流
入斐伊大河。無魚。
通意宇郡堺木垣坂。廿三里八十五歩。通
仁多郡堺辛谷村。廿三里一百八十二歩。
通飯石郡堺斐伊河邊。五十七歩。通出雲

郡ノ多義村ニ。一十一里二百卄歩。
前件ノ參郡。並山野之中也。

郡司主帳無位勝部臣
大領正六位上勳業勝部臣
少領外從八位上額田部臣
主政無位置臣

通度

千家衛營作十字街

自國東堺去西廿里一百八十步。至野城橋長卅丈七尺。廣二丈六尺。飯梨川。又西廿一里。至國廳意宇郡家北十字街。即分爲二道。一正西道。一枉北道。

枉北道。去北四里二百八十步。至郡北堺朝酌渡。渡八十步。渡船一。又北一十里一百卌步。至嶋根郡家。自郡家去北一十七里一百八十步。至隱岐渡千酌驛家濱。渡船。又自郡

家西一十五里八十步。至郡西堺佐太橋。長三丈廣一丈。佐太川。又西方八里三百步。至夜秋鹿郡家。又自郡家西方一十五里一百步。至郡西堺。又西方八里二百六十四步。至楯縫郡家。又自郡家西方七里一百六十步。至郡西堺。又西方一十里二百卅步。出雲郡家東邊。即入正西道也。惣柱北道程九十九里一百一十步之中隱岐

道。一十七里一百八十歩。
正西道。自十字街西一十二里。至野代橋。
長六丈廣一丈五尺。野代川。又西七里。至玉
作街。即分爲二道。一ハ正西道。一ハ正南道。
正南道。一十四里二百一十歩。至郡南西
堺。又南廿三里八十五歩。至大原郡家。即
分爲二道。一ハ南西道。一ハ東南道。
南西道。五十七歩。至斐伊川。渡廿五歩。渡船一。又

南西卅九里一百八十歩。至飯石郡家。又自郡家南八十里。至國南西堺。通備後國三次郡。惣去國程一百六十六里二百五十七歩也。

東南道。自郡家去卅三里一百八十二歩。至郡東南堺○○○○○○○（仁多郡比比里村。）又東南一十六里二百四十六歩。至仁多郡家。比比理村分爲二道。其一道東方卅八里一百

廿一歩。至仁多郡家〇至〇國〇東〇南〇堺〇通〇伯〇耆〇國〇日〇野

〇郡。又一道南方卅八里一百廿一歩。備後國堺至遊記山。

正西道自玉作街西九里。至來待橋。長八丈。廣一丈三尺。來待川。又西卅三里卅四歩。至出雲郡家。又自郡家西二里六十歩。至郡西堺出雲河。渡五十歩。渡船一。又西七里廿五歩。至神門郡家。即有河。渡廿五歩。渡船一。自郡家

者當作去

西三十三里。至國西堺。通石見國安農郡。揔者國程一百六里卅四歩。

自東堺去西廿里一百八十歩。至野城驛。又西廿一里。至黒田驛。即分爲二道。一正西道。一渡隱岐國道也。隱岐道。去北卅四里一百三十歩。至隱岐渡千酌驛。又正西道卅八里。至宍道驛。又西廿六里二百廿九歩。至狭結驛。又西一十九里。至多岐驛。又西一十四

里。至國西堺。
意宇軍團。即屬郡家。熊谷軍團。飯石郡家
東北廿九里一百八十歩。神門軍團。郡家
正東七里。
馬見烽。出雲郡家西北卅二里二百卌歩。
土椋烽。神門郡家東南四里。多夫志烽。出
雲郡家正北一十三里卌歩。布自義美烽。
嶋根郡家正南七里二百一十歩。青垣烽。

意宇郡家ノ正東卅里八十歩。

平沙ノ戍。神門郡家ノ西南卅一里。瀬埼ノ戍。嶋根郡家ノ東北一十九里一百八十歩。

天平五年二月卅日勘ヘ造ル秋鹿郡人神宅臣金太理

國造帶意宇郡大領外正六位上勳業出雲臣廣嶋

寛政九年七月十五日校合畢

出雲國杵築人千家清主出雲宿禰俊信

【二】八行、誤延說　【三】五行、語延鈔詔　【四】八行、里廿三延廿二　【五】三行、里一十九延鈔同じ郷里一十二　四行里一十二延鈔同じ郷里一十九　【八】一行、宍延鈔完　六行、稚延鈔推　八行、餘々鈔々無し　【九】一行、童女延童意女とす。下同じ。二行三百延鈔身　五行、打絶而延鈔折絶與　【一〇】二行、國ニ來ニ引來縫延國來引來時引縫　同行自手波延自宇浪鈔自宇波　三行闇見之國延鈔之無し　八行、埼也持引　【一二】夜見島是也延是無し鈔是也無し　二行、大神延鈔火神、四行、田中在延鈔在田中　八行命延尊　【一三】三行、郷屋代を尾代に誤る。四行來社延來坐時社鈔來坐　同行遠祖延鈔遠神　同行天津日子延鈔日無し　七行東南延鈔東北　八行天石楯延鈔天名楯　【一四】一行、東南延鈔東北　三行此度延鈔此處　同行安平成延平安成　五行甲戌延鈔甲戌の下年の字有り　八行大發鬘延鈔大發若　五行、依給延依給而　七行、靜閑延鈔淨閑　【一六】一行、中央一延中天一鈔中大一　同二行百餘延百餘之　【一九】七行、天平里延大二里鈔大二里　同行、他郡且如之の五字延鈔無し　八行、野城驛延野城驛家　【二〇】二行、黑田驛延黑田驛家　三行、今屬ニ郡家東ニ延鈔今郡家屬ゝ東　五行、宍道驛延完道驛家、完延鈔凡て完に作る以下略す。【二一】一行、他郡等神戶且如之延他郡之神戶如是鈔他郡等之神戶如是　七行、奏參延鈔望參　同行、忌里延鈔

忌玉　【二二】二行、再浴囲再詠鈔再泳　【二三】一行、自熊囲鈔自烈　八行置部囲置那鈔置部

【二四】七行、野郷囲鈔野白　【二五】意陀支囲意陀氏　五行、野代社囲鈔十三オノ二行、野代社の處に重ねて出す　八行、由宇社囲鈔同布自奈社の次に出す　【二七】五行、市穂囲鈔予穂　六行、同市囲鈔同予　七行、須多閉囲鈔須多下　【二八】末那爲囲鈔米那爲　六行、青垣囲鈔暑垣　【二九】玉作囲玉造　三行、西北囲西南三里鈔西北三里　六行尋黄囲暑黄　【三〇】一行、海石榴囲鈔石字無し　二行、黄離囲鈔離黄　同行、鳴囲鷄　同剗誅、横剗囲鈔横致同横剗切　五行、二郡堺囲二郡之堺　六行、伊久比囲伊具比　【三一】一行、意宇堺囲意宇三郡之鈔意宇三郡　同行、田原囲田原山、枯見囲枯見山　六行、北流囲西北流　【三二】一行、玉作川囲鈔玉造川　七行、二里卅歩囲鈔四十歩　【三三】二行、小竹囲鈔宇竹　四行、葦薺蒿囲鈔華齊山高鈔薺を齊　七行、椋囲鈔椋

同行、蒿囲鈔葛　八行、有蓼螺子囲有氷蓼蓼螺子鈔有蓼螺子永蓼　【三四】一行、濕土囲鈔濕土　二行、十掬囲鈔毛掬　同行、一株耳其磯有螺子囲一杵茸日磯有蠑螺子鈔囲に同じ。但し有蠑を有蚊とす　五行、四十一里囲鈔卅一里　六行、三十三里囲鈔三十二里　【三五】五行、擬囲鈔概　【三六】二行、里廿五囲鈔五無し　七行、負給囲鈔須給　八行、八十四歩囲鈔六十四歩　【三八】一行、五贄紐囲五贄紐鈔五贄緒　五行、負給囲鈔須給。眞を順と誤れる處下にも多し。又眞と書けるも有り。下略す。　【三九】四行、命子好奈宜奴奈宜置波比囲命子俾都久辰爲命之子奴奈宜置波比鈔囲同じ。但

し辰の下今一つ辰有り。爲命の下之字無し。　同五行、坐矣[出][鈔]同じ嶋坐矣　【四〇】[出][鈔]共に加賀鄕と生馬鄕前後す。　三行、弓以射時光[出]弓以而射給時光[鈔][出]と同じ。但而字無し　【四一】一行、武賀比比賣[出][鈔]武賀比賣　五行、此處坐然則[出]此處坐然者則　六行、猶千酌[出]猶誤千酌　八行、同社……志別社[出][鈔]社別二字無し　【四三】五行、質留比[出][鈔]質簡比　【四四】二行、伊奈阿[出]阿奈阿　八行、須衛[出][鈔]須衞　【四五】六行、北一里[出]正北一里　【四六】二行、山野所[出][鈔]野字無し　同行、白米[鈔]白木に誤る　四行、鬚本[出]蒿本　六行、隼山雞[出][鈔]隼雉山雞　七行、水草川[出][鈔]水草河。　同行東三里[出][鈔]北三里　【四七】三行、東流[出]東流犬島川合　四行、大島[出][鈔]犬島　【四八】三行、六川並無魚[出][鈔]六川並少少无魚川也　四行、鴨[出][鈔]晁鴨　同行、鮒[出][鈔]鮒鯉　【四九】二行、周一里[出]三里　七行、筌互東西[出][鈔]筌亘東西　同行、春秋出入大[出][鈔]春秋入出大　八行、白魚[出][鈔]日鹿　【五〇】以東[出][鈔]入東　六行、東西北山[出]東北山　【五二】五行、蜈蚣島[出][鈔]蜈蚣島　【五三】五行、和多〻島[出]和多島[鈔]和多太嶋　【五四】五行、和爾須受枳緇[出][鈔]和爾緇須受枳　【五五】二行、大島礒[出][鈔]議毘　七行、北百姓家[出][鈔]有百姓之家　【五六】二行、志島[出][鈔]土島　【五七】三行、質留[出][鈔]質簡　同行北百姓[出][鈔]北者百姓　【五九】三行、有島揷[出]有島栢[鈔]有島栢[鈔]有鳥栢　【六二】八行、高一丈[出][鈔]高八丈　【六四】二百卅歩[出][鈔]二百卅歩　【六五】八行、三十歩[出][鈔]二十歩　【六六】一行、廣四十[鈔]廣三十　四行、作蚌菜の下[出]?蛎子蕀甲蠃（字或

作石緝子）甲羸蓼螺子（字或作螺子）石葦（字或作蚴犬脚也或於脚者勢也）と有り。八行、一十一里一百廿步[刊]一十七里一百八十步　【六七】六行、社部石臣[刊]社桉右若[鈔]社桉石臣　【六九】三行卅步[刊]卌步　五行國稚[刊][鈔]國權　【七〇】二行、此處而詔[刊][鈔]而字無し。六行、北方山[刊][鈔]北方上　同行河內[刊][鈔]阿內　【七一】二行、赤衾[刊][鈔]赤食　【七二】七行、同多社[刊][鈔]同多太社　【七三】二行、同下社[刊][鈔]同字無し。【七四】三行、女嵩野[刊][鈔]女心高野　七行嶺中有潭[刊]峰中在澤[鈔]嶺中有澤　【七五】四行、伏苓[刊][鈔]茯苓　同行、薯蕷[刊][鈔]暑預　五行、赤桐の下[刊][鈔]白桐の二字有り。

【七六】二行、湖長[刊][鈔]潮長　六行、女嵩野[刊][鈔]女心高野　六行、卅步[刊]卌步　七行、並無魚の下[刊][鈔]矣字有り　【七八】二行、天平[刊][鈔]太多　六行杜原[刊]杜石　【七九】一行、南入海[刊][鈔]南方入海　二行、等鳥[刊][鈔]鳥を島とし北に續く。四行、廣[刊]渡[鈔]度　七行、蟻散[刊][鈔]蟻如散　八行、二所[刊][鈔]三所　同行割註、[刊][鈔]一所厚三丈廣一丈高八尺一所厚二（[鈔]八一）丈廣一丈一所厚二丈高一丈

【八一】一行、無由停泊頭矣[刊][鈔]同じ[鈔]無由停頭泊矣　七行甲羸[刊][鈔]甲（[刊]田）羸螺子　四行、石華[刊][鈔]石葦　【八二】二行[刊][鈔]步字無し。【八三】八行[刊][鈔]共に、神戶里、餘戶里と有りて刊本と前後す。【八四】三行百結二八十結三下而[刊]百八十結三下與とす、[刊]其前後の而を與と誤れる處多し、略す。七行、御裝束[刊][鈔]束字無し。【八六】一行、並免[刊]並脫す[鈔]不見に誤る　四行、宇乃治[刊][鈔]宇乃沼　八行[刊][鈔]餘戶里を神戶里の前とす　【八七】七行、水社[刊][鈔]水神社　【九〇】二行、多久

〔刊〕〔鈔〕多忠　三行、御社〔刊〕〔鈔〕御祖　五行、比古之〔刊〕〔鈔〕命字有り　同行、御魂〔刊〕〔鈔〕御託　同行畢〔刊〕畢
七行貝掠山〔鈔〕見椋山、下同じ　八行、伏苓〔刊〕〔鈔〕茯苓　【九一】二行、白梧〔刊〕〔鈔〕白桐　六行、源出
郡家東北〔刊〕〔鈔〕源出同　【九二】五行、亦市〔刊〕〔鈔〕同じ　【九三】二行、自毛埼〔刊〕自毛埼〔鈔〕自毛崎　四
行、廣九十歩〔刊〕〔鈔〕九十二歩　【九四】鎌間〔刊〕鑪間　二行、彌豆嶋〔刊〕〔鈔〕彌豆椎　四行堺〔刊〕堺也　【九
六】二行、里卅〔刊〕〔鈔〕里廿二　同行、神戸壹里〔刊〕神戸壹里二　【九八】一行、健部之〔刊〕健部郷行　之
三行、古禰〔刊〕布禰　【九九】三行、即有優〔刊〕〔鈔〕郎郡有優　五行、出雲郷〔刊〕〔鈔〕郷の下者字有り　【一
〇〇】命之社〔刊〕〔鈔〕命之祖　【一〇三】四行、曾佐乃〔刊〕〔鈔〕曾致乃　七行伊奈佐乃社〔刊〕伊奈社〔鈔〕伊奈佐
社　【一〇四】三行、宇加社〔刊〕〔鈔〕加守社　【一〇七】七行、同努社〔欄〕同社努と誤る　【一一〇】一行、三
百五十歩〔刊〕〔鈔〕三百六十歩　四行、畢解〔刊〕畢字無し〔鈔〕畢字無く解を薢とす　七行、飛鳳〔鈔〕飛鶚　【一一
二】五行、御崎〔刊〕〔鈔〕〔欄〕御埼　七行、頂の上〔刊〕〔鈔〕〔欄〕池江の二字有り。池は刊本欄外に標書の例なり。江字
刊本欄外に出すべきか。　【一一三】四行、東入海〔刊〕〔鈔〕東方入海　六行、東入海〔刊〕〔鈔〕東方入海　【一
一四】　二行、四十二歩〔刊〕〔鈔〕三十二歩　八行、米結〔刊〕〔鈔〕手結　【一一五】四行、有椎椿椿松〔刊〕有椎
櫕椙椿松〔鈔〕有椎櫕椙椿松　【一一六】六行、粟島〔刊〕〔鈔〕粟島　【一一七】二行、鷲之〔刊〕〔鈔〕之字無し　【一
一九】七行、今依前用〔刊〕〔鈔〕本字高峰　七行、伊賀曾熊〔刊〕〔鈔〕伊加曾然　【一二一】六行、七行、置を稠一
本に據りて日置とす。　【一二三】二行、高椅而〔刊〕〔鈔〕高椅可　【一二四】二行、滑也〔刊〕〔鈔〕滑之　七行、餘

戸里の前に〔田〕〔鈔〕神戸里郡家東南一十里の十字の一行有り。刊本は次の多岐驛の次に出す。八行、同所〔田〕同處也〔鈔〕同處　【一二五】八行、木立嚴堂也〔田〕〔鈔〕無くて「所造也」の下に小書にて〔田〕建立木嚴堂〔鈔〕本立嚴堂と有り。【一二六】一行、阿須理社〔田〕〔鈔〕阿濱理社　七行、多支枳社〔田〕〔鈔〕多伎枳社　【一二七】奈賣佐社〔田〕〔鈔〕那賣佐社　【一二九】七行、大神之御稲〔田〕伏神之御稲〔鈔〕〔田〕に同じ、但し一本に據て大神と訂正す闕大神之御稲也とす。八行、枠山〔田〕〔鈔〕同じ闕杵山とす。【一三〇】一行、御枠〔田〕〔鈔〕御稲枠闕御稲杵也。三行、御冠〔田〕〔鈔〕同じ闕御冠也。四行、白歛〔田〕〔鈔〕白般　五行、桑析〔田〕〔鈔〕桑樹　七行、伏苓〔田〕〔鈔〕茯苓　【一三一】二行、神戸〔田〕〔鈔〕神門　三行、里大門立〔田〕〔鈔〕里閭士　六行、多岐山〔田〕〔鈔〕多岐々山　同行北流〔田〕〔鈔〕北西流　【一三二】二行、六十六歩有菜〔田〕六十歩〔鈔〕六十歩有菜　三行、剗〔田〕剗〔鈔〕刻　五行、裡〔田〕禔〔鈔〕裏　五行、卅五里闕里を歩に誤る。【一三三】八行、同郡堺〔田〕〔鈔〕同じ闕堺字無し　【一三四】四行、五郡〔田〕〔鈔〕伍郡　【一三五】仁多郡〔田〕〔鈔〕飯石郡を先に出し仁多郡其に次ぐ。五行、三津〔田〕〔鈔〕三澤（下同じ）七行、以上云云の一行〔田〕〔鈔〕無し。【一三六】三行、小國在〔田〕〔鈔〕小國有　六行、大神命之〔田〕〔鈔〕大神大己貴命之　【一三七】七行、去於坐而石川度〔田〕去於坐而名川度〔鈔〕去坐而石川度　八行、水沼於而〔田〕水治於而〔鈔〕水治於、而字無し　【一三九】二行、須我非乃社〔田〕〔鈔〕須我乃非社　三行、比太社〔田〕比田社　【一四〇】四行、西南〔田〕正南　【一四一】菅火野山〔田〕〔鈔〕山字無し　【一四二】二行、拔葜〔田〕〔鈔〕枚葜　四行、山雉〔田〕〔鈔〕闕山鷄雉　六行、横田川云云〔田〕〔鈔〕室原川の後とし、記事に異同有り。全文を掲く

「横田川源出郡家東南卅六里、室原山北流此川（鈔川字無し）則所謂斐伊大河上（鈔註刊本と同じ）室原
川、源出郡家東南卅五里鳥上山北流所謂斐伊河上、有年魚　【一四六】二行、里十九田鈔里二十九　四
行、本字田鈔今字　【一四七】四行、飯石郷中田飯石郷之中　五行、飯石田飯石之鈔飯石之郷　八行、
甚久ニ麻ニ田甚久麻鈔甚久麻久麻　【一四九】七行、里下田也字有り　【一五〇】多加毛利社田鈔多加
社、毛利社とす　【一五三】二行、有紫草田鈔有知欲　三行、石次田鈔石以　六行須田須也　【一五
四】一十九里田鈔二十九里　五行、白茇田鈔白恐　六行、猪田鈔楮　【一五五】三屋川田鈔三刀屋
川　五行、大門立田鈔門立　【一五六】六行、廿八里田鈔卅八里　七行、廿一里田鈔卅一里　八行、備
後國之田鈔此四字無し　【一六〇】一行、御射田鈔御財　六行、一百六十歩田鈔一百十六歩　【一
六二】二行、宇能治田鈔宇能活　同行、須我禰田須義禰鈔須美禰　三行、押止田押止而　四行東北田
東北之　【一六三】前小領額田部田鈔前少領田部　【一六四】七行、汗乃田鈔宇乃　【一六五】二行、
世裡田鈔西裡　【一六六】五行、一十七所田鈔一十六所　【一六七】五行、陆田昭鈔日古　【一六八】
一行、一里一百歩田鈔一十六里　二行、化山是也田鈔此山是矣　三行、船岡田船岡山　七行、苦參鈔
苦辛　【一七二】五行、二百八十歩田二百六十六歩鈔二百六十歩　六行、一百卌歩田鈔一百卅歩　【一
七三】三行、夜秋鹿田鈔夜字無し　【一七六】五行、西卅三里田鈔卅二里　【一七七】一行、西三十三
里田西北卅三里鈔西四十三里　同行、攝者國田惣去國鈔惣國　二行、一百六里卅四歩田鈔一百五十四

里二百十四歩　三行、西囲西方　四行、即分囲即分而　五行、去北囲去北方　同行、一百三十歩囲一百卌歩圀一百十歩　八行、西（二箇處共）囲西方　【一七八】二行、軍團囲圀軍團（下同じ）　五行、二百卌歩囲二百卅歩　六行、郡家東南四里囲郡家烽或東南一十四里圀郡家東南一十四里烽或東南四里　同行、多夫志囲多支志　七行、布自義美烽囲圀布自美烽　八行、靑垣烽囲暑恒烽　【一七九】平沙戍囲圀宅波戍

【二】〔鈔〕國之震以能儀郡母理郷爲首。坤以飯石郡赤穴村爲國之尾也。東西一百卅七里一十九歩、今之卅二里卅町九十間。此則自母理郷到赤穴村之路程也。南北一百八十三里一百九十三、今之卅里有餘、蓋自島根郡千酌驛經意宇郡、完道及大原、飯石、仁多三郡到備後界阿位郷之路計耶〔標〕震ハ東ニ當ル、意宇郡母理郷ヲ首トス。坤ハ西南ニ當ル、飯石郡來島郷ヲ尾トス。【三】〔標〕古事記曰、須佐之男命降出雲國之肥河上在鳥髪地又曰、茲大神初作須賀宮之時、自其地雲立騰、爾作御歌、其歌曰、夜久毛多都、伊豆毛夜幣賀岐、都麻碁微爾、夜幣賀岐都久流、曾能夜幣賀岐袁トアル歌ヲ、臣津野命ノ詔玉ヘル故ニ、八雲立出雲ト號クトナリ、臣津野命ハ、須佐之男命四世ノ裔ナリ。○〔標〕意宇郡安來郷條、語部猪麿ガ請語ニ當國ノ靜坐三百九十九社トアルニ合リ。○〔標〕在神祇官トハ、神名帳ニ載ル所ノ官社ナリ、不在神祇官トハ官帳ニ入ラザル社ニテ、イハユル式外ナリ。【四】玖郡〔鈔〕此記造玖郡按源順和名抄割於意宇郡東而出於能儀郡以爲十郡矣〔標〕玖郡ハ、次ニノブル郡數ナリ、後ニハ野城郡ヲ置レシ故、延喜式、和名抄ニハ、十郡トナレリ。○郷、地理志料云、高山寺本、倭名類聚抄、郷許良反、孫愐切韵云、人所向也、和名散度、按、郷名郷向也、衆所向也、風俗通里止也、五十家共居止也、因謂、郷字里字並訓散度、蓋散波度之急呼、散波多也、度處也、謂人多居止也、日本書紀、伊勢物語、並稱京師爲御里、可以證、倭訓栞爲狭處之

義、不允、戸令云「凡里以五十戸爲一里、一郡二十里而止、」【解】戸令、以五十戸一爲レ里トアル是ナリ、鄕數六十一トアレド、和名鈔ニハ七十八鄕アリ。○里【標】里ハ後ノ村ナリ、○餘戸【解】餘戸ハ、譬ヘバ戸數六十戸アラムニ、五十戸ヲ鄕トシテ、其十戸ヲ餘戸トスルナリ。○驛【標】驛ハ、兵部式、出雲國驛馬野城、黑田、宍道、狹結、多岐、千酌各五匹、トアルニ合ヘリ。○神戸【標】神戸ハ神社ニ充ル所ノ民戸ナリ。其調庸及田租ヲ以テ、造營及供神ノ用度ニ供スルコト神祇令ニアリ。漆トハ、意宇郡參、秋鹿、楯縫、出雲、神門各一アレバナリ。【五】靈龜元年式云云【標】コノ靈龜元年式ト神龜三年ノ口宣ハ、紀ニモレタリ。○改レ里爲レ鄕【標】改レ里爲レ鄕トハ、令制ノ五十戸爲レ里ト云ルヲ、鄕ト改メシナリ。○鄕名字云云【標】和銅六年畿內七道諸國郡鄕名着二好字一、トアル是ナリ。○【六】壹拾壹【標】上ノ目錄一十トアルニ合ハズ、宍道鄕ハ、モト驛ナルヲ、後ニ鄕トナリテ加ヘタル時ニ、改メタルカ。【八】【解】分二併舍人、安來、楯縫、口縫、屋代、山國、母理、野城、加茂神戸等九處一以爲二能儀郡一留二合宍道、來待、拜志神戸、忌部、山代、大草、筑陽等地一以二意宇郡一也。口縫今九重村。筑陽非二今竹矢村一、蓋今意東村。以二筑陽川一考レ之益明矣。意東意宇東邊而與二能儀郡荒嶋一之界也。○【標】意宇ハ郡名○【標】八束水ハ冠辭ナリ。○【標】水臣津野命ハ、素盞嗚命ノ四世孫ニテマスコト已ニ云リ。玉かつま十ノ十九、古事記傳九卷を見るべし。○狹布之稚國、內山眞龍、本居宣長稚の誤とす。猶玉かつまに此處の註有り、參考すべし（古典全集本下卷九九頁以下參照）。【標】稚國ハ、神代卷一書云、古國稚地稚ノ時トアルニ同ジ、初國小所レ作ハ、物ノ初ハ小キ理ニテ侍レバ其小作レルヲ廣ゲ玉ハ

ント、遠キ國ノ餘リアル所ヲ引來テ、出雲國ニ付玉フトノコトナリ。諸冉二神國作リノ時小サク造リ玉ヘル由ナリ。コノ國引ノ時ハ誠ニ東西ニ長ク狹布トモ云ベキ地ノサマナリ。【國】所謂津野命引レ國時作二初國小所一者蓋今在二于意宇郡出雲郷足高明神所レ座竹藪之中一小祠是也。按、意宇郡家乃出雲村今爲二魚簗一之處是也。〇志羅紀乃三埼亦高志之都都三埼蓋嶋根郡三保崎也。〇栲衾【標】志羅紀ノ冠辭ナリ、志羅紀ハ新羅ノ地ナル東海ノ方ニ出タル御埼ナリ。〇【標】餘々之々衍、〇餘々國々無シ。〇童女胸鉏【標】萬葉ニ胸別之廣吾妹ト云フ、胸ノ廣キヲ稱(ホム)レバ、處女ノ胸ノ廣キガ如ク、廣ク平ニ直キ鉏(スキ)ヲ執テト云フナリ。〇大魚【標】鮪鯨ノ類。〇支太【標】腮也、大魚ヲ捕ニハ口ヲツクナリ、大魚ヲ銜如クニ、ツクト云フ、文意ハ命ノ鉏ヲトラレテ、新羅ノ埼ヲツキ屠リ分玉フナリ。〇波多須須支【標】穗振分トカカル語ナリ。神功紀ニ、幡荻穗出トアリ。穗振ハ假字ニテ屠ナリ、〇三自【標】三縒(ヨリ)ノ細ヲ云二筋ニヨリ合セタル上ニ今一ツヨリ合セタル強キ綱ナリ。〇閇【標】一ニ闇ニ作ル。内山眞龍云、黒葛ハクルト云ハム爲ノ冠辭ナリ、ツヅラヲクルト讀續ケ、耶ハヨノ轉ニテ、喚出ス辭ナリ。又横山永福云、霜黒葛ハ一種ノ名カ亦霜ノオキタルツヅラヲ云ヘル歟サダカナラズ。閇々耶々ハ閇々那々ヲ誤レルカ其ハ今ノ世ノ言ニヘナラヘナラトモ云フ如ク爰ハ海上ヲ波ニユラレテ行クサマヲ云ルナリ、扨霜黒葛ハ序ニテカク讀タル意ハ霜ニアヘル黒葛ノシヲレテヘナラヘナラトシタル物ナル故カ猶ヨク考ベシ。又河舟ノハ序ニテ海ヲ行舟ニクラブレバ河ノ船ハ靜カニ行意ニテツヅキタルナルベシ。國來國來ハ松田春平說ニハモトノママニテクニコクニコト訓テ臣津野命ノ綱引玉フ時ノ音ニテ國コエ（コエハ俗言ニ

シテ(即ニヨナラン)ノ約ナリト云リ。〇河船之【解】冠辭、モソロハ、河舟ノ藻揚ト云フ義ヲトレルナリ。モハ發語、ソロソロト云ニ同ジ。寛寛(ユルユル)ソロソロナド常言ナリ。河舟ハ由良由良迄カカル詞ナリ。〇去豆乃打絕【抄】楯縫郡今古津浦也。【解】自去豆乃打絕而、コノ自去ヲ一ニ白來トアルニヨリ、內山氏ハ、白來多久豆乃ニテ、新羅ト栲綱ノ白キヲ兼テ云リ、打絕トハ、栲綱モテ新羅ノ埼ヲ引ツツ渡リテ、出雲ノ國ニ引ツケタレバ、引コトノ絕エタルナリ、永福云、去豆ハ地名今ハ古津ト云フ楯縫郡ニ許豆社、許豆島、許豆濱ナド見エテ出雲楯縫二郡ノ界ナリ、打絕而ハ堺ヲナシテ限ルヲ云フ。〇【抄】八穗米、支豆支乃御崎大社邊也、【解】八穗米ハ八百土ニテ杵築ノ枕詞ナリ、支豆支乃御埼ハ分テハ今ノ世ニ日御埼ト云フナレバ爰ハ楯縫郡マデノ地ヲ廣ク云ヘルナリ。〇堅立加志【解】加志ハ舟ヲ繫グ杙ヲ云、牂牁ナリ、牂牁ノ事ハ豐後風土記ニ云リ、〇佐比賣山【抄】雲石兩國界、佐比賣山今三瓶山是也【解】神名式、石見國佐比賣山神社アリ、コノ山石見、阿濃郡ニ屬セリ、サヒトハ堺ヲ云フナリ。今俗三瓶山ト云フ。〇薗長濱【抄】神門郡今薗村海濱也、乃載ニ神門郡ニ曰、水海與ニ大海之間ニ有レ山長二十二里二百卅四步。廣三里、此者意美豆努命之國引坐時之綱矣、今俗人號云ニ薗松山ニ云云。【解】神門郡ノ文ニ、水海(中略)綱矣トアリ。此濱ハイナサノ小濱ヲ傳ヒ、神門ノ海邊ヲ石見ノ界近キ所迄、東西ニ引延タル沙山ナリ。上件ノ文、新羅ノ埼ハ、支豆支ノ御埼トナリ、立タル杙ハ佐比賣山トナリ、持引栲綱ハ、長濱トナリシ古事ナリ。〇北門【抄】北門佐伎國、今神門郡鷺浦也【解】北門ハ、出雲ノ國ノ北ニハ新羅肅愼ニツヅキ、東北蝦夷マデ國アリ、故ニ廣ク北門トハ云ナルベシ。【解】佐伎ハ、埼ナリ。又新羅ノ地名カ。

齊明紀任射岐山アリ。○多久打（【鈔】ハ折トス）絕【鈔】嶋根郡今講武村中世曰二圓福寺村一上多久、下多久乃是也。○狹田國【鈔】狹田之國蓋秋鹿郡佐太大明神所座處也【解】秋鹿郡ナリ、佐太社、佐太川、佐田海アリ。○北門良波乃國【鈔】蓋嶋根郡野浪浦也。【解】良波ハ風土記抄ニ、野良濱也。永福云、農波國モ北方ナル異國ノ名ニモヤアラン。【一一】闇見國【鈔】闇見國同郡今新庄村久良見谷邊也。夜見島伯耆國弓濱火神岳是又指二同國大山一也【解】闇見ハ島根郡也、島根ニ椋見社アリ夜見國島相近キ地ナレバ、是夜見國ニテ、島根ハ根國カ。○波、衍也、縫、結之誤也。永福ノ考ニハ自手染ニテ地理モヨク叶ヘリ。○高志【解】越ナリ、大略、山陰北陸二道ノ總名ナルベシ。○都々乃三埼【解】雄略紀、丹波國餘社郡管川、風土記ニ筒川村トイヘリ、今ノ丹後國橋立ノ北ナルイナムラガ埼ヲ、ツツ川ノ埼トモ云トゾ、○三穗【解】闇見國ニツヅク、名義ハ美穗須須美命坐ス故ナリ。【一二】夜見島【鈔】伯耆國弓濱【解】鈔云、伯耆國弓島ナリ、三穗崎ハ島根郡ニテ東ノ端ナリ。○大神岳【鈔】火神岳是又指二同國（○伯耆）大山一也【解】伯耆國會見郡ナリ。○【解】意惠意宇ハ、共ニ於煩宇惠ノ略ナリ、記ニ淤煩鈎トアリ、宇惠ハ、神武紀歌ニ、和禮破夜惠破、推古紀伊比爾惠弖、共ニ飢ノ上略ナリ。本居宣長云、オヱハ勞レテ息フ時ノ聲ナルベシ、今ノ俗ニアアヱイト云フモ同ジ。○母理鄉【鈔】古者意宇郡、今能儀郡併二乎草野村十年畠村日波村赤屋横屋昨內三坂大比良井尻市高江福富小竹（此處今云二井尻一）母理市北安田村南邊等地一以爲二母理鄉一也。【解】母理鄉ハ今野儀郡ニ入ル、今母理村ト云モアリ、草野十年畑日波赤屋等ノ十五村コノ鄉ニ屬セリ。○所造天下云云【解】記云、大穴牟遲與二少名毘古那二一柱神相並、作二堅此國一。○

越八口〔標〕一本口ヲ國トアリ、越八國ハ山陰北陸二道ノ國ナルベシ、爾國ノ義ナリ、サテ越國ヲ平ゲ玉ヒシニヨリテ、高志國ノ沼河比賣ヲモ娶リ玉ヒ、古志人モ來リテ、出雲ニ住シ故神門郡ニ古志郷ノ名ハアリ。○長江山〔鈔〕上小竹村玉大明神所座山名也。……考此郷中日波村雲伯兩國界而葬二伊弉册尊一之地至レ下可レ記レ之〔標〕長江山ハ、母理郷ニアリ。【一三】青垣山〔標〕垣ノ如クナル青山ヲ云、大神ノ本宮ハ宇賀ノ山本ニアリ、記ニ素盞嗚命曰我之女須世理毘賣爲二嫡妻一而於二宇迦山之山本一、於二底津石根一宮柱布刀斯理、於二高天原一氷椽多加斯理而居、是奴也トナリ。○玉珍置賜〔標〕トハ、書紀ニ、大名持ノ神ノ白將自此避去、卽躬披二瑞之八坂瓊一而長隱者矣トアルニ同ジ、此玉ハ國ヲシラス君ノ纏玉フヲ、是ヲトキ置ハ、國讓ノシルシナリ。○守詔〔標〕ハ、今ノ顯國ヲ善ク守玉フナリ、故ニ此神ヲ齋キマツラヌ國ハナシ、中ニモ常陸國鹿島郡大洗ノ磯ニ、石ヲ寄給フハ、イチジルシ。○屋代郷〔鈔〕屋代、記、意宇郡和名鈔能儀郡、此郷并二於吉佐、安田、宮內、末明闇等村一以爲二屋代郷一也。當國東界手間剗者蓋今關村。自レ關東歷二於四五十町一則有二伯州手間郷一也。……正吉佐村也。〔標〕今吉佐、安田、末明闇（ホノリ）三村ナリ。○天乃夫比命〔標〕天照大神ノ御子天穗日命ニテ、出雲國造ノ祖神ナリ。○伊支〔標〕夫比命ノ御末ニテ、國造ノ名ナルベシ。○吉田博士云。この地（○屋代郷）の神社今所傳なし。不審。夫比命は延喜式に、意宇郡天穗日命神社とあるに當る。延喜式と風土記を對比するに、天穗日命神社は野代社とあるに當り。野代社は二社を並載すれば其一社はヤシロと訓みて此なる屋代郷の神とす。風土記の諸抄に、此に論及せるものなし。式社の諸考證にも此神社の所在を誤る。（地名辭書）○天津日子命

〔解〕天比命ノ御子、天夷鳥命ナルベシ。○楯縫鄕 〔抄〕古者意宇郡今入二能儀一。此鄕含二字淸井淸瀨野外門生等村一以爲二一鄕一也。和名以二九重村及淸水早田佐久保邊一別爲二口縫鄕一也。〔解〕今能義郡口縫鄕ナリ、今四村アリテ此ニ屬ス。○布都怒志命 〔解〕書紀ニ、磐裂根裂神之子、磐筒男磐筒女所生之子、經津主神トアリ、武甕槌神ト相並ビテ、出雲ニ天降玉ヒシコトミユ。○天石楯〔解〕兵器ナリ、コノ楯ヲ縫直シ玉ヒシ故ニ、地名トナル。國廻ノコトハ、山國鄕ニミユ。【一四】安來鄕 〔抄〕安來鄕亦古者意宇今入二于能儀郡一、此鄕含二於安來市同所宮內和田黑鳥島田邊一以爲二一鄕一也。今有二宮內子加茂紀貫船松尾社一、而加茂神戶此記所レ書者今大原村當矣。爾後自二大塚一遷二祀於宮內一者也。又安來鄕十神山海礒有下今日二比賣崎一之處上所謂猪麻呂之女子見レ呑二和子鰐魚一者、蓋此所歟 俗諺傳云、揖屋明神與二三保神一通婚之時適爲レ鰐所レ傷二於其足一而是濟東之談耳、不レ足レ取レ之神其何然乎。〔解〕安來ハ今安來村トソノ它五村ヲ云。○天壁立〔解〕トハ、見放ル天ノ四方ニタレテ遠キヲ云、此處ニ來坐シテ、御心安ク成玉フト云ル御言ヲ地名ニ負リ、祝詞ニ天乃壁立極國乃壁立限トモアリ。○毘賣埼〔解〕コノ鄕ノ十神山ノ海礒ニヒメ埼ト云アリ。○語臣、姓氏錄云、天語連、天日鷲命後トアル族ニヤ。○和爾〔解〕鰐也、和名鈔、鰐、（和仁）、似レ鼈、有二四足一、喙長三尺、甚利齒トミエ、紀ニ一尋鰐、八尋鰐ナドアリ、今モ北海ニハ鰐多シ、コノ猪麻呂ガ事ヲ見テモ、大和魂アル古ヘノマスラ男ノ雄雄シキサマヲ知レ。○女子飲レ毘賣埼上。信友は女子飲レ買と有る書によりて買を臑の誤としてムスメヲヲカニヲサメト訓めり（神社私考）

【一五】卽擡訴信友云。擡を禱の誤とす（神社私考）○和魂荒魂〔解〕譬ヘバ人ノ溫柔ナルヲニゴヒト云、嚴雄

ナルヲアラキト云ト同ジク生トシ生ルモノ、皆和魂荒魂アルヲ、事順フトキハ溫柔ニ、事逆フトキハ、嚴雄ナルガ如シ。【一六】山國鄕〔鈔〕山國鄕是又入乎意宇郡今能儀郡也。……合乎吉田栎谷烏木等村以爲山國鄕矣〔標〕山國、今能儀郡ニ入ル、吉田栎谷烏木三村コノ鄕ナリ。〇布都努志命〔標〕コノ神ト、武甕槌ト、天ドヲ廻リテ平定セシハコト、書紀ニモ、以岐神爲鄕導、周流削平トアルガ如シ。〇不止欲見〔標〕面白キ處ナル故ニイツ迄モ見度國ト詔玉ヒシナリ。〇正倉〔標〕朝廷ノ正税ヲ納オク所ナリ。正倉見續紀和銅五年天平勝寶六年三代實錄仁和三年令義解正倉者正税トアリ、和名鈔ニ倉廩ヲ久良ト訓リ。〇飯梨鄕〔鈔〕是亦古者在乎意宇郡今則爲能儀郡也。……并乎飯梨、引弘、實松、矢田、古川、新宮、富田、田原等村以爲飯梨鄕矣。(〇富田城等ノ記事有レド略ス)〔標〕今飯梨村アリテ八村之ニ屬セリ、能儀郡ニ入ル。【一七】御膳、古ヘハ總テ食物ヲケト云リ。〇舍人鄕〔鈔〕此鄕亦古者在乎意宇今能儀郡也。……合於吉岡、月坂、赤埼、澤村、野方、折坂以爲舍人鄕矣。〔標〕今能儀郡吉岡、月坂等六村ヲ云。〔標〕舍人ハ、職名也、職員令、左右大舍人寮、本居氏云、舍人ハ殿侍リノ義ナリ。寬按信濃國造ノ族ニ金刺舍人氏アリ。金刺ハ志貴島金刺宮ニ舍人ノコト奉仕レルヨリ負ヘル氏ト聞ユルヲ思フニ此ナル舍人モ金刺舍人ニハアラザルカ、ヨク考ベシ。〇吉田博士云。按ずるに風土記「……正東廿六里……大舍人供奉之……」と述ぶ。鄕名の緣起明白とす。其正東ありて廿六里と云ふに因り、諸鈔注に之を野城の東とす。然れども野城の西なる、荒島赤江の邊全く鄕を缺くより之を觀れば廿六里は十六里の誤に似たり。同書(〇風土記)又云「教昊寺在舍人鄕中……」この教昊寺

も後世詳ならず、廿五里とあるは十五里の誤か（地名辭書）○日置臣【解】氏ニテ志毘ハ名。○大草郷【解】大草、古今同在二于意宇一……則大草村當矣。合二之於日吉、岩坂、大庭、佐草一以爲二一郷一也。佐久佐日子社見二于下之合社一矣。【鈔】大草郷ハ日吉、岩坂、大庭、佐草四村ヲ云。○【解】青幡之忍坂山、マタ青幡不幡トモツヅケタリ。佐久佐ノ佐ハ、發語ニテ、青幡ノ如ク靡ク草トツヅケシ詞。○山代郷【鈔】山代亦古今屬二意宇郡一……則山代村膺矣。此郷併二于竹屋、八幡、間潟、矢田、津田、乃木、阿手、奴佞邊一以爲二山代郷一也。此記書二山代山於神名樋山一有二此山之麓一微二于高森社一南足有二伊佐奈枳宮一又眞名井龍社亦在二于此側一自二山代一以東二十五町有二竹屋八幡宮一又自二竹屋一十二町以北有二間潟村一自レ比度二望阿太加夜、提屋之蒼海一。曰二之於飯宇海一又東經二于五十町一而則有二島根大海埼一所謂出雲郷大之御前是也。大穴持命過二于少彦名命歸來一蓋此處也。又有二間潟上流于指間嶋一書二此記之於塩楯島一有二此嶋上于天神祠一則少彦名命也。自二間潟一以西廿町有二矢田村一自レ此西北十八町有二津田村于高日社賣豆貴社一自レ此以西廿五町有二天神橋于天滿天神社一自二此橋一以北十町到二于松江大橋一此橋南北如レ次意宇島根二郡之界也。往レ是無二此川橋梁一而民病レ渉及二慶長年中堀尾帶刀始設二作大梁一通二人於南北一云。【解】山代郷ハ竹屋八幡等ノ八村ヲ云、山ハ材ヲ出スヲ主トス。山代トハ山ノ木ノ繼苗ヲ生ズル地ヲ云、此神モ山ノ繼苗ヲ知ルヨリ御名ニ負リシナリ。○拜志郷【鈔】此郷古今同意宇郡、【解】來待、湯町、布自奈、菅原ヲ云。○【解】波夜志ハ、林ニテハエアルヲ云、顯宗紀ニモ、取擧棟梁者、此家君御心之林也トアリ、スベテ物盛ナルヲハヤシトモハヤストモ云ベシ、今モ謠物ニ鼓笛ヲソフルヲハヤシト云ニテ知ルベシ。

【一九】宍道鄕、鈔 完道古今共在于意宇郡卅七里今六里六町會於白石（ハクシ）、完道、佐佐布而爲完道鄕也。所謂猪大像石者白石本鄕村今石宮大明神是。乃完道社也。有村中女男岩同村才谷有高宮社記書之狹井高社亦書才谷神於狹井社（〇中略）又以佐佐布村古者爲意宇出雲二郡之界記以伊白見社入出雲郡而弘治年中出雲郡學頭村高淸水城主米原平內兵衛尉領於此邊之日從完道出兵以取略伊自見村軍原邊其後伊自美遂入于意宇郡又完道有祇園社 解 宍道鄕ハ白石、宍道、佐佐布三村也、永禱云、白石ハ白猪石ニテハクイシナラン、今モ石宮大明神トテ犬ノツクマリタルサマノ石アリ。〇解 宍道、大神ノ狩シ玉ヒシ所ヲ名ニ負フ、古事記ニ、八十神大穴牟遲神ヲ殺サントシテ、猪狩ニ託シテ猪ニ似タル石ヲ燒キテトラシメシ事ヲ記セリ。此ハソノ事トハ異ニシテ、大國主ト成玉ヒシ時ノ、遊獵ナルベシ。〇餘戸里 鈔 餘戸里古今意宇郡合于意東揖屋以爲餘戸里和名鈔書筑陽鄕 解 餘戸ハ意東揖屋ニアタレリ。〇天平里に就て吉田博士云。內山眞龍は天平里を大二里に作り「二里をあます」と釋きたり。其大字をアマスと訓むこと。他に例なし。天平里、大二里いづれにせよ難解の字句とす。蓋誤謬あるもののごとし。元旡里とあるべきを、天平又は大二に誤れる歟。云云（地名辭書）〇野城驛 鈔 野城驛古意宇郡、今能儀郡、今乎松井、中津、中嶋、田淵以爲此驛也。和名鈔書野城鄕往古所謂有三十六丈野城橋矣。蓋此時中島、切川、羽嶋、坂田、赤江、荒嶋等諸村悉可爲以水中歟。後埋漸成良里耳、解 野城大神ハ、穗日命ノ由ナリ、サレド大神トハ熊野大神カ又ハ杵築ノ大神ナルベシ。【二〇】黑田驛 鈔 古今意宇郡也。按舊黑田者今竹屋村之田畷客大明神邊、今

郡家屬〻東者則今之阿太加夜之鄕也。○完道驛〔解〕古之卅里曰二今五里一、介則方路今白石濱當矣。而今乃十八町以西從二完道市一矣。○出雲神戸〔解〕古今在二手意宇郡一……則相二當大草郷神社邊一意從合二此神戸於久麻社一者歟。〔標〕臨奈子ハ、萬葉、父母ニ我波麻奈兒會、又祝詞ニ、麻奈弟子ナリトアリテ、愛子トカケル意ナリ。○〔標〕加武呂乃命ハ、神賀詞ニ、伊邪那伎乃日眞名子、加夫呂伎熊野大神トアリ。素盞嗚命ノ御コトナリ。○〔標〕高彥根神ハ、神賀詞ニ、阿遲須伎高彥根乃命乃御魂乎、葛木乃鴨能神奈備爾坐、云云、皇御孫命能近守神登貢置クトアリ。大和ノ高鴨社ニマス神ナリ。【二一】加茂神戸爲二意宇郡一今則入二手能儀郡一……則充二手大塚村四社明神祠邊一和名抄書二賀茂神戸鄕一也。○忌部神戸〔解〕古今意宇郡。自二郡家一方路正當二手忌部村一記書二忌部川於野代川一此川今無二溫湯一而有二玉作川溫泉一然則東西忌部玉作陽市面白大谷等惣而忌部神戸也。和名抄書二忌部鄕一又此村有二久多美山大明神及三社大明神社一（玉作湯神社同韓伊太氏社湯村布加美明神社是也。記書二布吾彌社一矣）又有二八幡宮一面白村有二杉戸大明神若杉大明神高日大明神等小祠一有二大谷村寸比登韓國大明神社一蓋猿田彥歟。○〔標〕神吉詞ハ、式ニ出雲國造神賀詞トテ、ソノ世代リノ時ニ、朝廷ニ參リテ、神代ノ故事ヲ奏スル事アルナリ。【二二】教昊寺〔解〕此寺此記爲二舍人鄕中一。和名抄見二口縫鄕內淸水村一蓋可レ爲二今之淸水寺一歟。（○下略）○〔標〕散位ハ、官ナクテ位ノミアルナリ。○〔標〕上腹、一本三腹トアリ、三腹ハ蝮ト同ジ、寬按ニ、高橋氏文ニ、天上腹ト云フアリ、由ナキカ。○〔標〕嚴堂ハ莊嚴ノ堂ニテ和名鈔ニ金堂トアリ殿堂ニ構ヘタル堂ト云コトナリ、○兄僧、吉田博士云、兄僧は必定尼僧の誤なれば此は法華寺と云ふものとす。云云（地名

際詰）〇■置君ハ、氏姓ニテ、自熊ハ名ナリ、神門郡置鄉ニヨリテ負ルカ次ニ置部アリ。〇新造院〔鈔〕此寺未レ考。在二國分寺之舊基一乎作屋村一礎蹟柱礩見尙存矣。〇新造院〔鈔〕聞於二山代村一有二四王寺一今無レ之不レ知恐是耶。〇新造院〔鈔〕有二能儀吉田村一千觀音□□不レ知此耶。■コノ卅八所ノ神ノ事ハ、大日本史ノ神祇志ト、又我ガ神祇志料ニツキテ見ルベシ。次次ノ神社モ同ジ。〇〔鈔〕にも考證有れど事長ければ略す。【二八】不在神祇官■以下一十九所ノ不在神祇官ト云ル社ノ所在等ハ、說說アリテ、タヤスク定メガタケレバ、此ニハ云ハズ、次次ノ式外社モ此ニ准フベシ。〇長江山〔鈔〕長江山在二于能儀郡母理鄉、井尻中上小竹村一。五十里今之八里十二町■鈔云、云云岩船山ト云。〇高野山〔鈔〕高野山意宇郡大草鄉岩坂村星上山也。〇熊野山〔鈔〕意宇郡大草鄉熊野里卽熊野大神鎭座山名也。【二九】久多美山〔鈔〕久多美山在二于意宇郡忌部鄉一有二久多彌神社一于此山一〇玉作山〔鈔〕意宇郡忌部鄉湯泉大谷山是也。〇神名樋山〔鈔〕意宇郡山代山也。〔鈔〕神ノ森ト云フ言ノ約リナリ。此山ハ山代鄉イザナギ山ニツヅケリ。〇伯太川、〔鈔〕能儀郡母理鄉井尻川也。葛野山井尻中草野村折坂而比太村界、比太古者在二于仁多郡一今入二能儀郡一也。母理古者在二乎意宇郡一今分二能儀郡一故曰仁多與二意宇一之界也。〇伊久比■今人云、ウグヒナリ伴信友云、神祇伯顯仲朝臣ノ歌ニ、篝火ノ光ニマガフ玉藻ニハ、ウグヒノイヲモ、カクレザリケリ。ト詠ルハ、鵜喰ニカケタリ。〇山國川〔鈔〕能儀郡吉田川也。里今六里二町枯見山又同郡宇浪村水谷也。此川過二乎浪吉田柳谷折坂野方澤村吉岡月坂赤埼切川等村一入二于母理川一也。〇■枯見山ハ宇浪村水谷山。【三一】〔鈔〕飯梨川卽今之富田川也。一水源出レ自二田原村一經二東南七十町一到二于

比太村。又經自其西南五十町到平大原郡上久野村也。一水源枯見、能儀郡宇波村山名也。一水源志許山、
能儀郡比太村與仁多郡鶴嵩村之堺。即鶴嵩山名也。三水合爲富田川北（〇流脫カ）入于海。〇〔鈔〕筑陽
川意宇郡筑陽鄉餘戶里、今伊東村川水源荻山奧伊東山也。一十里一百步、今方路一里廿五町四十間也。〔標〕福
見三省云。今曰波入川出自星上京羅木山是也。因考荻山即京羅木山也。餘戶里伊東村ニ川淵屋社モア
リ。〇〔鈔〕意宇川水源自熊野山出經於岩坂、日吉、大草、阿太加夜流入于海故呼曰或出雲、或大草或
大庭川也。〇〔鈔〕野代川意宇郡忌部川也。水源出自大原、意宇二郡界海潮鄉須我山過於忌部、乃白、
乃木村流入于海。而乃白、福富、乃木三所古總言野代故稱野代川耳。【三二】〔鈔〕玉造川自忌部鄉
大谷出經於玉造湯市北流入于海也。所謂此川出於溫湯矣。〇〔鈔〕來待川出自意宇郡和名佐山經
於菅原佐倉大森自東來待與西來待之間北流入于海。此記書菅原於山田村又和名鈔來待曰鄉、此記曰
里今以和名佐、佐倉、大森、多根、菅原五所曰上來待、以鏡村、弘長、寺濱村三村曰東來待以大野、
横見、小松三所曰西來待也。〇〔標〕山田村ハ、今ノ菅原ナリ。〇〔鈔〕完道川表完道鄉中意宇與大原堺金
山深谷經金山坂口客道村中分完道佐佐布北過入于海也。〇〔鈔〕津間拔池、周二里四十步、今十二町四
十間。在意宇郡乃木村。〇〔鈔〕眞名猪、池周一里、今六町。在意宇郡山代鄉矢田村。北入海。【三三】〔鈔〕
門江濱、能儀郡門生吉佐兩處之海淑也。〔標〕門江ハ、能義郡門生吉佐兩所ノ海際ヨリ、伯耆ノインダヲ過ギ、
西行海ニ入ル。〇〔鈔〕粟嶋亦在于同處〔標〕粟島ハ門江ノ濱ニアリ、書紀ニ少彥名命ノ事ヲ、一書ニ至淡島而

絲二粟莖一者則彈渡而至二常世郷一、伯耆風土記ニモ有二粟島一少日子命載レ粟彈渡二常世國一故云二粟島一トアリ、伯耆國ニテハ間近ケレバ島ト心得テ記シ、出雲ニテハ海中ニ在カラ傳ヘシモノナルベシ。○〔鈔〕砥島、周三里一百八十歩、今廿一町、又在二同郡安來海際一、○〔鈔〕羽嶋同郡今ノ飯嶋村海邊、所謂此村昔日海中、此記以後埋成二田村一（○後略）〔解〕能義郡、飯島ノ磯邊ニアリ。○鹽楯嶋〔鈔〕鹽楯島所謂楯間島也。蚊島今婦島也。此海中往古爲二鹹海一、故此記書二海松等海品一可二至レ下知一也。〔解〕山代郷間瀉村ニアリ。【三四】〔鈔〕國東堺手間剗、能義郡關村也。⊙〔解〕一本其舊本作二百日一以二諸校一改レ之、異本茸日ニ作ル。解ニ多加比社ノ所ニ近シト云ヘリ、○手間ハ、伯耆ノ郷名ニテ、剗ハ出雲ニオク。職員令云剗墾擁之處、古事記、伯伎國手間山本。○〔鈔〕林垣峰、來待郷和名佐鳧二大原郡幡屋山一堺也。○〔鈔〕佐雜埼、意宇郡伊自見村與二佐佐布村一之堺乃今佐加惠谷是也。〔解〕佐雜ハ宍道郷中也。○〔鈔〕朝酌渡、今間瀉村與二福富村一之渡頭也。〔解〕朝酌ハ島根ニアリ。【三五】務〔解〕一本廓マタ廟トアリ、共ニ廳ノ誤ニテ、黑田ニ國廳アリシ也。○郡主ノ主ハ衍ナルベシ。○少領ノ下外ノ字脫スルニ似タリ。○勳業、解云。勳ハ官位令ニ、勳一等ヨリ十二等ノ勳位アリ、考課ノ試ヨリ賜フ文位ナリ、業ハ職員令ヲ按ニ、文章生得業者ヲ云フ。江家次第除目條云、諸道得業生云云、又云、文章生多任二北陸道山陰道一トアルハ、唐船ノ來着ナド有ル故ナリ。○林臣ハ、解ニ本國拜志郷ニ出タル氏ニテ、武内宿禰ノ裔ナル林臣ニハアラジトイヘリ。○擬ハ擬任ニテ、未ダ本官ニハ非ザルナリ。【三六】島根郡云云〔鈔〕按此記爲二八郷一源順和名抄多久爲レ郷都合造二九郷一。所謂多久者講（カウブ）武谷、近世曰二眞福寺村一今分曰二上多久下

多久ニ乃佐太川上流、又有レ社。○眞龍云。爰ハ根國カ、闇見國、即夜見國ナリ。夜見島モ近シ。鈔ニ虫野社、令レ取ニ大神之頭虱ニ之所、トモ云リ。是ニヨレバ、大神ノ御寢マシシ所ヲ根ト云ト思ハル。或云、根國ハ、スベテ山國ノ事ナリト云レシ。ゲニ島根ハ山ノミノ國ニテ、三保ノ方ハ、陸路サヘナシ、島嶺ノ義ナラン。之ノ下ニ島根ト云ル故ヨシ脱タリトミユ（以上標註）○朝酌鄕 [illegible] 此鄕併ニ於朝酌及福富、大井、大海埼ニ以爲ニ一鄕ニ也。所謂從ニ間瀉ニ濟ニ此鄕福富村ハ、渡口曰ニ朝酌促戸渡ニ。神昏所謂出雲御大之御前者蓋又此鄕大海埼是也。又大井村有ニ冷泉涌出之處ニ也。[illegible] 朝酌鄕ハ今朝酌、福富等ノ四村ナリ、朝酌ノ酌ハ、假字ニテ組合、トリクミ、又贄組ノクミニ同ジ。○御饌 [illegible] 御食物勘養ハ神顯（カムカヒ）ナリ、祝詞ニ、汁爾母頴爾母ト云ヒ、月次祝詞ニ、皇御孫命乃朝御食夕御食乃加牟加比爾トアリ（カムカヒ）ハ萬葉ニ御食向トモヨメル意ニテ神ニ物ヲ手向ト云ニ同ジ御膳ニツキ玉フヲ云ナリ。○五贄 [illegible] 五ハ五種物（イツツノタナツモノ）又五色ノ物ナドノ五ニ同ジ、贄ハ食物ニヨル詞ニテ、煎鹽（ニアヘ）ノ言ナリ、按、本書ニ結ヲ緒ニ誤レル所、下文ニモアレバ、ココモ結ニテ五贄結之處ヲ、（イツニヘユヒノトコロ）トモ訓ベシ。文意ハ御食田ノ結組スル處ト聞ユ。由比ハ田業スル民ドチ、互ニ助合テ、殖ルヲ云、農家ノ常言ナリ。近キ世ノ御製ノ歌ニ、此里ニユヒスル人ノナキヤラム、フタシタツ迄ニ早苗トラヌハ、トモ詠玉ヘリ。永爾五贄組トハ五品ノ御贄ヲ云テ其ヲ組合セ玉フナルベシ、組合トハ大神爰ニテ青人草ノ爲ニ御贄ニナルベキ物ヲ定メ玉フナリ。寛按、五贄組ノ五ハ、五種物、五色物ナドノ五ニハアラデ萬葉一ニ嚴橿ヲ五可斯何本ト書ケル如ク神ニ獻ル贄ナルニヨ

リテ殿贄組トハ云ナルベシ。　【三八】山口鄕鈔正角四里二百九十八步、今廿八町五十八間卽方隨正今東川津村當矣、加之於西川津、川原西尾三所以爲二山口鄕一也。○纂都留支日子命ハ眞龍云、此神劔ヲ鍛ツニ功業アリシヨリ御名ニ負玉ヒシニヤ、今モ新庄村ニ鍛冶床ト云テ定恒ト云フ鍛冶ガ大刀ヲ打チシ處ト云ヒ傳フ、同村久良彌社ハ卽チ此神ヲ祭レル由ナリ。○手染鄕鈔此鄕以二多須見、長見一爲二本鄕一并二是於野原別所下宇部尾村一以爲二手染鄕一也。（○下略）【三九】美保鄕鈔此鄕以二關村、福浦一爲二本鄕一併二加之於西者森山東者雲津諸喰等所一以爲二三保鄕一也。森山舊者曰二橫田村一則有二橫田社一此記所謂志羅記乃三碕又高志乃都都三埼者共指二以三保埼一見矣。又自二三保灘磧一可十八町、東海中有レ嶋俗呼云二島神一。蓋大己貴御子事代主命於レ于此島一作二釣魚射鳥之遊遨一云。○正東、北東カ。○高志國纂大穴持命高志ニ妻問ヒシコトミユ。○意支都久辰爲命纂沼河比賣ノ親神ナリ。○奴奈宜波比賣纂沼河比賣也。寬按。宜ヲガトヨムコト、法王帝說ニアリ、舊印本ニギトカナサシタルハ非ナリ。○大矢氏云「宜」ニ宜は、玉篇魚奇切、廣韻魚羈切、漢吳共に呉音ガなり、之をガの音に充つること、此の遺文（推古朝）時代以外には、出雲風土記に奴奈宜波比賣、舊事紀天孫本紀に、巷宜物部、熱田緣起倭建命御歌に、佐宜ノ義乎波理（こは從來マソゲと讀みたれど必ずマソガと讀むべし）姓氏錄に、蘇宜首と見えたるのみ。但し蘇宜部は、從來ソギベノオビトとよめるを、栗田氏の考證に、蘇我部、宗賀部など記けるもあれば、ソガへと訓みて妨なきなり。」といはれたりしが、訓みて妨なきのみか、此の遺文の用例に從へば、必ず爾か讀まざるべからざるものなり。凡て此の遺文以後のものに、稀

にかかる假名の使用せられたるものの見ゆるは、皆此の時代の名稱の、當時の記載のままに遺れるものなるべし。○方結鄉【鈔】方結今日二片江一合二是於僧都、玉江、七類浦ハ以爲二一鄉一 ○國忍別【標】古事記ニ、大國主神御子鳥鳴海神御子國忍富神トアル同神カ ○加賀鄉【鈔】此鄉含二加加浦及大芦御津一以爲二加賀鄉一也。加賀神埼者在下自二本鄉一可廿町北之海中上。○佐太大神【標】佐太ハ意宇郡狹田國。○支佐加比比賣【標】記ニ大穴持神ノ燒ツカレテ死マシシ時、其御祖命（刺國若比賣）天ニ參リテ申處ノ文ニ、神產巢日之命、時遣二𧏛貝比賣、與蛤貝比賣一令二作活一云云、コレニヨルニ、佐太大神ト大穴持命ノ御コトカ。○支佐加比比賣命の下【標】御子佐太大神ノ六字ナクテハ文義通エズ、今内山氏ノ考ニツキテ私ニ補フ。○金弓【標】金ハ裝ヲ云。○【標】加賀ハカガヤクナリ。○【標】生馬鄉ハ東西生駒村アリ。○【標】八尋鉾ハ長ト云ハン冠辭。○【標】イカマシハ、怒リガマシキ姿ヲ云フ、俗ノイカメシキト云フニ同ジ、此ハイカマト云ベキヲ訛リテ、伊古麻ト云フ。○法吉鄉【鈔】并二法吉及春日、末次二所一以爲二法吉鄉一也。有二今末次子五ケノ支村一曰中原、黑田、奥谷、菅田、末次。所謂宇武加比賣命飛度所レ座者法吉村中、宇久比須谷是也。（○後略）【標】法吉鄉ハ法吉、春日、木次ヲ一鄉トス。

【四一】【標】宇武賀比比賣ハ古事記蚶貝比賣トアリ。○【標】法法吉鳥ハ、鶯ノコト也。宇久比須ハ、萬葉、天平以後ノ歌ニミユ、凡己ガ囀リヲモテ名ニ負ハ、鶯ハ覺賀（ガガ）鳥、蟬ハセンセン虫ノ類ナリ、法吉ハ、今法吉村ノ宇久比須谷也トアリ、信友云、法吉ハ、ホフキナルベシ、法字呉音ハホフ也、ホフキハ鶯ノ囀ル聲ヲモテ、名ニ負セタルニ後世ニホツケ法華ト聞ナシタルナリ、西行ガ山家集ニ、鶯ノ聲ニサトリヲ得ベキカハ、

聞ク嬉シサモハカナカリケリ、トヨメルヲ思フベシ。○餘戸里〔鈔〕餘戸里古之郡家而合本庄新庄邑生上宇部尾邊以可爲餘戸里也。○千酌驛〔鈔〕今俗千酌、東邊郷而言北浦併於千酌及笠浦、瀬埼、野井、野浪等以可爲千酌驛家也。(○後略)○都久豆美、〔解〕都久ハ、地名ニテ都久美持ナリ、イサナギノ命ノ御子トアレバ、月持ニテ、月夜見命カ。　【四七】〔鈔〕布自枳美跨山口郷、朝酌郷、餘戸里三所即今東川津村嵩山是也。……乃合祭所謂布自支彌、多氣兩社於山上。俗呼曰嵩明神又充于山東垂餘戸里新庄村方。

○女岳山。云云。○凬野〔鈔〕此野合福原坂本曰以凬野明暦中我先君忌凬原非佳名以改福原事見于前。云云〔解〕凬野ハ福原坂本ヲ合セテ五野ト云フ。○毛志山〔鈔〕毛志山在本庄村河上福原坂本北山。○〔鈔〕大倉山手染郷、長見川水源、今枕木山、寺東山名。○〔鈔〕糸江山、今、野浪浦川上ノ山名。○〔鈔〕小倉山跨加賀、大芦、講武、持田四所小倉觀音舊者在于此山。寺號圓福。下徙於南林原則今在持田。村中二水源、見于下。〔解〕小倉山ハ加賀、多久二川ノ源ナリ。○〔鈔〕水草川此水源一山而異於谷。一水出自凬野中今福原澄水谷二一水自坂本村與持田村之界、即持田中納藏谷出。二水同到于山口郷東川津村合流經西川津入于海也。○〔鈔〕長見川與犬(○鈔ハ凡テ犬ニ作ル)鳥川水源別、下流合、出自長見村大倉山東到于杵田社前與犬鳥川合流入于海也。○大鳥川〔鈔〕此川水源自長見與北浦之界墓野山出、末流合長見川入于海也。大倉山與墓野相去十六町五十間。云云○野浪川〔鈔〕此川自野浪村南糸江山出西入于大海也。○加賀川〔鈔〕水源小倉山既見上、此川經加賀郷別所谷北赴入于大海。云云　【四八】○多久

川〔鈔〕此川亦出㆑自㆓小倉山㆒爲㆓多久川㆒西流經㆓佐太船木橋㆒以入㆓湖水㆒也。〇〔鈔〕法吉坡在㆓法吉郷中㆒俗呼云㆓智者池㆒是也。〇〔鈔〕鯉恐衍字歟。〇前原坡。〔鈔〕在㆘自㆓大海崎㆒東北所㆑經㆓上宇部尾之路邊㆒也。〇〔解〕張田池ヘ生駒村ハンタノ池。【四九】匏池、〔鈔〕在㆓生馬郷以南濱佐太村㆒俗曰㆓比佐久池㆒是也。云云〇〔鈔〕朝酌促戸。自㆓今福富村㆒之東之街路也〔解〕意宇郡間瀉ヨリ島根郡福富渡ル所ナリ、廣キ入海ノ水門ニハ、甚迫キ所ニテ、水脈早シ。〇西在㆓平原㆒云云〔鈔〕西平原、多賀社域與㆓津田馬橋㆒之間有㆓今尚㆒淵者、呼曰㆓中島㆒是。捕㆓雜魚㆒今古同矣。【五〇】〔鈔〕大井濱、朝酌東即大井海濱也。邑美冷水自㆓大井㆒東、大海埼所之麓清涌泉是也。【五一】蜛蝫島〔鈔〕或蜛蝫島、或蜈蚣島、又栲島者今俗都曰㆓大根島㆒是也。按韻書蜛蝫亦作㆓鰬䲗㆒蓋名亦魚名。南越志、一頭數尾長二三尺左右有㆑脚、可㆑食㆑炙者可㆑訓㆓大古(タコ)㆒故誤曰㆓栲島㆒言耶。嶋土地宜㆓蕃根㆒因以有㆓俗稱㆒耳、自㆓嶋根本庄㆒海路十八町、嶋周三十二町計、此嶋舊屬㆓島根郡㆒今入㆓意宇郡㆒也。從㆓馬渡㆒直渉㆓伯州夜見島㆒也。〔解〕蜛蝫島ハ東ハ夜見島、北ハ郡家ニ近シ。〇夜見島〔解〕今ノ弓ガ濱ナリ。【五三】〇和多太島〔鈔〕在㆓三保郷下宇部尾村㆒今曰㆓和多太崎㆒是也。美佐島是亦同處海岸也。戸江剗、栗江埼在㆓同郷森山村㆒也。【五四】入鹿〔解〕和名抄、鮃鯆和名伊流可、大魚色黑。〇須受枳ハ、鱸魚　〇近志呂ヘ和名、鯯、古乃志呂　〇鎭仁、和名鈔云、海鯽魚、知奴　〇白魚、和名抄、䱊、之呂乎、(〇以上標註)

【五五】〇〔鈔〕鯉石島、大島、此兩島者共在㆓三保郷福浦㆒。宇由比濱亦有㆓同處㆒鹽道濱、澹由比濱、加努夜濱共三保與㆓福浦㆒之中路也。三保濱、今三保關村、三保埼亦今地藏埼也。【五六】等等島有㆓三保東海

中一俗呼曰二嶋神一詳先記レ之。志嶋、是亦在二地藏埼一俗曰二赤嶋一是也。久毛津浦今雲津浦也。黑嶋、這田濱、
比佐嶋、長嶋、比賣嶋。【五七】結嶋門御前小嶋等自二雲津一所レ之二七類浦一之海中小嶋也。質留比浦
……今作二七類一南有下喜太大明神與二志大明神一之社上久宇嶋加多比嶋、屋嶋【五八】赤嶋、宇氣嶋、黑嶋、
粟嶋等在下自二七類浦一所レ之二玉江濱一之海中上也。玉結濱、今玉江濱、黑色碁子石今猶在矣。唐砥玉江與二片
江一之間笹子浦猶亦在矣。小嶋、是亦此處樣也。方結濱……今片江浦是也。勝間埼二窟片江浦蜂巣嶋石窟
是也。【五九】鳩嶋、鳥嶋黑嶋等到下自二片江一北須義浦上之嶋與名也。須義濱……卽今須氣浦有二礒邊衣嶋一
稻上濱……北浦漁戸也。【六〇】稻積嶋同所礒頭稻倉大明神鎭座嶋。大嶋是亦同處穴深礒俗呼云二蘇介迴
山一是歟。千酌濱……卽千酌浦也。加志嶋、赤嶋、千酌與二菅浦一之間海路嶋名也。菅浦濱……今笠浦是也。
【六二】黑嶋、龜嶋共在二笠浦海中一。附島在下自二笠浦一所レ行二野井浦一之海路上。蘇嶋亦在二予同處一。眞屋嶋在二
上同處一也。松嶋、立石嶋、在二野浪中瀨埼一。瀨埼野浪支浦、俗呼曰二仙埼一是也。野浪濱……是卽野浪浦舊
歸也。鶴嶋、間嶋、毛都嶋等皆在二此海中或礒頭一也。川來門大濱……是乃加賀浦。黑嶋【六三】小黑
嶋、加賀神埼、【六四】御嶋、葛嶋、櫛嶋、許意嶋、眞嶋、比羅嶋、黑嶋。【六五】名嶋、赤嶋等諸
嶋者自二神埼一大芦所レ如之往往小嶋也。大埼濱……卽加賀郷、今大芦浦是也。須須比埼在二大芦浦一御津濱……
卽今水浦、三嶋在二此海中一也。虫津濱……古屬二當郡一入二今秋鹿郡一、今片句(カタク)浦卽是也。手結埼今俗呼曰二多井
埼太井浦一是亦古當郡今入二秋鹿郡一。久宇嶋乃在二予手結礒灘一也。【五五】[illegible] 美保濱……西有二神社一。神社

ヘ三保社。【五六】等等島ヲ、禺禺トモ當當トモ云フヨシヲ記セルナリ。【六〇】積積嶋頭注、伊奈須美社アリ。【六二】野浪濱頭注、神社ハ奴奈彌社。【六三】加賀神埼頭註。神埼ハ、郷ノ北ニアリ、窟ハ佐太大神ノ生マセル所ナリト云ヒ傳フ。○信友云、此弓箭云云ノコトヲ思ヘバ、臨産ノトキ、弓箭ヲ備ヘテ惡神等ヲ退クル例ノ神世ヨリアリシナルベシ、又云、麻須羅神御子トハ、益荒雄子テフ意ニテ、古書トキコユ。○磅礚而行、今モ此所ヲ船ノリスル時ハ聲トドロカシテ行クナリ。【六四】黒嶋頭註。信友按ニ著聞集ニ、秋鹿郡ノ北ノ海ニ黒嶋ト云フ小嶋アリ、海草ナド多ク生ヒケリ、天慶三年十二月上旬ニハカニキエウセテ見エズ成テ、其跡ニ大ナル石ゾ、數シラズゾタチテ有ケルトミエタルハ、此黒島ナリ、此記ニハ黒島島根郡ノ部ニアレド、當郡ノ東ニ秋鹿郡隣リテ、共ニ北海ナレバ、著聞集書タル比ハ、其島秋鹿郡ニ屬タル歟。又傳聞ノ誤歟。イヅレニモ黒島ノコトナルベシ。（○以上〔標〕）【六七】社部臣〔標〕未ダ考ヘズ○蝮臣〔標〕上ニモアリ、蝮朝臣未ダモノニ見アタラズ。【六九】○〔鈔〕按此記之趣秋鹿、日女二社明神祠則在二于秋鹿村一、蓋當此社南地爲二古之郡家一耶。從レ此以東十七八町許乃長江洲渚今猶呼曰二郡埼一、意郡家隣地。且長江亦秋鹿一村也。〔標〕眞龍云。秋鹿日女ハ、澳具姫ナリ。蚶具比女ニ同じ。鈔ニ、秋鹿日女二所明神、秋鹿村ニアリ、秋鹿日女ト、法吉郷ノ宇武賀比比賣ト、同名ニテ、祭所モ相近シ、古事記ニ、蚶貝比賣、蚶具比賣ト功モ同キヲ思ヘバ、一神二名ニ傳ヘタル乎、宇武支ハオキヘガヒナリ。○惠曇郷〔鈔〕此郷併二於今江角古浦武代本郷等所一以爲二惠曇郷一。意佐太宮内村亦宜三以入二此郷中一也。○磐坂日子〔鈔〕它ニ見及バズ、

○【解】或云、惠曇トハ納ニ書ヲ書タルニヨリ名ニ負ルカト云ヘリ。○多太鄉【鈔】此鄉并ニ岡本大垣兩村一以爲ニ多太鄉一也。云云【解】今ノ岡本、大垣二村ヲ云、岡本村ト秋鹿村トノ界ニアリ。○衝桙云云【考】信友云。衝桙等乎而留比古命、ト申スベシ。衝桙ハ杖レ桙ノ義ニテ等乎ノ枕詞ナルベシ。萬葉ニ、奈用竹乃騰遠依、トツヅケタルガ如ク、桙ヲツキタルガ攪ム由ノ意ナルベシ、而留ハ稱名ニ云ル例ナリ。○多太【解】正眞成ト云ヲトレリ、○大野鄉【鈔】此鄉合ニ平大野村及魚瀨大垣村中高宮神山邊一以爲ニ大野鄉一也。云云○【解】和加布都志能命ハ出雲郡ニ所造天下大神子トアレバ、經津主神トハ異ナリ○【解】河內ハ大野川ノ河內ナリ、○【解】跡ハ止米ト訓ベシ、獸ノ足跡ヲ尋ルヲ止米ト云ハ、今モ獵人ノ常言ナリ。【七一】伊農鄉【鈔】此鄉并ニ今伊野波多兩所一以爲ニ伊農鄉一也。云云。【解】今伊野村伊野浦アリ、○赤衾一ニ赤食トアリ、コレニヨリテ眞龍ハ、赤食ヲ安受根、出雲郡ニ阿受根社アリ、伊農ト同所ナリ、意保須美ハ、大住、比古ハ彥ニテ、男ノ稱名、佐奈ハ志奈ノ約リ、品ナリ、又ハ地ノ廣狹ニ依カ、和氣ノ地ヲ分チ知ヨリ云ソ、阿受根ト伊農ノ地ヲ領知給フニ依テ、御名ノ始ニ置テ、品別ト負給フナリ、ト云ヘレドイカガアラン、出雲郡伊務鄉ノ條ニコノ神ヲ以テ意美豆努命ノ御子トアルニテ味鉏高彥根神ニアラザルコト著ケレバナリ。但シ眞龍ガ考ハ此ナル天甕津日女命ト高日子命ノ后天御梶日女命ト御名ノ似タルニヨリテ誤レルナリ、○伊農波夜トハ、歎息ノ呼詞、倭建命ノ阿豆麻波夜、多知波夜ナドノ波夜、皆同ジ。○【鈔】神戶里乃佐田宮內。考昔日置寺庄村、常村寺、古志、古曾志、西濱、佐田及嶋根郡中名分村、上佐田、下佐田等一佐田宮內七百貫地也。蓋佐田三社其一社

者合祭伊佐奈枳乃麻子熊野加武呂乃命及大穴持命也、其一社者神魂命御子枳佐加地賣於加賀神埼所見産生之佐田太神是也。其一社者併祭伊佐奈枳乃命及伊佐奈彌命天照太神之社也。然俗說伊佐奈彌命廟所而所謂比婆山此處、是甚誕妄也。其比婆山者出雲與伯耆之界、然則路程遙隔矣。意求入之比婆山不得於其處強而附託耳。予之所言者敢非無其所據、若シ或曰神納或曰劍山曰日來賢返考推此等處以指雲伯之界能儀郡母理鄉井尻中日波者也。知者辨之耳。【七三】神名火山〔鈔〕神名樋山即此森、有佐太大神社。【七四】又足日山蓋今朝日山、七社權現所座麓、佐田三笠也。記書惠杼毛社即是也云云、○女嵩野山〔鈔〕大野與多太之間大垣村、高宮大明神鎭座山名、此記書阿之牟社ハ、蓋天照太神祭矣。云云 ○都勢野山〔鈔〕此大野鄉今之杠ユヅリハ山云云〔解〕今ノ杜山ナリ、ユヅリハ山ト云フ。○編者云。杜山の杜は杠の誤か。今杜山と書けるかは知らねどユヅリハ山と云ふと有るからは鈔に云へる杠山と有るぞ正しからむ。伊呂波字類抄、植物のユヅリハに杠の字を書けり。又云。勢は衍字かと云ふ說吉田氏の字名辭書に見ゆ。【七五】今山〔鈔〕此亦在于同鄉云云、○〔鈔〕佐太川水源ニ、東水源出嶋根郡多久鄉講武谷是即多久川。西水源來秋鹿郡中田村ハ、中田即古之波村而本鄉與宮內之間也。佐太水海即今濱佐太水海是也。云云〔解〕水源ノ下、一本ニ位マタ佐トアリ。信友云。出ノ誤寫ナラン。【七六】山田川〔鈔〕此水源湯太、多太鄉岡本村山名。云云。○多太川〔鈔〕此川出自多太鄉大垣村女嵩野即經大垣村南入于海。云云○大野川〔鈔〕水源磐門山、大野鄉本谷村山名也。〔鈔〕【七七】草野川〔鈔〕水源大繼、大野鄉以西山名也。○伊農

川〔鈔〕水源伊農山、即伊農村山名。云云。〔解〕此川ハ秋鹿、楯縫ノ界ナリ。○長江川〔鈔〕此水源神名大山見二手前一。云云。○惠曇池〔鈔〕在二惠曇郷本郷村一。水澤也。今埋成二耕田一矣。深田池。同郷本郷村、今深田谷防堤也。杜原池、聞在二同處畑垣一。今則無レ之。蜂崎池。是亦同處、今峰知池是也。佐久羅池。亦在二同村一也。惠曇濱……自二江角一亘二於古浦漁戶一之路程大体應レ是。西野、北大海。自レ浦至二手在家一之間者蓋指二古浦之邊一歟。【八〇】自毛埼。伊野浦事也。【八一】白嶋。御嶋共在二大野郷魚瀨浦一矣。鄰於嶋、著穗嶋是亦同處、今大國嶋。著穗嶋在二伊農浦一彫盤磐所レ埋二風沙一作二無何有一從聞古者在下古浦與二江角一之間上矣。【八二】○〔解〕日下部ハ、姓氏錄、彥坐命子狹穗彥命之後也。○姓氏錄、刑部首、飯部同祖、火明命十七世孫、屋主宿禰之後也、カクアレド以上三氏ノ臣姓ナルハミエズ。【八三】合鄉肆〔鈔〕古者四鄉今則都二於出雲郡中伊努、美談、宇賀三鄉一而加二增于楯縫郡一以爲二七鄉一矣。【八四】〔解〕書紀ニ高皇産靈尊ノ勅ニ汝應レ住二天日隅宮一者今當二供造一即以二以千尋栲繩一結爲二百八十紐一其造レ宮之制者柱則高大、板則廣厚トアル如ク大社ノ大宮造ヲ高天原ニテ其アラマシヲ量リ玉フナリ。縱橫ハ大宮ノ大サヲ量リ玉フナリ。其天原ニテ諸神ノ差圖シテ量リ玉ヒシヲ持テ降リシナリ。○日栖宮造〔解〕高祖神ノ詔ナルコト、記紀ニ見エタリ。コノ宮ハ大國主神ノ潜リマス故ニ、日栖ト云フカ。百千足ハ日本紀隱神卷ノ歌ニ百千足、ヤニハモミユ、トアル如ク百千ト物ノ足具シタルヲ云フ。○千尋栲繩云云〔解〕信友云、宮造ルベキ地ノ縱橫ノ地取ヲセル趣ヲ語レル古文ナリ、今モ水繩トテ、百間二百間ナド繩ノ長ヲ定メテ、一間每ニ繩ヲ結ヒ下ゲ、十間每ニ青色赤色ナドノ木綿

織ヲ裂テ、結付テ、町段ヲ量ルナリ、栲繩モサル趣トキコエタリ。然ルニ閂竿ヲ用ルハ、仲繩ノ差ナカラム爲ニ物スルナリトゾ、○百結々八十結々〔原〕柱桁梁垂木ニ至ルマデ、各結固ムル古ヘノ家造ノサマナリ、コノ宮ヲ造ル時ノアリサマハ、古事記ニ委クアリ。○天御鳥命〔原〕一本ニ御鳥鳥トアリ、式ニ出雲國阿陀能比奈等理神トアル是カ、御鳥ハ船ニ由アル御名ナリ、御子ノ上ニ穗日命ノ三字脫カ。船ノ美乎ト云フ所ハ、舳先ヲカ、楯桙ハ忌部氏ノ造ルコトナレド、御鳥命ハ宮造ノ總テノ事ヲ司リテ、裝束迄造リ足ラハシ玉フナリ。

此楯ヲ造リシニ依テ、地ノ名ニ負ヘリ。又一說ニ御鳥命ハ雉比良鳥トモ天比良鳥トモ天比良鳥トモ雉夷鳥トモ云ヒテラトナト通音ナリ。名義ハ天ヨリ降リテ邊鄙ヲ平ゲ玉ヒシ故ニ其功ヲ美テ鄙照ト稱シナリト云ヘリ。此說從フベシ。【八五】佐香鄉〔鈔〕此鄉并於小佐加惠、佐香浦、園村、鹿園寺等四所以爲佐香鄉也。……所謂百八十神等燕會之處蓋今佐香小川也。○厨〔原〕クリヤニテ、食物ヲ造ル所ナリ。神賀詞ニイツベ黑益トアルヲ思フニ、クリヤハ黑マシ屋ナリ。俗ニ云フ臺所ノコトナリ。○〔鈔〕楯縫鄉則屬于郡家併於多文、多久谷、岡田、布埼、古井津、三津、只浦、塩津等八所以爲此鄉也。磯瀨窟今俗呼曰六八之淵則在于只浦予嘗行於船而覩之郎二町許。白沙潔不知其幽邃更用幾許也。○楯縫郡家〔原〕今呼デ多久谷村ト曰フ ○玖潭鄉〔鈔〕此鄉者爲久多美、東鄉、福村、海苔石、谷鎌浦、十六嶋、古津浦、西之鄉八所合一鄉云云。【八六】御倉〔原〕飯田ノ穀ヲ收ル家、○〔原〕鏡字ニ、陣ヲハヤサアメトヨメリ。彙爾ハヤサアメノ字ヲ當タリ。○沼田鄉〔鈔〕此鄉合於平田西代出來洲等三所以爲沼田鄉意出雲大河此邊之俗曰尓多河蓋古

之遺稱也。云云。○〔解〕出雲大河ノ邊ヲ、俗ニ爾多河ト云、古ヘノ遺稱ナリ、鄉名爾多ヲ轉テ努多ト云フ。〔解〕多ハ埴田ノ上略カ、爾多爾食座トハ。乾飯ヲ水ニウルホシ、爾多シクシテ食給フナリ、宣長云、爾多ハ、俗言ニニチヤニチヤ、ニチヤツク抔云ニ同ジ、物ノウルホヒテ、カラカラトハ無キコトナリ、アヘ物ノ奴太モ、同言ナリ、古ヘハ今ノ如ク、錢ト云モノモナク旅店ト云モノモナケレバ乾飯ヲ持アリキテ水ヲ注ギテ食ヒシナリ。○餘戸里〔鈔〕此里者并二於萬田本庄一村一以餘戸里也。【八八】神戸里〔鈔〕此神戸者玖潭鄉中海苔石谷六社明神也 ○新造院〔鈔〕按太田之所造之嚴堂、今平田村之藥師堂耶。云云。【八九】神名樋山。〔鈔〕神名樋、楯縫鄉多久村山名、即此山頂石神今猶在矣。阿遲須枳者大己貴御子又大御梶日女命在二出雲郡伊努鄉林木村伊努谷一神而即赤食伊努意保須美比古佐和氣乃命御子。云云。〔解〕天御梶日女ハ尾張風土記ニ阿麻乃彌加都比女トミエ多伎都比古ハ多伎ノ地名ニ依ルカ。○阿豆麻夜山〔鈔〕此山在二楯縫鄉多久谷村一俗呼曰二檜倉山一是也。云云 ○見椋山〔鈔〕見椋山在二久多見鄉海苔石谷村一今高野山是也。云云。（○編者云。）椋〔鈔〕本椋に作る。次下に出づるも同じ。ミクラ山と訓むべきなれば、椋の字正しきか。萬葉集三代實錄に椋橋山見え和名鈔椋部鄉見ゆ。【九一】○海榴〔解〕海ノ下一本ニ石字アリ。○〔鈔〕佐香川即小堺村川。水源山見二于上一矣。○多久川〔鈔〕此川貫二楯縫鄉多久村與二多久谷村之間一流西南入二于海一、水源山同二於上一。○都宇川、鈔、古本、「宇」を「字」に作る誤か　〔鈔〕都宇川（モトノママ）來二久多見村一貫二分東鄉福村之中一南入二于海一東水源阿豆麻夜見レ上西水源見椋山亦見二于前一矣。【九二】○〔鈔〕宇賀川水源亦出二高野山西一昳陽二流宇賀與萬田之中一南入二于

濱一矣。【九三】圖 白毛埼見二于先一、佐香濱……俗作二孛放坂一、己自都濱是亦作二俗字一乎古井津一、御津濱亦作二三津一能呂志濱今只浦也、【九四】鎌浦古今同字。○白毛埼、圖自イ本比ニ一本日ニ作リ一ニ日トアリ、日宅埼カ。秋鹿郡比多社アリ。○己自都。古井津ト云フアリ、○御津濱。三津浦、○能呂志嶋。乃利斯社上文ニアリ。○鎌間。今モアリ（以上標註）○彌豆嶋云云、古本、鈔本彌豆椎長に作る 圖 今十六嶋浦此嶋。紫菜者優二諸嶋一故每歲季冬月課而充二于貢一世稱レ之爲二紫菜之上品一也。○許豆浦今古津浦也。圖 彌豆嶋、今十六嶋浦、ウツプルイト云フ。○許豆嶋。上文許豆社アリ、【九五】物部ハ、饒速日ノ裔ニ連アリ、臣ノ姓ハ別姓ナリ、○高善史未ダ考ヘ得ズ。（以上標註）史古本イニ臣ト有リトス【九六】出雲郡圖 按出雲與二楯縫一兩郡之分地以二宇賀川一爲レ限、出雲與二神門一兩郡之分地以二出雲川一爲レ紀矣。蓋出雲川折西流之日定二于楯縫四郷出雲神門各八郷一也。其後此川東行以來割二杵築郷宇隙佐伎宇龍日御崎漆濱園村等一除二出雲郡一入二于神門一分伊努郷、美談郷、宇賀郷、及國富川、下唐川井香浦等一除二出雲郡一入二于楯縫一也。今以二健耶郷、漆沼郷、河內郷、出雲神戶里等所二正定一于出雲郡中一而此中河內郷中亦自レ川以西上郷船津村等今猶神門郡中也。【九七】健部郷 圖 此郷併二於神庭、羽根、武部、學頭、吉成等一以爲二一郷一神庭中有二字夜村一、按本文六箇耶字當レ作二部字一耶景行天皇時置二處處于健部一故本朝姓氏錄有二健部氏姓一知字夜上古稱景行後以二健部一爲レ郷者歟、記趣爾見矣。今此郷北有二庄原、久才、福富、黑目、瀬洲、中村等一云云 圖 神庭村字晏谷、ウヤノ里ニマス神ヲウヤツベ命ト云フ。○山ハ神名樋山ノ外ナシ。○皇子倭健命ノ武功ヲ忘レザル爲

ニ健部ヲオカレシナリ。○神門臣ハ穗日命ノ末ナリ、古爾ハ崇神紀ニ出雲振根トアルニ似タリ。此ハ神門臣ナル氏ヲ健部トシテ御名代ニ仕奉ラシメシナリ。（以上標註）【九八】漆沼郡〔參〕以二上下直江村一爲二漆沼郷一有二郷北、中原、坂田、三部市一此等村落亦古有、或入レ海或滂レ池經レ年久而後成二新田耕戸一耳。云云。〔圖〕村ニ漆沼大明神祠アリ、○〔圖〕天津枳値可美ノ枳値ハ、城築ノ約チナリ。可美ハ神ナリ、天御鳥命ノ宮造リヲ稱シテ城築神ト云ヒシニヤ。永福云、古事紀垂仁段ニ出雲國造之祖名岐比佐加美トアリ。コノ人ヲ土俗ノ傳ニアヤマリテ神魂命ノ御子ト云リシニモヤアラムト云ヘリ。○〔圖〕薦枕ハ、蔣ヲ束ネ枕スルコト、志都沼ハ靜寢テフコトナリ。値ハ、彥チ老翁ナドノヂニ同ジ。【九九】河内郡〔參〕此郷并ニ伊保、岩階、阿宮及神門郡中上郷、船津、中島等一以爲二河内郷一也。記書二上阿宮於日儀村一又書二船津於布日美降一矣。〔圖〕河内郡ハ斐伊河ノ東ニアリ云云、○〔參〕出雲郷即古文郡家、其所レ在者求院與二出西一之中間、併二乎求院出西富村氷室神守等一以爲二此郷一也。○杵築郷〔參〕則杵築大社所レ座故曰二杵築郷一。杵築中有二宮内越峠市場中村大土地小土地赤塚假宮名一假宮濱曰二伊耶佐一所謂狭御雷神天鳥船神降二到出雲伊耶佐之小濱一蓋此處也。又按本牟智和氣御子行二啓于出雲大社一之時、國造於二肥川下一仕二奉假宮一獻二大御食一云、故曰二假宮一者也。此外兼二合日御崎、宇龍浦、佐侫浦、宇峠浦、湊濱、園村等一都以爲二杵築郷一也。按書二神書于常世郷一者蓋今常松村事乎。古老傳曰。八九十年前有二此地于松老木數百株一故云二常松一意可レ在二此村于少彥名社一而不レ加二於修治一遂以廢替耳。且延喜式風土記所レ載之社亦往往失二於其名一强或曰二八幡一、或曰二權現一或復曰二某某社一者蓋不レ鮮矣。此社將

成權現乎、將成八幡乎。呼可勝歎哉。○吉田博士云。杵築郷……神戸里二里……（この神戸は杵築の神戸の事なれば杵築郷の隣と想はる。郡家西北二里とあれど、地形合はず、二里の上に廿字を脱せるか（地名辭書）【一〇〇】伊努郷 國 并予東西林木村及神門郡高濱村中、久佐加村、矢尾村、石臼村等以爲伊努郷也。有西林木伊努谷大明神社。此邊者古爲出雲郡今則入楯縫郡也。○美談郷 國 并美談今在家村以爲此郷也。盡今在家村與美談村諸本同村。然出雲川東流後隔爲異村耳。故美談入楯縫郡又今在家附出雲郡矣。○和加布都努志命 國 コノ神ハ經津主神ト、別神ナルコト上ニ云ヘリ。國 領田ノ長ハ、ミシロタノカミナリ。皇神ノ御刀代、トアルシロニ同ジ。仁德紀ニ屯田司トアルガ如シ、美談ハ、御田持ノ約リナ、リ。此神大穴持神領田ノ長トナリテオハシケン、此郷ニ和加布都努志社アリシガ、今ハ知ラレズ。○宇賀郷 國 此郷以宇賀爲本郷并予東南國富、西唐川、別所川、下井呑等所以爲宇賀郷。謂黃泉穴在川下村西磯又有宇迦山如非之岩穴直下深不可計知俗又呼曰云之黃泉穴。所謂伊弉册入此穴矣。（後略）國 宇賀郷ハ、今日奥宇賀村ヲ本郷トス、綾門日女ハ、玉之邑日女ト同ジ。○讀ハ婚又娶ノ字ノ誤ナルベシ。此神ノコト神門郡朝山郷ニミユ、○黃泉國ハ、死タル人ノユク所、言ノ意ハ夜持、モチノ約ミナリ、夜ノ食國ヲ治ルヲ月夜見命ト云ニ照合セテ知ラル。イザナミノ神、神去マシテ、諸神追行マシシ所ヲ、古事記ニ、追往黃泉國ハ、追到黃泉比良坂之坂本トモイヒテ、所謂黃泉比良坂者、今謂出雲國之伊賦夜坂也トアリ。伊賦夜坂ハ、國ノ東ニテ、意宇郡ニ揖屋村、揖屋社モアリ、黃泉之穴ハ、國ノ西北海邊ニアリテ、揖屋トハ異所ナ

リ、實ハ殯斂ノ處ヲ云ナリ、初又根ノ國トモ云フ。書紀ニ素戔嗚尊云云、不レ可レ住二於天上一、亦不レ可レ居二於葦原中國一、宜三急適二於底根之國一云云、次ニ是時素戔嗚尊自レ天而降、到二於出雲國一云云古事記ニモ、欲レ罷二妣國根之堅洲國一トアリテ、降リ玉ヒシ地ハ、出雲國之肥河上トアリ、出雲ヲ黄泉國トモ、根國トモ云ヒシハ、伊邪那美神ノ神去玉ヒシ國ナレバナルベシ ○神戸里圖併二於神立、千家、北嶋、汴上、別名、鳥屋村等以爲二神戸里一。云云 ○新造院圖拔布彌之所レ造者河内鄕上鄕城上寺觀音堂蓋是也。云云 [illegible]佐宜鹿ハ名根、遙堪、高濱、林木、國富一、而北到二宇迦川下一西過二井呑宇峠一、鷺浦宇龍日御埼一亦復還二旋于杵築一其迴レ繞路程凡今十六里有餘。書二舊事記、古事記、宇迦山、日本紀熊成峰一、蓋皆此山。俗呼曰二不老山一、又號淵山一是也。作二或本西北於正西一、蓋非。以二郡家路尺考一レ之相二隱大抵杵築今彌山足フモト一此宇迦山第一峰也。云云 [illegible]寛云。熊成ハ新羅ノ地ナルベク思フコトアリ。

【一〇九】神名火山圖此山在二于出雲鄕氷室村一、俗呼曰二佛經山一也 ○出雲御埼圖此山自二杵築一、始東歷二菱

【一一〇】出雲大川圖出雲川、河源鳥上山。在二雲伯兩州界仁多郡横田鄕竹埼村一。俗呼曰二船通山一是也。所謂素戔嗚尊帥二其子五十猛神一降二到於新羅國一遂以二埴土一作レ舟乘レ之東渡到二出雲國簸川上所在鳥上峰一蓋今船通山也。即祭二横田鄕子五十猛神一俗云二伊賀多氣大明神一此川出二仁多大原一郡一到二多義村一多義村今上阿宮村。自レ此經二河内出雲二鄕一自二伊努鄕一西折歷二伊努杵築二鄕一會二神門水海一云云以レ今視レ之從二西林木伊努谷側一西轉屈經二武志、高濱、栗津、堀江、常松、菱根池一自レ其南過入二南江田矢嶋濱村松下荒木園村大嶋村一入二于神西水海一西飯入二于大海一也。此川或曰二簸川一或曰二肥川一

又或曰二斐伊大河一是也。【一一二】意保美小川 鈔 出雲御埼山指二宇迦山第一峰杵築今彌山一此川出レ自二此山一至レ末合二流鰐淵寺川一北流入二于大海一也。○頂池、古本、鈔本池。江頂池に作る。鈔 池。江頂池、須須比池、西門江 【一一三】大方江、二江、此等水澤湊池蓋閒在二出雲郡三部市久木庄原海邊一歷レ年久而遂爲二耕治平原一耳比太海埼楯縫郡古津浦、川下浦之堺、川下古爲二出雲郡一今入二楯縫郡一意保美濱卽川下浦。有二此海中氣多嶋一舊事記所謂氣多崎蓋此處耶。【一一四】井呑濱、宇太保濱、古共出雲郡。井呑今神門郡界而楯縫郡中。宇太保今楯縫郡界神門郡中也。今井呑作二豬目一宇太保作二宇啼一。蓋本朝俗字隨レ應書レ之、正無二一定式一不レ可二拘束一也。大前嶋聞嶋在二宇啼鷺浦閒一。又鷺浦宇禮保浦御埼濱等亦其古出雲郡今入二神門郡一俗宇禮保作二宇龍一御前作二御埼一也。黑嶋、米結、爾比埼在二鷺浦、宇龍浦閒一子負、大埼兩嶋在下宇龍與二日御崎一之閒上御厳嶋、御厨家等等嶋共在二日御埼海中一此中等等嶋蓋今舳嶋而自二日御崎一在二以西海中一杵築御埼漁子於二此磯邊一捕二鰤魚一勝二其佳味諸浦所レ出之魚一故充レ貢、而賜二米穀一應二鰤魚大小一各有レ差矣。怪聞埼、意能保濱、栗嶋（○田 鈔 栗ニ作ル）黑嶋、這田濱、【一一七】二俣濱、門石嶋等自二御埼一到二杵築伊奈佐濱一之嶋嶼濱磯也。伊耶佐以南經二赤塚湊濱等一直至二薗松山邊一矣。解 頂池 ○按ルニ古本ニ江頂池ノ一條ナクテ土居池周二百卌步トアリ。○薗 解 薗ハ意宇ノ文ニ薗之長濱トアリ。神門郡ニ薗松山トアリ、○通路云云 鈔 古者曰下出雲郡與二意宇郡一之界佐雜埼堺谷上有二之今者伊自美村一入二于意宇郡一則以下伊自美與二學頭村一之中路軍原上已爲二二郡界一也。【一一八】神門郡堺云云 鈔 神門出雲二郡今猶以二出雲川一爲レ堺也。云云○通大原郡云云 解 多義

村今上阿宮村　○通楯縫郡云云　鈔古者以二宇加川一爲二出雲楯縫二郡界一今則以二出雲川一爲レ界也。○大臣ハ多氏ニ同ジ、神武天皇皇子神八井耳命之後ナリ　【二二〇】神門云云　鈔有二古志川東側舊墓一俗呼號二神門塚一蓋昔在二神門臣等一葬埋之地乎、往往而今有二神門氏者一往古神門等之裔孫乎。或土民或巧匠等也　纂神門ハ神ノ御門ヲ云ン。○神門貢トハ、蓋大穴持神ノ御門ヲ此地ニ造貢リシナラン。本宮ヨリ遙ニ遠ク拜ノ御門ヲ建タルナリ。紀伊ノ熊野神社ノ御門ハ、今道二里餘ヲ隔テ、大和國立野神社ノ御門ハ、一里餘ヲ隔タリ。寛云。我常陸ノ鹿島神社ノ神門モ、神社ノ北二里餘ノ神戸ガ原ニアルナリ。○神門臣ハ、姓氏錄ニ出雲臣同祖天穗日命十二世孫鵜濡停命之後也トアリ。コノ神門ヲ造リ貢リシヨリ、負ル氏ナルベシ。【二二一】○朝山鄉鈔古之五里五十六歩今之卅町五十六間卽神朝山村當矣。相二合西馬木東宇奈手、南野尻、稗原等一以爲二朝山鄉一也。此記書二朝山鄉里二一其一者以二野尻、稗原、宇奈手一爲二一里一。其一者以二馬木村一爲二一里一者也。今俗呼二朝山廿五ヶ村一稱二下朝山一之諸村者蓋中葉以レ有二朝山氏某私領廿五ヶ村一故曰二朝山廿五箇村一者也。然實古之朝山鄉先之五箇村耳。○纂眞玉着ハ、萬葉ニハ、緒トツヅク冠辭ナレド、此ノ玉ノ群トウケタリ、着ハ、玉ヲ飾リ着ルヲ云。○纂眞龍云。出雲郡宇賀鄉ノ綾門日女命、島根郡美保鄉ノ奴奈宜波比賣命、仁多郡戀山ノ玉日女命トアル綾門日女ト玉之邑日女トハ、御親モ同ク夫ノ神モ同ジ。奴奈宜波比賣ハ別神ト思ハルレド、朝山ト高志トハ、通ヒ玉ヒシ所、同地ナリ。阿伊村ニ坐玉日女ト、朝山ニ坐玉之邑日女ト、地ハ異ナレドモ全ク同ジ神號ナリ。○置郡　鈔此鄉以二塩冶村內伴部、大井谷、馬場、神原等地一併爲二置鄉一也。蓋中

世掌塩冶氏之國與之日其族等分散於高岸、塩冶、置郷三處以結茅宅故忘矣置、高岸舊號惣以稱塩冶郷焉耳。[解]日置郷、舊印本置郷ニ作ル。今一本ニ據テ補フ。下文亦同。鈔云。云云。寛云。日置伴部ガ此ニ來リテ、政ヲ爲セシトアレド、日置ノ職掌、未ダ明ナラズ。【一二二】塩冶郷[鈔]即并塩冶村内貝谷、今市、大津等以爲塩冶郷且來原(クルハラ)、石塚、中村等亦大津屬村也。此郷以北可レ爲武志、大塚、渡橋邊亦此郷中且又荻原、杤嶋、稻岡、高岡等諸村者蓋古出雲川西流日或中流或洲渚此川東落而後素波變而揚紅塵耳。(中略)又古事記曰大國主命葦原中國者隨天神御子命獻百八十御子者御尾前坐八重事代主命奉レ仕而後百不足八十坰手隱隔時出雲之於多氣志小濱造天之御舍而。水戶神之孫櫛八玉神、爲膳夫獻天御饗今在武志村乎膳夫大明神蓋其故也。○八野[鈔]此郷併矢野、白枝、小山村等以爲八野郷也。白枝以西松下村古之神門水海中心。其後埋而成編戶桑田耳。[解]妻ゴモリノ屋ヲ造レルヨリ、八野ト云シナレバ、八ハ借字ニテ屋ナリ。○高岸郷[鈔]相當塩冶村。俗云。高西邊併西大神村東北渡橋村中阿利原以爲高岸郷先所謂塩冶之諸士成此邊家宅而後弃高岸名惣云塩冶者也。[解]此神、晝夜哭坐シコトハ、仁多郡三津郷ニミユ。神門郡ニ生レマシテ、年經テ住ミ玉ヒケン。書紀ニ此神ノ劒ヲ神戶劒トアリ。神戶ハ神門ニテウチシ劒ナルベシト云ヘリ。○古志郷[鈔]古志郡家者從今弘法寺六町西北田中、俗呼言レ鄕處則是也。并古志蘆渡、知井宮等以爲古志郷所謂日淵川者蓋蘆渡與知井宮之界俗呼曰保知石川是也。云云。[解]古志ノ名ハ、狹結驛ニ、古志國佐與布ト云人來居云云、其所以來居者、如古志郷也トアレバ、其人來リ堤ヲ築キ

ジ時ノ宿所ナレバ古志ト名ケシナリ。又此人ノ名ヲトリテ狹結トモ云リ。意宇郡、母理鄉ニ、大穴持命越八國平賜而還坐トアレバ、古志人モ此ニ來リシナリ。○〔標〕鈔、古志村、保知大明神、爲二氏神一、是則伊弉那彌命也、トアルニ由アリ。寬按ニ、本文伊弉那彌命之時ノ文、解シガタシ、伊ノ上ニ祀ノ字ナド脫タルニハ非ルカ、恐クハ郡家ヲ設ルトキニ、始テ此神ヲ祀リシナラン。○滑狹鄉〔鈔〕自二郡家一今之一里十二町者卽神西村市場當焉。北之於二一部、三部、常樂寺村、畑村等一以爲二滑狹鄉一謂滑磐石卽在二神西村岩坪山一岩坪社而高倉權現之所レ座是則祭二須世理與二穴持一之處。乃記所レ載之式內奈賣佐兩社是也。且有下日二神西子神待一之處上。蓋聞大穴持命通二須世理姬一之時相待姬於此處一故名焉。記式內所レ載之波加佐、式外之波加佐、共神待社也。云云。〔標〕滑狹ハ、滑磐ノ約、シハノ約ハ佐ナリ。○〔標〕古事記ニハ須勢理比賣ノ居所、詳ナラヌヲ、此風土記ニテ、ココニマシシコト明ナリ。○多伎鄉〔鈔〕卽口田儀市膺焉。然則併二於奧田儀、口田儀、小田多伎、久村(クムラ)等一以二多伎鄉一也〔標〕阿陀加夜ハ、地名ナルベキヲ略キテ、今ハ加夜堂ト云、出雲ノ字ヲ國人アタカヤト訓、此名ハ俗言ニノミ殘レリ、此神ノコトヲ古事記、大國主神娶坐胸形奧津宮神、多記理毘賣命生子阿遲鉏高日子根神、次妹高比賣命、(本名下光比賣)トアリ。高比賣ハ阿陀加夜比賣ナリ。○神戶里〔鈔〕自二郡家一東南今一里廿四町乃、所原(トコロバラ)村中今則日二神所一蓋此地也。云云○餘戶里〔鈔〕今橋波村當焉。然則幷二於橋波、吉野、高津屋東村、八幡原、一窪田、佐津目、山口等一以爲二神戶里一也。按和名鈔幷二上諸村一以置二伊秩鄉一【一二五】狹結驛〔鈔〕狹結驛。則古志鄉、今古志市是也。○新造院〔鈔〕神門臣之所造者蓋今神門寺也。○刑部臣云云。〔鈔〕刑部

等之所造蓋今弘法寺乎、自二郡家一方路實充焉。云云。【二二六】吉田博士云。知伊神社。風土記知乃に作るは誤れり。三代實錄、貞觀十年幷に十三年の條に知伊とあるに因り正すべし。式內の官社なり。後世誤りて知井宮と呼び、遂に知井宮村を立つ（地名辭書）【二二七】○田俣山【鈔】此山者在二乎乙立村一俗曰二田代山一是也。○長柄山【鈔】此亦乙立村山名 ○吉栗山【鈔】此山伊秩鄕一窪田村久利原山是也。有二所足一乎。所レ造二天下一大神御子阿大加夜主命社矣。○宇比多伎山【鈔】在二神朝山鄕一山名合二祭所謂眞玉著玉之邑日女命子一大穴持命之社呼曰二宇比瀧大明神一是也。○稻積、陰山、稻山、梓山、冠山、【鈔】此五山、按皆宇比瀧在二右山一耶。而未レ詳【陰】陰山、信友按、下ノ冠山ヲ大神之冠也トアルヲ思フニ、此陰字カゲト訓ムベシ、其大神ノ御頭ノ裝ノ御蔭ナルベシ。持統紀ニ、華縵ヲ此曰御蔭トアル是ナリ。○舊印本、陰ヲホドトヨメルハ誤レリ。○稻山下注文ノ也ノ字、一本ニヨリ補フ。○桙山、舊印本、梓ニ依ル、今一本ニ據。○御稻桙、舊印本御梓ニ作ル。今一本ニヨリテ訂ス。○眞龍云。此郡ハ所レ造二天下一大神ノ所由ヲ殊ニヨク傳ヘタレバ、上件ノ山山モ、今少シ傳アルベキヲ略キタルカ。蓋此所ハ大神ノ本宮ナルベシ、コノ五ツノ山ノ所由ヲ試ニ云ハン。先大穴持神顯ハニ事去給テ後ノ祭祀ヲ、古事記、櫛八玉神化レ鵜入二海底一咋二出底之波爾一而鎌二海布之柄一作二燧臼一、以二海蓴之柄一作二燧杵一而鑽二出火一云。是我所レ燒火者云云トアルヲ思フニ、神代ノ趣ヲ云ハバ、宇比多伎ハ、鵜火燒ニテ、櫛八玉神、御屋ハ竈ニテ、其火炬屋ノ山トナリ。陰ハ天ノ御蔭日ノ御蔭トカクシ給、御陰ノ陰山トナリ。梓ハ御採物、其梓ハ保巳山トナリ、冠ハ御裝束物、其冠ハ加夫利山トナリタル古ヘノ傳ナ

ルペシ。(以上標註)　【一三二】神戸川。古本、鈔共に神門に作る鈔神門川、水源出レ自二飯石郡來嶋郷赤穴里一、由來村琴引山一日二琴神山一是也。間立村橋波村、神戸里所原村、水海神西湖水也。○大門立、古本、鈔本間土村に作る標註大門立ハ今乙立村也。○多岐小川鈔多岐小川今田儀川……多岐岐山卽田儀村深山也。○宇加池……古志郷宇加地是也。笠柄池……在二古志郷知井宮一。俗云。阿佐加羅池是也。來食池……未レ知二其處一。刿屋池……在二只谷一防堤是也。神門水海郡家正西……蓋夫遠二今人村落一以量二古之碧湖大哉一(中略)薗松山社蓋意美豆努命。而俗呼言二妙見社一是也。云云　【一三三】鈔出雲河卽今大津之川堰也。飯石郡界堀坂山郡家十九里今三里六町。神門郡神戸里、所原與二飯石郡一之界。須佐郷朝原村總左加山是也。【一三四】石見國安濃郡界多岐岐山……卽奥田儀村山也。同州川相界……山口與二石州多根一之略與。標常有剗ハ、下文ニ常剗不レ有ト相對シテ、平常ニオクト、臨時ニ設ルトノ別アリシトミユ、○神門臣ハ、上ニ云リ、○鈔云吉備部臣ハ、出雲郡神名火山坐伎比佐賀美ノ末カ、又國造之祖云二伎比佐都美一モアリ。蓋吉備國所生ノ人カト云ヘリ、イカガアラム。【一三五】仁多郡古本、鈔本、飯石郡を仁多郡の先に出せり。鈔謂所三以號二仁多一者由レ詔レ有二尒多志積小國一也。今見有二横田郷竹埼村田嶋之中曰二小國一之處上呼餘三玄古稱名一識以異乎哉。○標標判を標刺ニ改メテ云ク。信友按。判ハ刿ニテ刺ノ古體ナリ。其ヲ寫シ誤レルニテ例多シ。サテハ木積刺加布ハ、キノホサシカフトヨムペシ。阿志婆布ハ、阿ハ虚詞ニテ芝生(シバフ)ナルベシ、芝生ヲ處トハイカガナルヤウナレドモ、芝生ト云ナレタル上ハ、オノヅカラ總(○轉カ)言トナリテサ

モ云ベキナリ。トアルニテ、舊印本ノ判字ハ、刺ノ誤ナルコト著ケレバ訂セリ。〇爾多志枳ハ濕有ヲ云、樋經郡沼田鄕ニ、乾飯爾食坐トアル爾多ニ同ジ。此川水乾カズ、濕地ナレバナリ。【一三六】三處鄕 圖 此鄕合二于上下三處村高田佐村琴枕高芝久比須中湯野西湯野梅木大內原加食乙多塩原角木石原里川馬馳矢谷廣瀨湯野原神畑郡村等一以爲二三處鄕一也。久比須村北有二比太村一今入二能儀郡一〇布勢鄕 圖 此鄕上布勢、下布勢、前布勢、佐白、八代、中村、共合以爲二布勢鄕一也。按號二大己貴命於葦原色許男一自レ木國大屋彥神之處一八十神見レ追來二于此國一之時相二婚乎須世理比賣命一而使三大己貴寢二臥其蛇室一乃處者蓋可二今之布勢鄕一耶。云云。〇三澤鄕。古本、鈔本澤ニ作ル 圖 此鄕併二湯村、棚屋、北原、尾原、石村、比羅田、下鴨倉、上鴨倉、四日市、原田、鞍掛、乙社、大吉、川內、三成、堅田、大谷、高尾、大馬木、小馬木、下阿位、上阿位、等廿三所一以爲二三澤鄕一也。和名分二上下阿位、大小馬木、大谷、高尾六所一以別置二阿位鄕一也。〇 圖 御須髮八握于生ハ八握ヒゲノ生ル年頃ニ至ルマデ、言語シ玉ハヌナリ。〇神門郡高岸鄕ニ此神ノ晝夜哭座コトアリ、〇御祖命ハ、御母ニテ、多紀理命ニマセリ。〇宇良加志ハ、由良加志ナリ、ユラ〱スルヲ云、信友云、宇良加志ノコトヲ、奥沖雜記ニ云、世ニ幼キ兒ヲテウラカスト云フハ、コノ宇良加志トアルニ、手ヲ加ヘテ云ニヤ、日本紀ニ、推字ヲウツラカスト訓リ、ウラカスト云モ、コレニ同ジキニヤト云リ。信友按、神代紀下ニ、火酢芹命溺苦ノ狀ヲ記サレタルニ、初潮漬レ足時爲二足占一トアル占ハ、假字ニテ、足ヲ宇良加セル由ナルベシ、テウラカスト對ヘテ辨フベシ。〇御津ハ、津ニテ、水有所ヲ云フ。此ハ御子ノ言ニ、御津ト云フ詞ヲ申シ玉ヘルナリ。

○石川ハ、阿伊川ヲ云ナルベシ。川ト三津郷ハ同所ナリ、サテ御子ハ御祖神ノ前ヲ立去リテ、坂上ニ至リ
テ、此處ト申シ玉ヘリシナリ。○國造神吉事奏ハ、續日本紀、元正天皇靈龜二年ニ初テ見エ、其詞ハ祝詞式ニ
出ヅ。○其水汲出而用初也トハ、祓禊ノ水ニ用ルナリ。○産婦云云ハ、其村ノ稻ヲ食ヘバ、生ルル子、年經
テモ哭テ、言語セザルニ似ムコトヲ忌ミ、國造ハ命ノ沐浴シテ、直（トホ）ビ坐シニ習テ、ミソギノ地ト定メシナリ。
（以上標註）【一三八】横田郷〔誌〕此郷合ニ竹埼、代山、中帳、五反田、馬場、角村、横田市、大曲、下横
田、原田、樋口、稻田、久羅屋、福頼、八川等十五處一以爲ニ横田郷一也。……謂四段計田者蓋可レ爲ニ今五反
田一歟。此山中有ニ岩屋一。云云。〔考〕今モ郷中ニ横田市、下横田等ノ村アリ。島（○鳥カ）上山、室原山ニ近
シ。𤲬足ナヅチ、手ナヅチノ神ノ住ケム地カ、其女稻田姫ノ稻田ハ、コノ地ニテ、郷中ヲ流ルル川ハ、實ニ
斐ノ川上ナリ。【一三九】鳥上山〔誌〕此山詳ニ于上一〔考〕横田郷竹崎村ノ山○〔誌〕室原山備後國油木村與ニ横田
郷八川村一堺山名。【一四〇】灰火山〔誌〕灰火大谷與ニ小馬木一之中間山名。○遊託山〔誌〕遊託阿阿位郷大馬
木村山名。自レ是隣ニ備後國乙原村一此山俗呼曰ニ仙山一。○〔誌〕御坂山、上阿位郷呑谷山。是則雲州與ニ備後國高
野山一之境也。近來樵㗊之工居ニ此邊一焉。故俗呼曰ニ木地山一○志努坂野〔誌〕志努阿位郷高尾村塔坂名。○玉
峰山〔誌〕此山鑿嵩山。〔標〕玉峰ハ、三處郷湯野村ニアリ。○古語拾遺神武天皇條云、櫛明玉命之孫造ニ御祈玉一
其裔今在ニ出雲國一毎レ年與ニ調物一貢ニ進其玉一。【一四一】城紲野〔誌〕此野在ニ于三處郷加食村與ニ横田郷大曲之
間一。〔考〕飯石郡城垣野ト方里同ジ○大内野〔誌〕此野三處郷今俗曰ニ大内原村一是也。〔標〕大内原コレナリ。○晉火

野【鈔】此野卽跨ニ郡村高之村三處上ニ下角木石原乙多七處ニ丘瀧驕野。俗呼ニ日光山ト。○綠山。【標】日ニ阿位鄉高尾村俗志多布留山ニ是也。此處河口斷層堆重崎嶇險岨。所謂玉日女命以レ石塞ニ河口ニ鰐魚不レ得ニ登之處到ニ乎此險ニ鰐怖而震ニ舌端ニ遂退矣。故俗傳曰ニ舌振山ト也。云云。○【標】高本ハ、恐ハ蒿本ノ誤。【鈔】本高、覽に作る。○山鷄、古本、鈔本、山鷄、鴾に作る。【標】山鷄舊本鷄ヲ脫ス。今一本ニヨル。○横田川云云。古本、鈔本は室原川云云の記事横田川云云の前に在り。○横田川【鈔】横田川來ニ横田鄉八川村ニ北流於ニ横田市側ニ合ニ室原川ニ云云○室原川【鈔】室原川出ニ横田鄉竹崎鳥上山ニ於ニ横田市側ニ與ニ八川ニ合而北流鳥上山見ニ于上ニ。○【鈔】灰火小川來ニ阿位鄉大谷村ニ其下流合ニ横田川ニ也。○阿伊川【鈔】阿位川水源遊託山見ニ于前ニ北流下樋合ニ横田川ト。云云。○阿位川【鈔】此川水源御坂山亦見ニ于右ニ北流入ニ横田川ト。云云。○比太川【鈔】此水源玉峰山見ニ于左ニ。此川經ニ飯梨鄉布部富田古川矢田等ニ來ニ松井村野城社邊ニ飯梨川源三、是其一也。【一四四】湯野小川【鈔】水源玉峰山如レ上。此川經ニ市湯野、梅木、大內原、湯野、神島、三成等所ニ入ニ横田川ニ也。【標】駱驛ハ恐クハ絡繹カ。○通道、【鈔】飯石郡界漆仁川邊……大原郡界辛谷……今槻屋村是也。伯耆國日野郡堺阿志毘緣山…… 蓋横田鄉代山村東邊與ニ伯州大營村ニ堺也。備後國惠宗郡界遊託山見ニ于上ニ此山入ニ備州乙原村ニ也。……同惠宗郡比布山……上阿位村吞谷山入ニ備州高野山ニ也【標】阿志毘緣山ハ今伯耆日野郡阿毘緣アリト云、コレニヨラバ緣ハアヤマリナリ。○比布山ハ、伯耆國界比波山トアル山ナリ。○品治部ハ、垂仁天皇ノ御子、本牟都和氣命ノ御名代ニ定ニ品遲部ニトアリ。【一四六】飯石郡【鈔】此郡家者多根鄉掛谷村中今呼曰レ郡之處是也。從レ此郡中方路相

濼矣。○合郷濼【鈔】按此記七郷、和名抄置二田井、草原二郷一共以爲二九郷一也。○【解】伊毘志都幣ノ名義ハ、否備鐲米ナリ。穂日命ノ御子大背飯三熊之大人ノ亦名ナルベシ。此神トツ國ヲ平和ニ天降玉ヒシコト書紀ニミエ、事代主神ヲ問ハセ玉フ文ニ故以二熊野諸手船一載二使者稲背脛一遣トアリ、三穂埼ニ至リテ、事代主神ノ諸否ヲ問ヒ玉フヲ、名ニ負シナリ。【一四七】熊谷郷【鈔】下熊谷村當焉。合二之於上熊谷村一以爲二熊谷郷一也。【解】久志伊奈太美等與麻奴良比賣命、信友云。字ノママニ讀ベシ、久志伊奈太美ノ美ハ支ノ通音ニテ、櫛頂（クシイナダキ）ノ義、卽稲田姫ノコトナルベシ、等與麻奴良ハ、稱言ナルベシ。○久々麻々ノ久麻ハ木葉ナドノ立茂リテコモリカナルヲ云ヘリ。【一四八】三屋郷【鈔】此郷合二三刀屋市、給下村、伊萱、安田、尾崎、栗谷、殿川内大谷屋內法師田里坊等一以爲二一郷一和名抄置二草原（カヤハラ）郷一今三刀屋市東俗呼有レ云二萱原一之處下然卽分二萱原、三刀屋市、栗谷三處一以爲二草原郷一以二餘北處一爲二三刀屋郷一耳。【解】今三刀屋市アリ、三屋ハ御門屋ヲ二字ニ約メタルナリ。○飯石郷【鈔】此郷幷二多久和村、中村六重、神代、川手村等一以爲二飯石郷一於二多久和村川邊一有二礒石一所謂伊毘志都幣降臨石也。○多禰郷。【鈔】此郡家如二先所レ言之多禰郷掛谷村。然卽倂二掛谷、多禰、松笠、坂本、乙多、田加、食田、掛谷、宮內村、吉田村一以爲二一郷一。和名抄合二此郷中、吉田、會木上山及仁多郷上阿位中田井須山邊一以別置二田井郷一矣。云云。【解】二神ノ兄弟トナリテ、此國ヲ作リ堅シコト、記ニミエ、書紀ニモ、戮力一心經二營天下一トアリ、ソノ時ノコトナリ。○須佐郷【鈔】以二宮內一爲二郷據一卽大宮大明神社、是須佐能乃命也。倂二之於朝原、反部、大路、原田、入間、竹尾、穴見等一以爲二須佐郷一也。云云。【解】

上代ハ、家村アル所ヲ國ト云シナリ。○[illegible]大神、此處ニ御靈ヲ鎭給ヒテ、御名ヲ負セテ、大須佐山、小須佐田ト云ヒ、其田ノ稅ヲモテ、御靈ヲ祈ルナリ、石木ニ着ケジトハ、御名代ヲヨシナキ物ニハ着ジトテ、地名ニ負セシナリ。○波多鄉〔風〕以二畑村、四津見、八神、角井、刀根、志師村一併爲二波多鄉一蓋畑村都類伎大明神波多都多都美命。故名二于鄉一也。角井村雲石兩國之境佐比賣山麓也。[illegible]波多都美ハ、波多ノ地ヲ持玉フナリ。

【一五〇】來嶋鄉〔風〕此鄉併二來島上中下及赤穴、佐見、由來、花栗、長谷都賀等村一以二爲二來嶋鄉一。○[illegible]伎自麻都美命古事記、大國主神ノ末ニ、速甕之多氣佐波夜遲奴美神ノ子、多比理岐志麻流美神ト、同神ナルベシ、伎自麻ノ地ヲ知シ玉フ故ニ。都美ノ命ト云リ。

【一五一】燒村山〔風〕蓋多禰鄉掛谷村中曰レ郡之處東方山與。今自二郡家一南西十二三町俗呼有レ云二燒山一而與二記文一方路共相轄矣。

【一五二】穴厚山〔風〕去二郡家一今之六町正南有レ山其名也。○笑村〔風〕此亦去六町已西山號也。○廣瀨山〔風〕六町已北見有二此山一矣。○琴引山〔風〕琴引山在二來嶋鄉由來村一俗言言琴神山一山嶺有レ社謂所造天下大神也。[illegible]今モ琴引山アリテ來島鄉由來村ニアリ、コハ古事記ニミエシ天沼琴ヲオキ玉ヘル窟カ、又ハ別ノ琴ナルカ、定メガタシ。

【一五三】石穴山〔風〕石穴山在二赤穴村一此山是跨二備雲石之域一乃鼎二分三箇國之封境一山也。○吉田博士云。石穴は赤穴の誤ならん又……三坂山八十一里云云の八は六の誤ならん。(地名辭書)○幡咋山〔風〕幡咋蓋上來嶋鄉小田深山也。○野見云云〔風〕此等山來嶋鄉下來嶋村山名也。○佐比賣山〔風〕佐比賣山、雲州、飯石郡波多鄉角井村與二石州安濃郡四加久村一之界卽今三瓶山是也。云云[illegible]佐比賣山ハ、山陰道ノ高山ニテ、夏日モ雪ヲ頂ク、世ニ

石見富士ト云、誤テ三瓶（サンベ）山トモ云。○堀坂山〔鈔〕堀坂山須佐鄕朝原村贇坂大明神所座山乃到二神門
郡神戸里所原村一之通路也。○城垣山〔鈔〕是今之民谷村、俗呼曰二宇山一。云云。【一五四】伊我山〔鈔〕此山三
刀屋鄕今之伊加夜山卽是也。○奈倍山〔鈔〕此山薨須佐鄕朝原村、今之名梅谷山如。其是非二郡家東北一乃西北、
爾者東字西之誤寫歟。○猪古本。鈔本、共に楮に作る。〔標〕恐クハ楮ノ誤。【一五五】三刀屋川〔鈔〕水源多
加山備雲二邦之界、吉田村杉戸谷、俗呼曰二伊都禮山一是也。此水下梢入二于斐伊川一。○吉田博士云。「三屋
川……正東一十五里……」とあるは眞源にして、正東一十とあるは、正南廿里の誤なるべし。（地名辭書）
○須佐川〔鈔〕水源琴引山見二于先一此川來二來嶋鄕小田村深山備後國惠所郡界一經二由來村琴引山側一北流過二來嶋
波多須佐三鄕二一下流爲二神門川一也。云云。○〔鈔〕磐鉏川來下來嶋郡赤穴村與二備後國三吉郡横谷一之界上至二
箭山邊一北落過二來嶋八神四澤見一經二神門郡餘戸里上橋浪、一窪田、八幡原一流二乙立村一合二須佐川一赴二于神戸
里所原神朝、馬木、古志一遂入二于神門湖水一也。然出雲大河東折。後神門大湖水涸今才如二夸池一道之神西
水海以レ故此川亦特自二古志鄕一直西赴入二于大海一也。○〔鈔〕波多小川卽波多村川也。水源志許斐畑村山名。
【一五六】飯石小川〔鈔〕此川。飯石鄕託和川。水源佐久禮山在二于六重村一俗呼曰二多岐坂山一是也。經二神代託
和栗谷一合二三刀屋川一也。○通道。〔鈔〕大原郡堺斐伊川邊……從二下熊谷村一大原郡斐伊川之渡頭也。又仁多郡
界漆泉川邊……從二飯石鄕川手村一川東而仁多郡三澤鄕漆仁里湯村等邊也。神門郡與會紀村……自二郡家一以考レ
之蓋四澤見村當矣。同堀坂山……當下須佐鄕朝原村與二神門郡所原村一之界上也。備後國惠宗郡荒鹿坂……多禰

鄉吉田村與二備後國篠原一之界也。三以郡三坂……赤穴與二備州一之界與。〇〔纂〕惠蘇郡ハ和名鈔備後國惠蘇郡、〇常有刻トハ、イツモ刻ヲオクナリ。〇三次郡ハ和名鈔備後國三次（美與之）郡トアリ。〇波多鄉志都美村、〇大弘造、ミアタラズ、疑クハ大私造ニハアラザルカ。【一五九】〔鈔〕大原郡家者謂斐伊……今考自二斐伊郡家一正西……飯石郡三刀屋鄉殿河內村當焉。今此處無二平原一且他郡。所謂大原意不レ可二郡家正西一……正東當二仁和寺與二前原一之間上耶。此處平野曠然樹林蓊鬱。蓋是可レ爲二古之大原一然卽西字東之寫焉必矣、又此原舊者大東下分村兌（ニシ）者大西村離（ミナミ）前原坎（キタ）仁和寺此側有二遠所村一有二幡屋村一。〇神原鄉〔鈔〕是今神原村而有二神寶大明神社一……舊事記曰纏向珠城宮御宇天皇勅二物部十市根大連一曰屢二遣使者於出雲國一雖レ檢二挍其國神一財而無二分明奏言者一汝親行二于出雲國一宜二檢挍定一則十市根撿二定神財一分明奏言矣仍令レ掌二神寶一云 謂神財鄉者 蓋儲積二玄古神代以降神寶於此地一故名レ鄉耳。〇〔纂〕……崇神紀十六年（〇六十年の誤）詔二群臣一曰、武日照命從レ天將二來神寶一藏二于出雲大神宮一是欲レ見焉。云云。垂仁天皇廿六年、勅二物部十千根大連一曰、汝親行二于出雲一云云。十千根大連校二定神寶一而分明奏言之、仍令レ掌二神寶一トアリ。其神寶トモ此鄉ノ神寶社ニ藏リタル時ニ此名ハアリツラム。〇神射積。射、古本、鈔本共に財に作る。〔纂〕財舊印本射ニ作ル、誤レリ。今一本ヲ以テ訂ス（〇財の字標註本に誤りとせるはよけれど。印の附處を誤れり御財積置の處を射と誤れるなり。神財郡の處は印本正し）〇誤下、古本、鈔本故字無し、〔纂〕故マタ鄉共三本ナシ。〇屋代鄉〔鈔〕此鄉併二東西三代一以爲二屋代鄉一西三代出雲大河側神門郡上鄉中和大和村東邊洲渚之地也。〔纂〕東西三代鄉ヲ屋代鄉トス。西三代ハ出

雲大河ノ側和久和村ノ東邊ナリ。信友按、和久和村栥立射處トアル栥ニ由アリ、イクハウクハトモ云、訛リテワクワトモ云ヒ習ヘルナルベシ。〇屋裏郷 鈔 此郷合平宇治、南加茂、加茂中、延野、大竹、猪尾、岩倉、新宮、砂子原、近松、立原、大崎等一十二處以爲屋裏郷也。云云。〇佐世郷 鈔 ……然則併佐世上下大ケ谷飯田鵯加等五所以爲此郷也。〇 圖 今上下佐世村アリ。佐世乃木ハ、和名鈔ニ、鳥草樹、(佐之夫乃記)ト云リ、古事記仁德段ニ、佐斯夫袁佐斯夫能記トアリ、此木葉ヲ舂キテ、其汁ヲモテ衣ヲ染レバ茜ノ色ノ如シ、記ノ歌ニ、曾米紀賀斯流邇、斯米許呂母トアル曾米紀ハ、佐斯夫ノ木ナリ。〇阿用郷 鈔 此郷合於阿用、東西岡村、川合、久野上下及下阿用、淸田、大本原、金坂此等一十一所以爲阿用郷也。云云。圖 今東西阿用村アリ。阿用ハ動ナリ、長谷川菅緒按ニ拾遺物名ニ、ヒボシノアユ、雲マヨヒ、星ノアユクト見エツルハ、螢ノ空ニ、飛ニゾアリケル、オシアユ、ハシ鷹ノ、ヲキヱニセムト、カマヘタル、オシアユカスナ、ネズミトルベク、トアルヱユクハ、阿用ト同言ニテ、動搖ヲ云言ナリ、信友云。東國言ニ、步行ヲ阿用夫トモ云リ。【一六二】海潮郷 鈔 此郷須我村、引坂村、鷹澤、山王寺、南村、北村、小川內村、加利畑村、塩田、箱淵、笹谷、湯村、飛石(トツセキ)村以上一十三所加之於新庄、田中、成木、織部、稲村、大東市、山田村等八箇村惣以爲海潮郷也。此郷中須我里俗呼云諏訪里者訛矣。須我大明神所座故名于地先雖言之夫聳于此從須我里坤去四里餘。於仁多郡佐白村與大原久野村之間八頭坂素尊爲稲田姬既殺八岐大蛇已還來于此里素尊詔我心淸淸遂作宮娶稲田姬生御子號曰須我湯山主命其湯山主命者與大已

貫異名同命。故合祭彼三神於此里曰須我社是也。纂疏曰、淸之湯山主者出雲淸地、有温泉故爲名。

益々信古者在此三社于此地後艮方去四里許徙意宇郡佐草村、今八重垣社是也。所謂押止海潮之神社者

今在南村。[illegible] 宇能治比古命ノ名義ハ、海潮持彥ナリ。奈志保ノ約リ、乃治ハ毛治ノ略。○須我禰命ハ、須

我ノ地名ヲ負フ、禰ハ稱言、比古禰命、兒屋根命ノ禰ニ同ジ。○須我小川ハ、須我山ノ麓ナリ。○湯淵ハ、

今ノ湯村カ（以上標註）○來次鄕 [illegible] 此鄕合于日登東西、寺領、宇谷、來次市等五所以爲來次鄕也。按

……從斐伊郡家到今來次市才十二町。計然或西日登或寺領、宇谷邊可爲來次鄕正中也。[illegible] 八十神ハ、

紀ニ大國主神之兄弟八十神坐トアリ。其多ヲ云テ、御名ハ記サズ、○青垣山ハ、垣ノ如ク引回タル山ヲ云、

堺ヲ廣ク遠ク八十神ヲ追撥ヲ云リ。追撥フ由ハ、古事記ニ、呼謂佰牟遲神白、其汝所持之生太刀生弓矢以、

汝庶兄弟者、追伏坂之御尾、亦追撥河之瀨、而意禮爲大國主神、亦爲宇都志國玉神、而其我之女須世理

毘賣爲嫡妻、而於宇迦之山本、於底津岩根宮柱布刀斯理、於高天原氷椽多迦斯理而居、斯奴也、故

持其太刀弓追避其八十神之時、每坂御尾追伏、每河瀨追撥、而始作國也。トアルガ如シ。○追次

ハ、追ツヅクニテ、俗オヒツクト云ニ同ジ。○斐伊鄕 [illegible] 此鄕□古之郡家也。夫自仁多郡鳥上峰流來水□諸

處小川等入合于此水遂大川。舊記往往言或簸川、或肥川、又斐伊川、又出雲大川諸共此川也。云云。

[illegible]【一六三】斐伊川ノ東邊ナリ、樋速日子命ハ、イザナギ命ノ迦具土神ヲ斬シトキ、成マセル神樋速日神

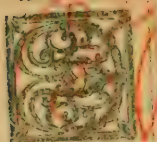
アリ。倩友云。樋速日子ハ、ヒノハヤヒコトヨムベシ、ヒノ一言ヲトリテ、地名トセルモノナルベシ。○新

造院一所在斐伊郷云云 〔鈔〕 斐伊與木次之間路傍之茅堂、蓋勝部虫麻呂之所造之舊地乎。○新造院一所、在屋裏云云。〔鈔〕 押嶋之所造造院者蓋屋裏郷大竹村光明寺耶 〔標〕 光田寺歟トス。○〔標〕 今少領ハ、連署ニ少領外從八位上額田部臣トアル人ナリ。【一六四】伊斐郷人云云。〔鈔〕 樋伊支知麻呂之所造招提者自斐伊往反于東北佐世村之徑路茅堂是彼之舊跡乎。〔標〕 樋伊ハ氏ニテ支知麿ハ名ナラム。【一六六】菟原野 〔鈔〕 斐伊川滸可三町以東俗曰曾羅山八幡宮所座山是也。○城名樋山 〔鈔〕 斐伊郷古城山。東北者皆山已東小川已西大河、曰比山邊於鐵埼是也。〔標〕 信友按ニ、城名樋ハ、城並ニテ、城ヲ並造玉タル由トキコユ。【一六七】高麻山 〔鈔〕 高麻山在屋代郷三代村俗呼高塚山謂青幡佐草彦社在山之上頭。云云。〔標〕 信友云。咕ヲ日子ト云字トセルコト、例ヲ見ザレドモ、麻呂ヲ麿ト一字ニ書ナラヘルガ如ク、古書ニサル例多シ。皇國ノ一書法ナリ。○須我山 〔鈔〕 須我山海潮郡神明座山、俗呼曰保宇奈塚山是也。云云。○船岡山 〔鈔〕 船岡山在海潮郷北村與南村之間今船山是也。云云。〔標〕 阿波枳閉委奈佐比古命ハ未考意宇郡和奈佐山アリ。○御室山 〔鈔〕 御室在海潮郷飛石村山名 〔標〕 御室ハ、須我ノ宮所ナルベシ、記ニスサノヲノ命宮可造作之地求出雲國爾到須賀地云云、其地作宮坐、故其地者於今云須賀。○白芴說月、古本白芍說日に作り鈔本白苟說日 〔標〕 一ニ芴ヲ芍ニ作リ、說月ヲ說明ニ作ル、按白英澤明カ　【八六ウ】 海潮川 〔鈔〕 水上者來意宇郡界小川內村刈畑村於北村南村之中間合于須我川西流川也。○須我小川 〔鈔〕 此川水源者出意宇郡熊野村界高錺山與忌部村界佐井谷之兩處合流來須我村於南村側又合海潮川西走川也。吉田博士云。出須我山西流。とある西流は南流の

誤なるべし。此川海潮川に合ひて初めて西流す。云云。【一七〇】佐世小川 鈔 佐世小川出二西阿用久野谷 解
谷一經二大ケ谷佐世鄉畑立原數所一合二須我川一也。〇稀屋小川 鈔 此川小水源三、其一出二遠所村一其一出二山田
村畑谷ハ、其一出二稀屋村丸倉山一此水合二于仁和寺松谷側一至二大東下分木原山邊一與二須我川一合流爲二加茂川一西
定經二屋裏神原等一入二于出雲大河一也。〇屋代小川 鈔 此川過二三代村高塚山之邊一自二志許谷一北赴西折入二斐伊
大河一也。吉田博士云。源出郡家正東正。東正とあるは東は衍にして正は北の誤なるべし（地名辭書）〇通道。
木垣 鈔 意宇郡界林垣者大原郡山田村與二意宇和奈佐村一之堺鵯坂是也……辛谷者大原郡西日登村與二仁多槻屋
村一之界也。飯石郡界斐伊川邊五十七歩今五十七間也。出雲郡多義村一十一里二百廿歩今一里卅三町大原郡
三代與二出雲郡上阿宮一之界也。標 勝部ハ姓氏錄諸蕃上勝、不破勝、百濟人後トミエ、斐伊鄉ニ大領勝部君虫
麻呂アリ。〇標 置氏ハ神門郡置鄉ヨリ出、此氏人ニ置君猪麻呂、置部根緒置部臣布彌、置君自熊ナド郡郡ニ
ミエタリ　【一七二】通度、鈔 野城橋者在二能儀郡野城驛家今之松井村一云云。〇國廳即意宇郡出雲村十字街
也。按本文家衢字恐家街ノ字耶。〇嶋根郡家者今本庄新庄二村間也。〇隱岐渡頭即千酌浦也　【一七三】
佐太橋今舟來橋是也。〇秋鹿郡家者炑鹿村姫二社大明神鎭座邊也。……郡西界者秋鹿伊野與二楯縫小堺一之界
也。〇西……是即楯縫郡家今呼曰二多久和村一是也……西界楯縫與二出雲一之界以二宇賀川一爲二昔日一郡界一也。
〇西……是即出雲郡家東邊而入二正西道一也。惣拄レ北道程……即出雲郡出西村古之郡家也。【一七四】野代
橋意宇郡乃木與二福富一之間川。往古者是亦有二橋梁一而今則無レ之。西……至二玉作街一者意宇郡今湯市邊也。

正南道……南西界者意宇郡大谷與大原郡山田村之界也。○南……卽大原郡斐伊村郡家卽分爲南西、東南二道也。南西道……卽達斐伊河邊也。【一七五】飯石郡家者掛谷村中也。南……卽飯石郡赤穴村與備後三以郡之界也。○郡家南堺者仁多郡上阿位與飯石郡吉田村之界也。○仁多郡比比理村者同郡上阿位村是卽東南道畢。亦分爲二道其一道東方……卽仁多郡家三處鄕今郡村也。其一道南方……卽備後界遊託（○記カ）山也　【一七六】來待橋今無之。○出雲郡家者出西與求院之間也。○卽有川者今古志川濟。

【一七七】西……卽到國西界山口村也。○千酌是隱州濟津今者笠浦、北浦、加賀、三保、關雲、津浦等渡頭也。○完道驛者有意宇郡完道鄕佐佐布邊。○國西界多磯村也。○意宇軍團云云、此處本文多有闕文誤字歟。文理甚不接續云云。○意宇軍團（○鈔、古本、共に闔に誤る）者卽出雲村屬郡家也。熊谷軍團、飯石郡家下熊谷村歟。○土椋烽。今按非西北却西南方神戸郡稗原村戸倉山歟。○多支志烽。武志村歟。然者自郡家非東南亦却東北也。○布自美（刊本義美）者神門郡今比呂津村歟。○著恒山（刊本青垣山）者蓋今西尾村山歟。或曰。星神誤字歟。而不知是非。（以上鈔）國　【一七六】備後國云云至字　一本ニ備後ノ字上ニアリ　【一七八】意宇軍團ハ今ノ出雲村、熊谷ハ下熊谷村、神門ハ馬見濱村ニ當カト云フ　○多夫志ハ出雲俊信カ考ニ今ノ楯縫郡平田村ノ西旅伏權現ノ社山ナリト云フ。布自義美ハ　根郡布自枳美山アリ

○青垣ハ　國　黒田近キ所ニ俗茶臼山ト呼ブ山アリ、烽跡ト云ヒ傳フ是カ。

大正十五年五月廿五日印刷
大正十五年六月一日發行

〔非賣品〕

日本古典全集第一回

古風土記集

上卷

編纂者　與謝野寬
同　正宗敦夫
同　與謝野晶子
裝幀圖案者　廣川松五郎
東京府北豐島郡長崎村一六二
發行者　長島豐太郎
東京府北豐島郡長崎村一六二
印刷所　新樹製版印刷所
印刷者　高瀨清吉

發行所
東京府北豐島郡長崎村一六二
日本古典全集刊行會
振替口座東京七三〇三二
電話番號小石川七〇九九